4巻6号

處女の友

第四巻　六月　第六號

處女會中央部發行

大正十年五月廿七日印刷納本大正七年十二月二十五日第三種郵便物認可
大正十年六月一日發行（毎月一回一日發行）

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

經濟的家庭染料の大王

燈台印

家庭用改良染粉

みやこ染

●みやこ染は　御婦人御子供様方どなたにも極く手輕に美しく染る輕便な染粉です
●みやこ染は　他の染粉の如く色留粉を用ひずして充分堅牢です
●みやこ染は　色の配合自由自在御望みの色が思ふ儘に出來ます

色合（紺、黒、赤、濃黄、茶、黄、海老茶、紫、オリーブ、桃色、牡丹、萠黄、納戸、鶯茶、樺色、鐵色、鼠、藍鼠等、）

定價（小瓶（半反染）金二十五錢
大瓶（一反染）金四十五錢）（染法は現品に詳しく書いてあります）

◎賣捌は全國の小間物店荒物店藥店にあり
◎御買求めの節は燈臺印みやこ染に御注意

燈臺印　絞り染下繪用　青花（あをばな）
定價壹袋十錢　送料二錢
絞り染の下繪をお書きになるには本品を御使用下さい使用法簡單にて具合よろし

御申越次第染色標本（説明書進呈此の廣告を見し旨御書添を乞ふ）

東京小舟町

かつらや

電話浪花長一九五八番
二九五八番
振替東京三九五番

絞り染用料として大好評

○御註文の節は處女の友の廣告に據る旨御書添へを乞ふ○

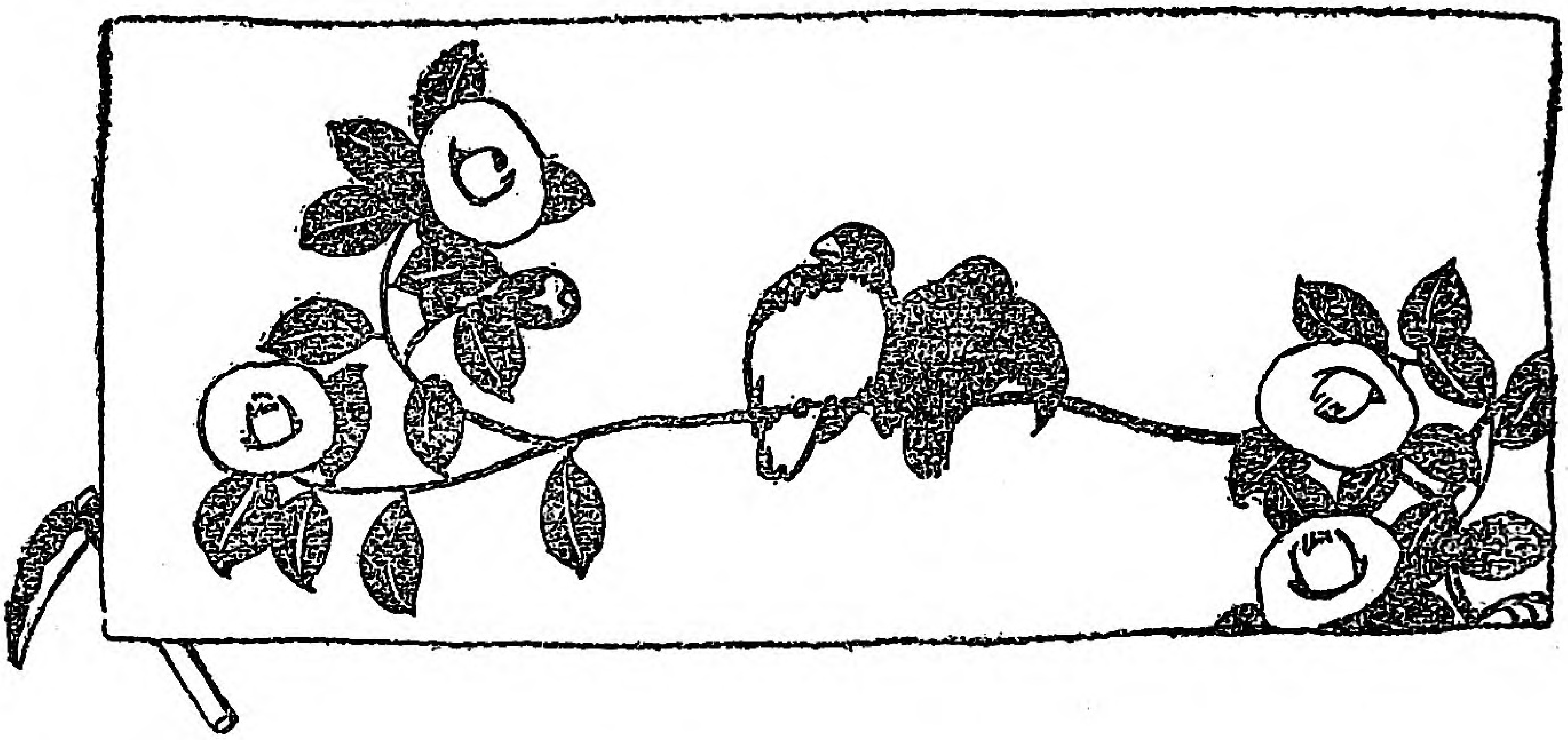
處女の友　大正十年六月號　目次

○表紙　農家の春……田代紫光筆
○口繪｛磐梯山麓一千二百人の處女の集ひ
　　　｛マツサージとお裁縫

◎記事◎

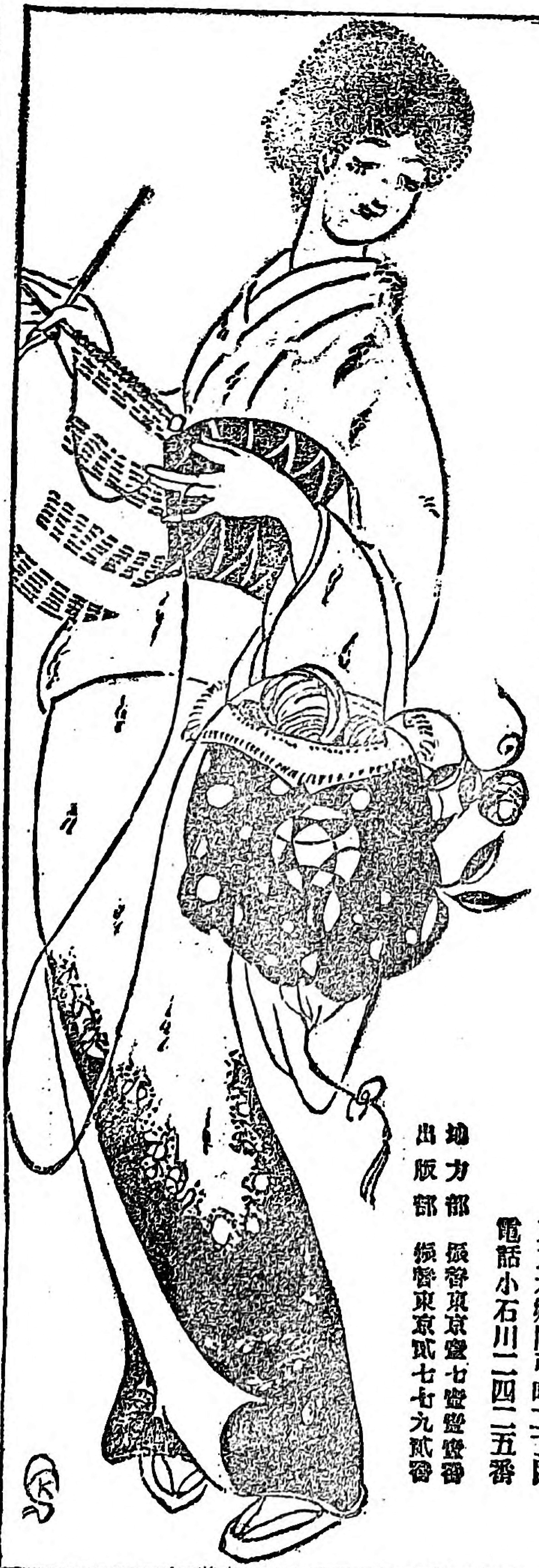
◎卷頭（薔薇の花）……一
◎全國處女會指導者講習會……二
◎富士の神山……本會理事　山脇房子…四
◎汗と脂で作らるゝ運命……本會理事　跡見李子…六
◎よく働く外國の處女　本會評議員　久留島武彦…八
◎明治天皇御製の中から　婦女新聞社長 本會理事　福島四郎…一一
◎處女會員の藝妓すゑ子さん……本會理事　天野藤男…一三
◎荒れ野に香ふ一本の梅花　本會評議員　吉川民子…一八

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN



初夏のスケッチ……白雲…三
青年男女共勵の努力村……一五
孝女もと子さん……一八
小説 ふるさとの唄(一)……深緑…一九
臺所から……一九
一千二百人の處女の集り……二四
半生の迷ひ……松崎ひろの…二六
四つの處女會へ……二九
私の日記……天野清子…四一
地方通信……四四
處女歌壇……四九
處女文壇……五一
處女俳壇……五二
倉持本店の篤志……五三
誌友くらぶ……五四
繪判じ……六〇
編輯だより……六一
投稿規定……六一
本會維持會員發表……六二

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN



女子技藝材料並に器具

袋物。造花。刺繡。絽差。摘細工。編物。組紐。
果實。壜細工。裁縫。絞り用具及染料。

女子高等師範學校
女子美術學校御用
共立女子職業學校

無代進呈
定價表は御申込次第無代進呈します

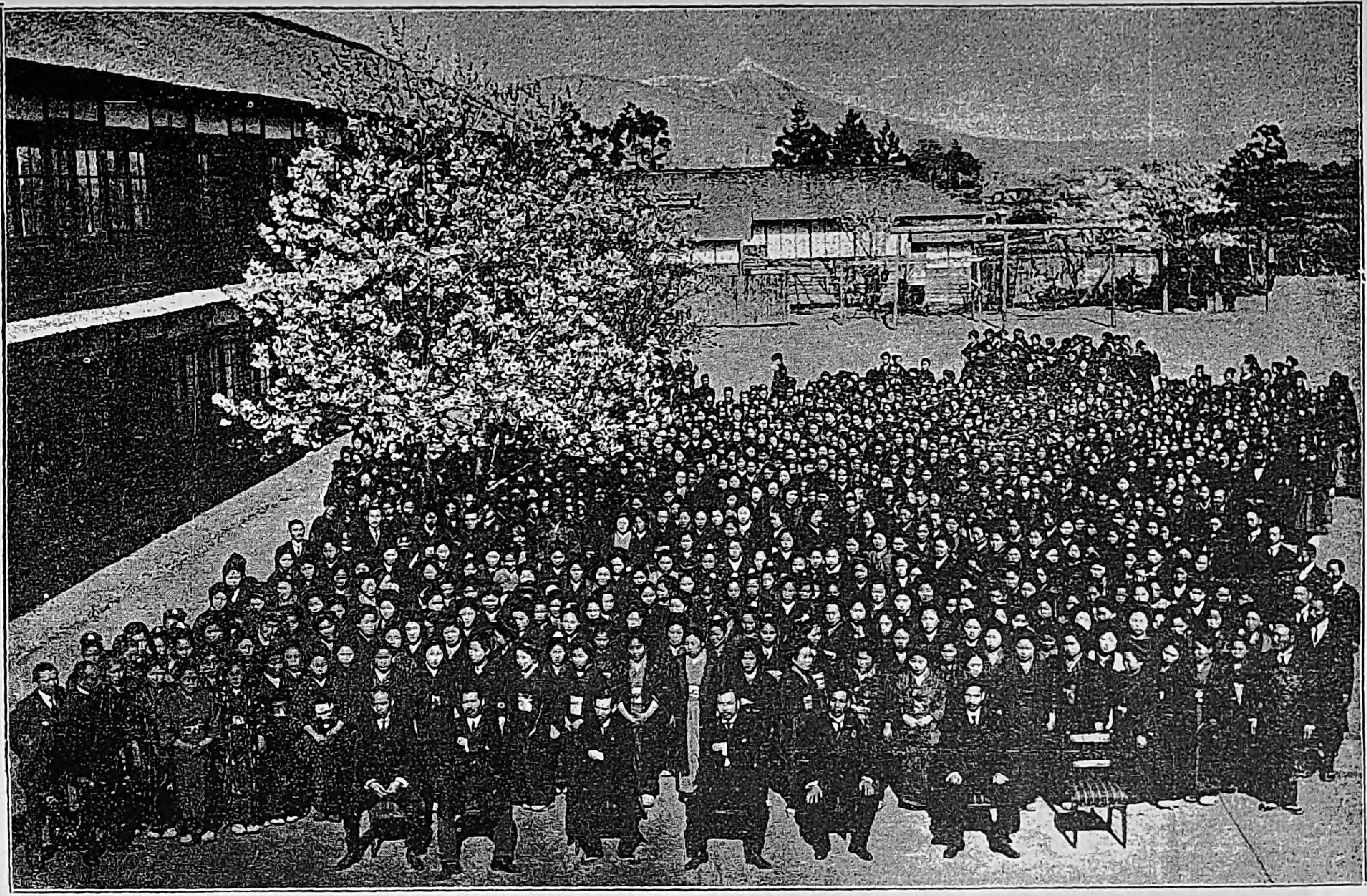
倉持本店

東京本郷區弓町二丁目
電話小石川二四二五番

地方部 振替東京壹七壹壹番
出版部 振替東京貳七七九貳番

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

磐梯山麓一千二百人の處女の集ひ

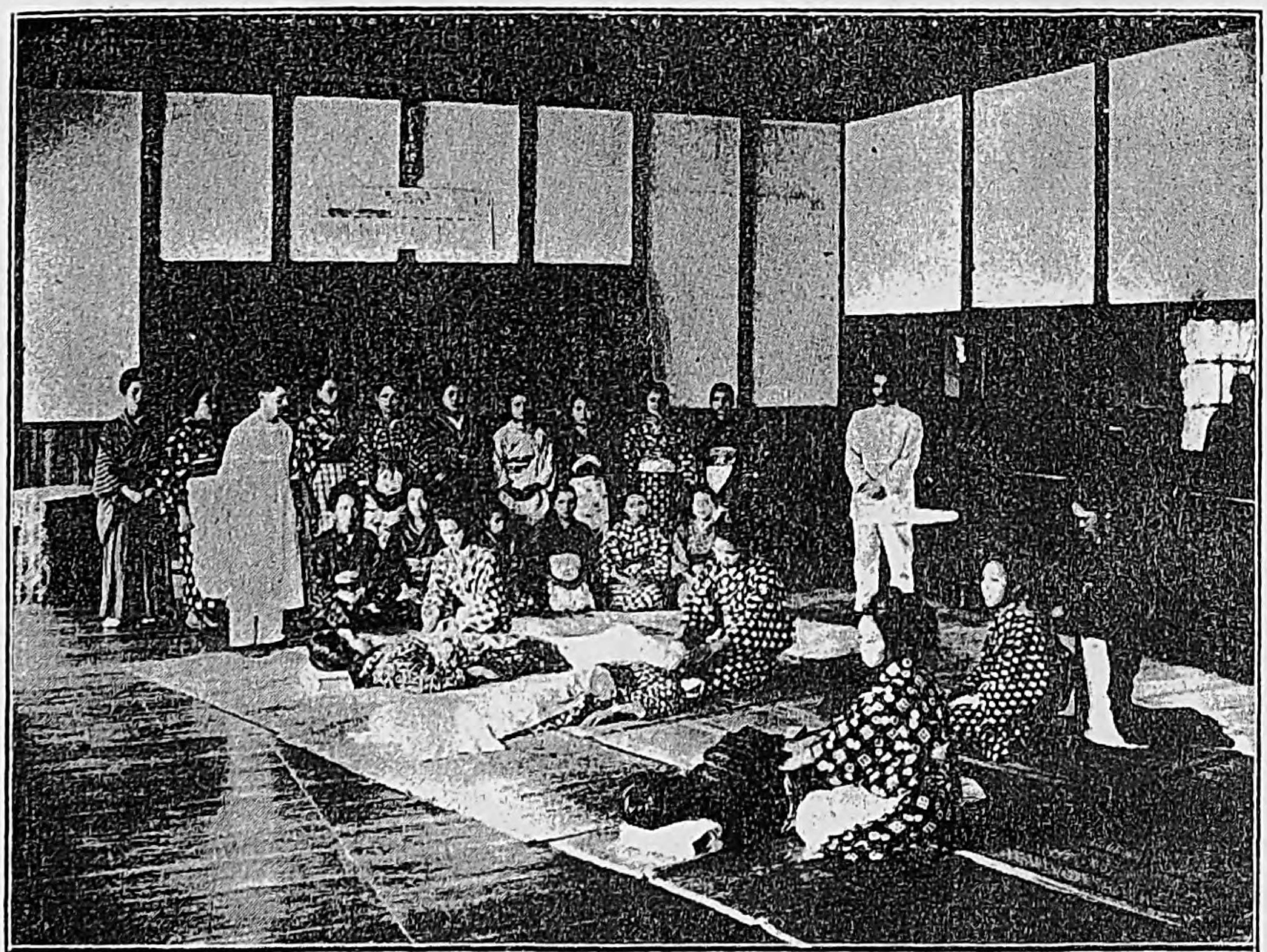


福島縣河沼郡聯合處女大會(記事參照)

福島縣河沼郡聯合處女大會が去る四月二十五日坂下町小學校で開かれました、向ふに見えるのは名高い磐梯山です、雪が殘つてゐますのに、校庭の櫻は花盛り、汽車の都合で少し早く歸つた會員もあつたようですが、點呼の結果は一千二百餘人とのことでした。一郡中堅の處女が集り日本婦人としての修養努力を誓つたのです。前列右から佐藤郡視學、永山郡長(郡處女會長)宮田福島縣知事、天野中央部理事、穴澤福島縣理事龍川校長(三十四頁を見ること)

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

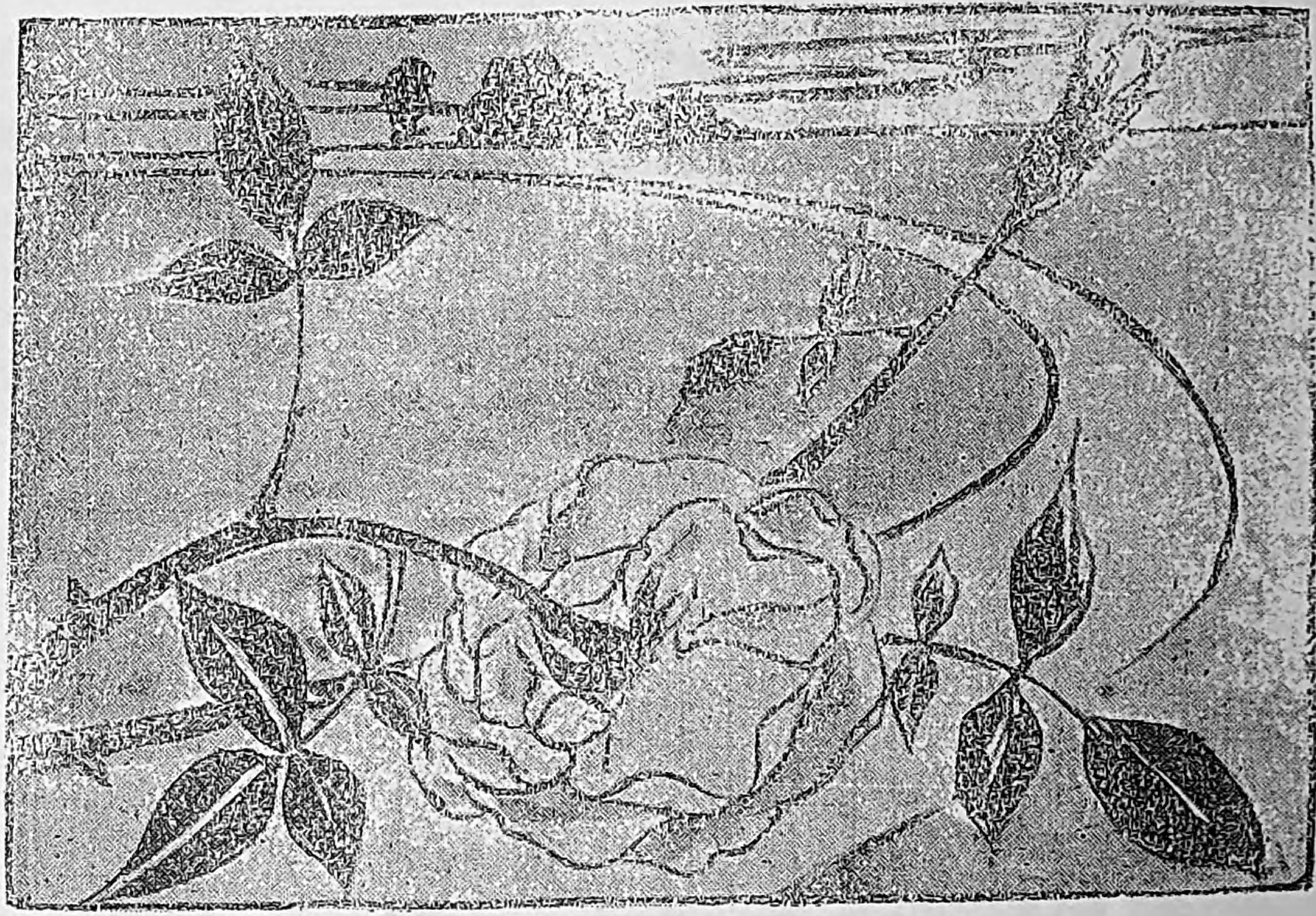
マツサージとお裁縫



島根縣大原郡佐世保村處女會

山梨縣北巨摩郡増穗村處女會大久保支部

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN



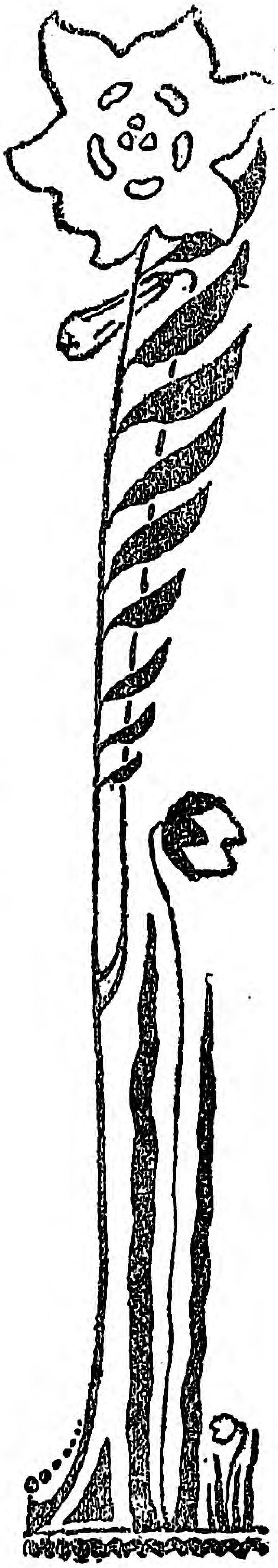
處女の友　六月號

薔薇

雨の雫にうちぬれて
にほひ出でたるばらの花
あな美しあななつかし
折りて友にや贈らまし

昇る朝日にかがやきて
蕾ひらけしばらの花
あな美しあななつかし
瓶に一枝さして見ん

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN



全國處女會指導者講習會

——中央部主催今秋開催——

顧れば、處女會中央部が、全國處女會の連絡擁護機關として、設立せられ、上野公園精養軒に發會式を擧げたるは、大正七年四月十三日であつた。爾來滿三ケ年、その間本會は、主もに地方處女會の設立を奬め輿論を高めるに微力を致した。當時內務省に於て調查せる婦人團體は、その數八千八百五十二、會員は百四萬九千六百五十二人を算したりしが、大正九年の調查に依ると、團體は二千八〇〇增加して、一萬一千六百五十二團體となり。會員は三十六萬九千七百七十七人增加して、百四十一萬九千六百二十九人となつた。僅か二三ケ年間としては、實に長足の進步と言はねばならぬ。

其後文部省に於ても、處女會指導の忽にすべからざるを感じ、大正九年全國各府縣知事に依賴して、全國處女會の調查をなした。其の結果に依ると、純然たる處女會のみで、六千二百三十七、會員が五十三萬五千七百九十二人といふことになつてゐる。

斯くの如く、今や政府に於ても、青年團體と同樣に

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

處女會の使命を重大となし、奬勵助成の方法を講じつつあるのである。我中央部が過去三ヶ年間に於て、多少とも、處女會の輿論を天下に周布することが出來たとすれば、本懐の次第である。

仍て、我中央部は、愈々具體的事業の第一歩として此等全國に存在せる處女會のお世話をなさる人たちと一堂に會して、處女會のことに就いて種々研究をなし懇談をするの目的を以て今秋東京女子高等師範學校に於て全國處女會指導者講習會を開くことになつたのである。固より全國の處女會全部の指導者にお出でを願ふことは、困難であるから、先づ一府縣五人平均（内一人男子の方）全國を通じ約二百五十名といふことに制限し、其の人選は、地方長官に御依頼することになつたのである。

講習科目には、尚多少の變動もあらうが、略々左の如く決定したのである。

一　處女會の組織及經營
一　處女會と補習敎育
一　處女と修養
一　處女會と社會事業
一　處女會幹部養成
一　婦人問題
一　家事と生活改善
一　家族制度
一　處女と衞生
一　性及結婚

此外科外講演に數時間を充て、尚會員諸氏の實驗談に重きを措き、一夕懇談茶話會をも催したい計畫である。講師は何れも處女會を理解せる一流の方々にお願ひし、旣に略々御承諾を得たのであるが、其の氏名は確定を俟つて次號に發表する筈である。

會期中、電話交換局、職業紹介所、工場、爲替貯金局、敎育博物館其他を視察し、一日新宿御苑をも拜觀致したい計畫であるが、是亦決定の上發表する筈である。

本誌の愛讀者の中には、指導者も少くないことであるから、なるべく多數出席せられ、實驗談をもお願ひ致したいものである。只會場の關係より人を限り、地方長官に人選を一任したことであるから、指導者の全部にお出でお願ふことの出來ないことを、殘念に思ふ次第である。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

富士の神山

理事　山脇房子

◎神々しい姿を手本として

外國人も日本と云へば、直ちに富士山を思ひ浮べる程に、其名は遠く西洋にまで知れ渡り、富士山は實に日東の名山として、廣く世に貴ばれて居ます。その貴い富士山の神々しい雄大な姿を思ひ、人としてもこれに學ぶべき勝れた點を見出し、私は我校の徽章にも富士の彫刻を選び、全生徒が胸にさげた富士の姿によつて、身の修養を怠らず、朝夕反省するやうに勉めさせて居ります。

◎日本一の人格者たれ

第一に富士山は昔から、日本本土の第一の高山として、物心つく幼い頃から、日本人の頭に深く刻み込まるゝ程、有名な山であります。何でも日本一と云はるゝやうになるまでは、容易な事でなく、日本一の金満家、日本一の地主などと申すものには、到底並々でなり得るものではありませんが、克苦勉勵、修養につとめ、自分の心を美しくみがく事を忘れなければ、德の高い、日本一の人格者となる事は出來ると思ひます、富士山が本土第一の高山であるやうに、我々は日本第一の人格者たらん事を理想として、德を修め度いと思ひます。

◎心の潔白と身の純潔

第二に富士は頂きに純白の雪を頂き、少しも汚れぬ神々しさと、少しもまじりけのない潔白さとを示して居ます。私共は立派な人格者又は人に崇めらるゝだけの德を備へるには、先づ己れ自らを潔くして、如何なる人の前に出ても、少しも恐るゝ事なく、何人の前でも恥づる事のないやうに常々から心の潔白と、身の純潔さを失つてはなりません。この美しい心の持主となるやうに、無言の中に我

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

々を敎ふるは、この富士の頂上の白雪ではありますまいか、雪のやうに純白で、少しの汚れのない心の持主となる事は、若い乙女の最心すべき事であると思ひます。

◎何時も同じ心で

第三に富士山は何れの地方から見ても、同じ形をして、同じ姿をそのまゝに、三國にまたがり、氣高い雄姿を見せて居ます。この何處から見ても變らぬ姿は、人としても、學ぶべき事でありまして、孔子も「色難し」と申されました如く、嬉しいと云つては、無暗によろこび、悲しいといつては嘆き、氣に入らぬと云つては、直ぐに腹立しさを色に出すといふ事は、最も卑しむべき事で、又何人も陷入り易い人情の弱さでありますから、この富士の山が何處から見ても、變らぬ姿であるやうに、人も何時でも同じ心で、人に接するやうに勉め度いと思ひます。

◎愼しみ深くあれ

第四に富士山は火山脈ですが、平生は高度の熱を內部につゝしみ、その燃ゆる思ひを表はさず、平和を裝ふて居ます。人として世に立つには、さま〴〵の不平不滿も起り勝ちで、胸に押へきれぬ程の憤りに出遇ふ事もありませう、かういふ時に愼しみ深く耐え忍び、心の平和を失ひませんでしたら、無事安穩に一生を送る事が出來やうと思ひます。

◎物に動ぜぬ心がけ

第五に超然と雲をぬく富士山は、山岳高く聳えて、雨にも風にもゆるがず、地震の震動にも、些の動搖も見せぬ有樣は、本當に意志の强固であらねばならぬ事を我々に示して居ます。誘惑の手は甘言美觀を以て、近づき易うございますから、充分に深く考へてこれに應じないやうにしなければなりません。人の一代にはふとした隙に乘じて、恐るべき誘惑に引かゝる事があります。故にあくまでも確固たる信念をもつて如何なる事があつても、富士山のやうに、泰然自若として、物に動ぜぬ心がけが大切であります。

◎根强い基礎

第六に富士の裾野は遠くまで擴がり、其山の基礎が根强く据わつて居て、見るから危ぶなげがありません。根城の安泰、基礎の安定といふ事は、我々が片時も忘れてならぬ事で、確乎とした安定の場所に、根强く構へて居ますれば間違ひは少いものを、先祖代々永年の間に築き上げた古里の根城を捨て、うか〳〵と都に憧れた人が、さま〴〵の浮世の波風にもまれて、純潔な心の根城まで覆されてしまふのは、全く殘念な事と思ひます。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

汗と脂で作らるゝ運命

跡見高等女學校長
本會理事　跡見李子

○

人は何時でも面白く、快く暮すといふ事が大切でありますが、これはなか〳〵むづかしい事で、一寸した事にも「あゝつまらない」といふ感じが先に立つものであります。このつまらないといふ隙に乘じて、誘惑が、寄り、惡い世間の空氣と合致して、其人を陷し穴に誘ひ、社會にとつても恐るべき毒瓦斯を製造するのでありますから、この「あゝつまらない」と思ふ時が最も恐ろしい時であります。

それでこの際に確乎と人生の意義、つまり人は働くために生れたのである、といふ事を第一に頭に浮べて努力しなければならないと思ひます。

東京に働きに出る地方の婦人に就いて考へますに、あまり苦しからぬ生活の家庭の人で、他人の家に行き種々の經驗をして、自分はどれだけ忍耐が出來るか、自分はどれだけ働けるとかいふ事を修業する人と、又初めから家計の手傳けに、本當の給料を得んがために働く人とこの二通りあります。

家のため、親のために働く、それは誠に結構な事で感心すべき事でありますが、さて其人たちの本當の心の中に入つて見ると、果して滿足して働いて居るであらうか。實際に喜んで自分の汗の結晶である給料を親許に送るであらうかと疑はれます。

今までは親にも無理な人が多く、娘を勞働者にしてその給料を前借して、殘らず自分の手許に取つてしまふ人が多いやうでありました。今までの娘さんは無理

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

強ひする、親のために仕方なく、犠牲になつて居ましたが、これからの婦人は、親の命によらずとも、好意を以つて自ら進んで働くやうにする事が必要だと思ひます。親の方でも、娘の働きの報酬に對しては、娘に自由を與へ、其幾分を手助けに貰ふ方法をとり、娘自身も又、自發的に幾分かを親の方に貢ぐやうにしましたなら、お互ひに美しく働いて居るといふ事に對して趣味を持ち、自分が働いて居るといふ事を尊く思ふやうになると思ひます。

○

何によらず善に進むには、其人々の意志の根本に就いて考へ、其精神、體格等に依つて、それ〲の方法をとらなければならぬと思ひます。甲の人は辛い事ても、案外乙の人には樂であり、又或人の興がる事でも或人は面白く思はない事がある如く、根本の其人自身といふものを、深く考へなければならぬと思ひます。

青年男女の交際、または青年男女の團體旅行に就いても其通りで、自覺した或一部の了解した人たちが行つて好果を奏した旅行でも、萬人に其通りの事を望むわけにはまゐりません、尤も青年團と處女會はこれらの自覺した人を作りあぐるための會でありますが、まだ〲旅行などの氣分の柔ぐ機會に、樂しかつた思ひ出が浮んで來て、その樂しみばかりに精神を寄する人が多くないかとあやぶまれます。殊に表面を美しく飾つて居る人にとつて、かういふ機會は、誘惑の緒となりはしますまいか。

東京見學もよろしい。都の空氣にふれて見るのもよろしい、けれど都會の表面、例へば美しい三越、又は自動車で走つて居る貴人にばかり心を引かれず、もつと〲深刻な都會の裏面を知り、尚また、あの自動車に乘つて居る人は、それまでになるにはどんな苦心をしたかといふ事も考へなければなりません。

品物でも高價のものはそれだけ手がかゝる、何て大島絣が高いか、普通の織物に比べて容易ならぬ手數がかゝつて居ます。たゞ空に高價なのではありません。

人が貴くなるには、それだけの供へがなければなりません、才、學、德、尊敬さるゝやうになるには、並々ならぬ苦心で、一歩一歩汗と脂で運命を作る事を充分考へて頂き度いと思ひます。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

よく働く外國の處女

本會評議員　久留島武彦

△

南洋の婦人は大變責任感が強く、社會の幸福のため社會が進歩するか退歩するかといふ問題に就いては、自分たち婦人に大きな責任があるといふ事をあくまでも考へてゐます。理論的に物事を處決するには、男の力がどうしても必要ですが、實際的に改め實行するのは婦人の手でなければならぬと思ふ心が、西洋の婦人に目立つて見えます。

アメリカの聖易といふ都會は、丁度日本の名古屋のやうな、工業中心の都市で、動力たる、石炭を使用多く、煙突が立並び、蒙々たる煤煙で空は黑くなつて、全く煙の都と申してもよい位であります。この有樣を見て婦人連は、これでは、市民の健康上、不潔であり呼吸に害があり、小供にも影響すると、聲を大きくして叫ぶやうになりました。

アメリカの婦人は誰も皆倶樂部に屬し、倶樂部である音樂、料理、裁縫等研究する機關を中心として、全市の婦人團體が結合して、市の衛生課に行き、子供は第二の市民である、その子供の健康を損ねるから防煙裝置を完備充分にするやうにして下さいと申込みました、市當局でも尤もな事と同意して、直ぐに各工場に向つて嚴密に督促をしました處、先方では、市から命令された通りに煙突裝置をしてゐるとあべこべに強く出て來ました、衛生課では婦人會に其通りに傳へますと、婦人會では尙もつき込んで行きました。日本の婦人でしたら、もうこれ位に逆に押しかけられると、引込む所ですが、あくまでも正しい事はつきつめて行く米國婦人は、「よしそれならば現在煤煙の出て居る煙突をつきとめますから、制裁を加へて下さい」と言つて、それから寫眞器を持つたお孃さんたちが、市中を廻つて、眞黑な煙の様を寫して、それを市役所に持つて行きました、市役所ではその寫眞を材料として、其會社に向つて「これがこの會社の様子だ」とぐん〳〵制裁を加へましたので、防煙裝置は完備して、聖易に一點の煙もないやうになりました。これは全く婦人の力と云はれませう。

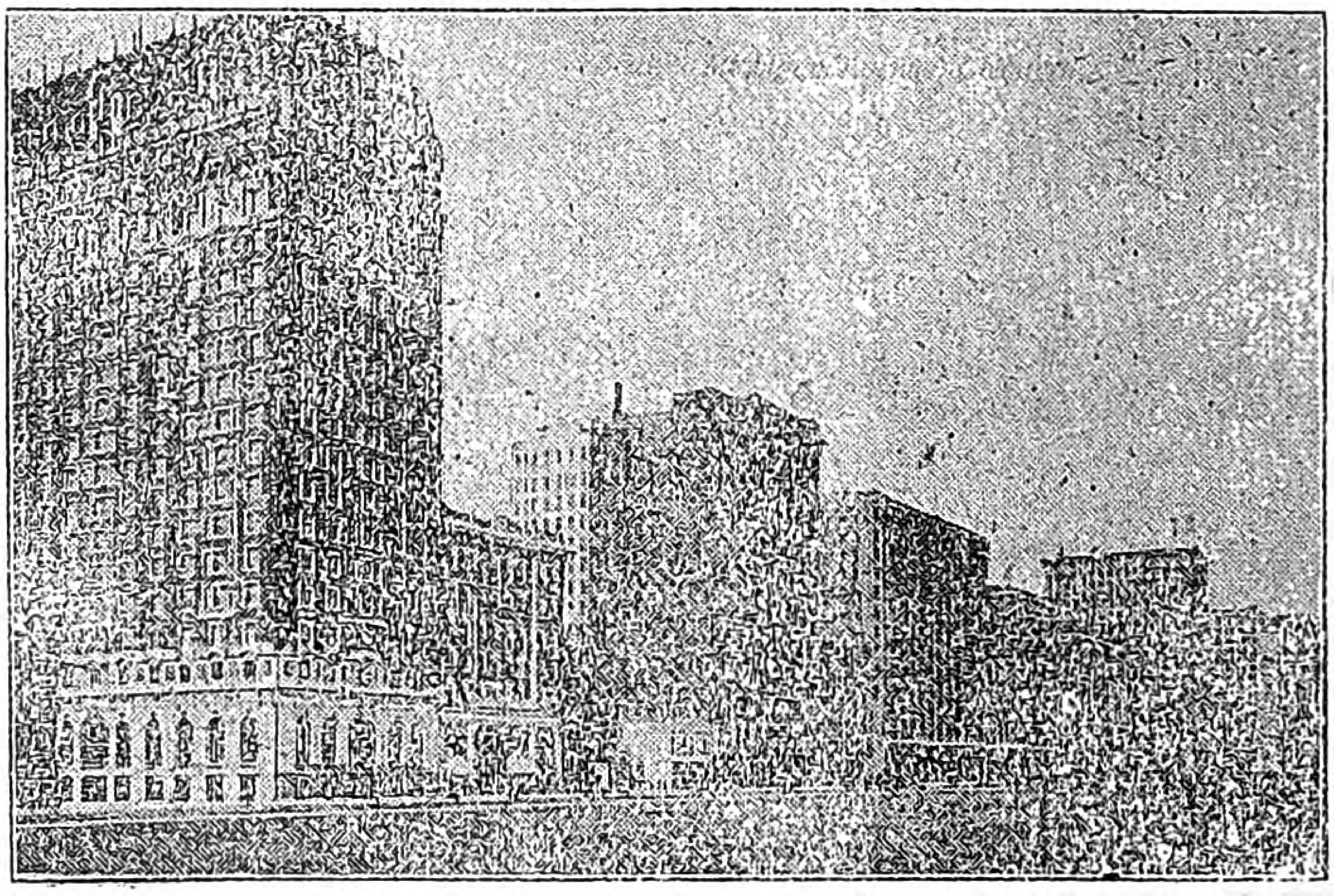
△

歐洲大戰の爲に各國があらゆる人の力をつかひ散ら

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

した結果、疲れ果てた各國民は極端に、神經衰弱、營養不良になり、幼い者で充分に食を得る事の出來ない者すらあるやうになりました、アメリカの婦人はこの有樣を考へて、この憐れな第二の國民を養つて行くのは、全く暖い心の婦人が着手しなければならぬ事と心付き、各種の婦人團體が聯合して、働く事務員を送つて、發育盛りに營養不良である乳呑子や其母親の體力を恢復する事に務めましたのは、國家社會として、最も美しい、最も大きな仕事であると思ひます。こんな大事業でなくとも小さい問題でも少し心掛けてさへ居れば立派な仕事が出來るものであります。

例へばシカゴの婦人會では小學校の廊下、壁の飾りつけといふやうなものを婦人會の任務として、それは〳〵親切に世話を致します。私共が自分の母校をたづねて、十年前も今も同じ額がすゝけた壁にかけてあつたり、同じ紀念品が同じ處に十年一日の如く、置かれてありましたら、少しも感興を起さず、誠に殺風景なものであらうと思ひます。人は見るともなく見るもの、聞くともなく聞くものに動かさるゝもので、知らず〳〵の間に受くる感化といふものは非常に大きなものであります。つまり環境教育、境遇教育に於て、どれだけ人間を作るかといふ事をやかましく唱へらるゝのも尤な事であります純な白糸の時代と云はるゝ小學兒童の間に、何物かを作る材料として、深い印象を與へて置く必要があり


(米國シカゴの市街)

日本の農家とどんなにちがひます

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

ます、埃だらけの額や、年中同じ場所に同じものを見せられては、何の感興もなく、其物と沒交渉となつて折角装置した意味がなくなります。

さりとて學校は市、區で建てらるゝもので、止むを得ざるもの以外には、備へられず、かういふ所まで手がとゞきません、こゝに氣付いたシカゴの婦人は、子供を美化し、善化するのは我に婦人の役目であると唱へ、小學校の廊下、壁の飾つけは全市の婦人會が受持つ事になりました。アートスミスが珍らしい飛行機の乘り方をしたとか、大戰爭の寫眞が新聞に見えたとかいふと、最先にその寫眞を調製して、全市の小學校にくばります。

△

今日まで婦人會、處女會の如き婦人團體が、何故發展しないかと申しますと、進んで行く、働きかけて行くといふやうな事を一向致しませんで、唯守ることばかりを考へて居る爲であります。會員を減らすまい、會費を集めやうといふ事にばかり心を寄せ、唯年一回位の會に、形式的に出席して、有益な講話を謹しんで聞いて、默つて歸るにすぎません。

丁度軍隊で申せば守勢防禦といふ形で、どんな堅固な城でも、この守勢防禦ばかりでは勝利を得る事が出來ません。攻勢防禦つまり進んで行く事を考へて、何物か自分たちの力を現はして行かなければなりません

村の小學校の便所が汚い、障子はやぶれペンキははげ草履などが落ちて居る、かういふ有樣を見た時に、處女會員が清潔にしてやる、又講話會があれば最先に會場の掃除をしてやる、來賓の接待をする、花を生けたり、幕を張つたりして、進んでは校庭に花を植ゑ花壇を作る等してもらひ度いと思ひます。その經費としては、年に一度か二度慈善市を開いてあり、合せの切や糸で作つた手藝品を村の人に買つてもらつて、その得た收入で今年はあゝしやう、來年はあゝしやうと、次から次に何かして行きましたら、その働いた功績も見えて處女會の存在も非常に意味深く、貴い事であると思ひます。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

明治天皇御製と處女會訓

婦女新聞社長
本會理事　福島四郎

處女會訓の「強くやさしく眞面目に働け」の意に適つた古歌を選べよと編輯部から頼まれて、明倫歌集や道歌集を繰返して見たが、どうも適切なものが得られないので、明治天皇御製の中で、やゝ之に近い御心と拜察せらるゝもの四首を、拜記する。

□強く

事しあらば火にも水にも入らばやと
　おもふがやがてやまとだましひ

〔謹解〕「事しあらば」は「事あらば」を強くいはれたもの、「入らばや」は「入りたい」といふのと同じでせう。一首の大意は、若し一朝事變があらば、火の中水の中でも恐れず飛び込んで、國のため働きたいと思ふのが即ち大和魂といふのであるぞよとの御諭しと拜察いたしますが、この大和魂は、女にも男にも必要でありますけれども、幸に今の世は、女が直接國難に殉ぜねばならぬやうな場合は無さゝうです。そこで私は、この大和魂の強さ、火も水も恐れない強い心を、處女の貞操の危機に迫つた際、又は家に一大事の起つた際などに、發揮してもらひたいと思ひます、がしかし、注意せねばならぬことは、腕の強さや、體力の強さでは、女は到底男に及びませんから、精神の強さ、靈の強さ、更にいへば心の奥の奥底に、しつかりした強い力をもち、內剛外柔、外面はどこまでも物やはらかにありたいといふことであります。

□やさしく

よる波にうちあげられて臥しながら
　花さきにほふ河原なでしこ

〔謹解〕波のため河原にうちあげられて仆れ臥しなが

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

ら、それでも其のもつて生れた天性を失はないで、可愛い花を咲かせてゐる撫子、といふ意味で、是は處女會訓の「やさしく」に、まことによく適した御製であるやうに拜察いたします。可愛い撫子も、運命の力はどうすることも出來ず、水に根元を淩はれて、波のまに〳〵押し流され、下の方の河原に打ちあげられてゐる、でも世を恨んだり、すねたりしないで、それを自分の天分だと覺悟し、安んじて美しい花を咲かせてゐるとほめたゝへられたこの御製は、眞の處女會員の服膺すべき教訓歌だと思ひます。

□まじめに

思ふこととおもふがまゝにいひ出づる
をさな心やまことなるらむ

〔謹解〕我が思つたことをそのまゝに、僞らず飾らずいひ出して、表も裏もない正直な幼兒の心、これが「まこと」といふものであらうとの御心のやうに拜察いたしますが、私は、處女會訓の「まじめ」といふことは、此の表も裏もない正直な心を行ひにあらはす態度であらうと考へます。心にもないお世辭をいつたり、うはべばかりの深切を見せるのなどは、まじめの反對のふまじめであります。しかし、無作法を無作法と知らずに振舞ひ、腹が立てばすぐに人を罵るなど、それ等は形だけは正直といはれますかも知れませんが、禮法の敎養がないことを示すもので、つまり笑はれ物です。眞のまじめは、先づ心を美しくして、行ひをそれに伴はせることであります。

□働け

おのがじゝつとめを終へて後にこそ
花のかげには立つべかりけれ

〔謹解〕「おのがじゝ」は各自めい〳〵にといふ意、即ち各自がそれ〳〵に自分の職務のために働いて、その働きを終つて後にこそ、初めて花の木かげに立ちよつて、目を喜ばせ心を樂しませるものぞ、仕事を半分にしておいて、働きを中途にやめて、遊びの花見に日を暮らしてはならぬぞ、との御意のやうに拜察いたします。是亦「働け」といふ會訓に適切な御製のやうに存じます。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

處女會員の藝妓するゑ子さんへ

―「處女の友」愛讀者にして哲學文學を友とする―

天野藤男

岩代の猪苗代町の處女會は、縣下でもいゝ處女會で三月に「處女の友」愛讀者大會を開いたことは、前號の本誌に紹介致しました。所が大會の模樣を詳しく知らせて下すつた會員からこういふ通信が參りました。

（前略）今日の會で珍らしいことは、會員の中に一藝妓の交じつてゐたことでございます。これは、猪苗代町○○といふ家の×××といふ一藝妓でございます。實名は×××すゑ子といひます。南京豆をみんなにくれました。中々の文學藝妓で、去年の夏季大學にも出、哲學の本なども讀んで居ります、又熱心な「處女の友」愛讀者でこの樣な社會にあの樣な方の一人でも出られることはお邦の喜びでございます。先生どうぞお喜び下さいませ。（下略）

花開く將來を

私はこのおたよりをみて非常に心を動かされましたので、すぐと次のような意味の手紙をかいてすみ子さんに送りました。

「承れば、あなたは處女會に入つて「處女の友」を讀んでゐらつしやるとのこと、何といふなつかしいことでせう。藝妓といへば世間では、品行の修らぬ墮落女の樣に申しますが、其は人に依ります、五萬人の藝者の中からあなたお一人を出したことは、大なる喜びです、どうかます／＼心身を堅固に持たれて、前途を切り開いて下さい。人知れぬ苦しみ、惱み、さぞ多いことでせう、お察し致します、其をどうぞ忍んで花開く將來の運命を樂んで下さい（下略）

私はその手紙の着いた時、其を讀むするゑ子さんの樣子などいろ／＼に想像してみました。四月十二日群馬縣の旅行から歸つて來ますと、一本の重い手紙がついてゐます。急てみると、するゑ子さんからてした。私は

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

胸を跳らせて讀み始めました。其はレターペーパー二十一枚に細かくかゝれた長い〳〵おたよりです。あゝその愛情の籠つた悲痛な手紙よ。私は幾度かその手紙の上に熱い雫をおとしました。先づ始めに、

すゑ子さんからの便り

「淡雪の吹き散る後も何んとなく定めなき浮世の樣に打ち偲ばれます、折柄まだ見ぬ先生からの突然お懷かしきお手紙をいたゞいた時の私の心は、どう形容してよいかわかりません……

と、私の手紙について非常に喜んで下さつて、其から

「私が處女會員として、愛讀者大會に出席致しましたことをお心にかけ、喜んで下さいました。身にあまる光榮でございます。私が「處女の友」愛讀者大會に出席致しましたのは、正直に告白しますれば、私の自發的行動ではありません、處女會員の方からのお勸めで、出ましたのでございます、幾年ぶりで、純な汚れのない、まじめな氣分にひたされた自分をみいだすことが出來ました。何んといふ清い會でせう、兩親や兄姉のおそばで、物質的にも精神的にも苦痛も不安も御存知ない清い乙女たちの中に交つてたふとい一日を送りましたことは、何んといふ忘れがたい思ひ出でせう。」

と當日の思ひ出をのべられ、すゑ子さんは自身の境遇に比べて羨ましいと僞りない告白を洩らされました。

其から私が、「あなたはどうしてさういふ社會に入りましたか」と申しましたのに答へて

「無學の私には難い事でございます、出來るならば、少しも誇張した處のない赤裸々な私達の生活狀態、其から感想などを御參考までに申し上げたいのですけれど、悲しい哉文筆が自由にきゝませんので、先生の期待を裏切ることゝなります、私にしてもまた私たちの仲間にしても、此の不平等な差別的な、壓制的な現在に對して身分相應な不平不滿も有してゐるのですけれど、また社會の或一部分の人達に、わけて、御婦人の人達に誤解されて居ますのですけれど、何等の敎養も素養もない私達は、到底辯論等は申すに及ばず、訴へる事さへ言葉に現はす事と、口に形容することも知りませんので、仕方なく泣き寢入して居るのでございます。

仰せの如く私たちの仲間は全く墮落して居ります、全く悲慘で慘酷で、醜惡なものであります、藝者とは名ばかり私娼と申しても遠からざるものがあります

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

けれども、社會はあまり私達に對して、冷酷過ぎはしませんでせうか、

あまりに同情と愛とが

缺けて居りはしませんでせうか、そしてあまりに無責任で勝手過ぎはしませんでせうか、只表面に現はれた醜惡なる缺點をひろひ上げて、淺薄な皮相的な見解から繼子いぢめしては居りませんでせうか、私達仲間の今日情けない悲境に沈淪してゐるのは私達自らの運命境遇の罪でせうか、またかく陷入れし社會の罪でせうか、それは相互的に負はねばならぬ罪ですけれど、是も時代思潮の變遷に伴ひ、社會のお客としての男子の方の趣味が、あまりに低級過ぎ野卑過ぎ私達の藝術を買はずに、段々私娼に近づかしめたのが原因であると信じます。

ゆく春

（猪苗代町詩の花筆）

と我が境遇に對する已むに已まれぬ惱みと、異性の暴悖に對する不平とを訴へられ、

「世に男子程勝手で我儘な者はないと思ひます、私は今私達の仲間は獸慾の奴隷となつて居ると申しました、私達は決して奴隷となつては居りません。男子の方が性慾の奴隷となつて私達は仕方なしその犧牲となつてやつてゐるに過ぎません。私達が今日悲境に陷入つて社會から云々されて居るのも、何も私たちの罪ではありません、昔しの藝妓は今日の藝者と異り、人格者として、耻しくない意氣張りを命として居りました。其は藝妓の別に優れてゐたのではなく、客

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

の品位と趣味とが高かつた爲に、自然と藝妓の品性も趣味も高まつたものと信じます。

水は器に從つて形を變ずる

と申しますが、人間の心も環境に依つて支配されるのでは無いでせうか。今日私たち仲間の存在してゐるといふことも、社會を惡化しつゝあるといふことも、社會組織惡制度の缺陷であると思ひます。」と藝妓を攻擊する前に、藝妓を存在せしめる社會の不備を指摘して居られますのは、如何にも同感至極であります。それから婦人公論に論議されてゐる藝妓撤廢論に就て批判を試み、「口でいふ丈で眞實味方になつてくれる人はありません」と憾まれて居られますのも尤なことです。

「其からア、サア、シモンスの「籠の鳥」の一句を拔き出して、自分の境遇に比べられて居ります。其が私の心を惹きつけました。

「一年前であつた、空の鳥は狹い籠の中に飼はれた、鳥は最初翅を叩いて飛び上らうとした、時が過ぎたやがて、鳥は羽搏きする事を忘れた、同時に彼は狹い牢獄の籠を愛する事を覺えた。鳥は一日主人に依つて籠の外に出された、けれども鳥はもう飛ばうとはしなかつた。鳥は悲しげに主人を見た、希望もなく、されど恐れもなく、鳥は主人を憎みもしない、鳥の眼には籠を愛し我儘な主人をも懷しむ悲しい淚が堪へられてあつた……」

先生この句こそ、私の現在の心理狀態を象徴してゐると思ひます。私たちは、籠に飼はれた鳥の如く現在は、あまりに自分の運命境遇を呪ふ勇氣も失せてゆきました。今更になつて自由な天地に離れようとも、なすべき術を知りません。彼の戀ひ慕ひし自由の天地もこの傷ついた私を

溫い心持で受け容れて

くれなくなりました。」

あゝ何んといふいたましい告白でせう、私は思ひあまつて泣き崩れました。籠の鳥に馴れて、空飛ぶ希望もなくなつたとは、あゝ何んたるいたましいことか。

其からいろ〳〵とする子さんはさびしげな人生觀を披瀝され「愛は力である」と誰かゞ申しました、ほんとうの愛に懷かれたいと希ひ、其がとても出來ぬから哲學書などに耽りますといつて居られる。吉田絃二郎

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

氏の著書が大好きであるさうです。最後に、すゑ子さんは、御自分の作られた歌を二十首ばかりをかいて下すつた。お座敷の合間々々に歌つて手帳に止めて置かれたその歌は何を歌つてゐますか。

職業の前には自己も人格もなき身なりせば物をも言はず

いろ／＼の事を想へばうつし世の執着なけれど生きねばならず

旅に來て越路の空は何處ぞと見やりゐる眼に涙宿れる

われ二十二ゑにし結ぶゆひ綿の銀のかざしのうつりよきかも

われもまた人の子なれば春の夜の狂ほしきまで人の戀しき

然し一番私の感じましたのは、次の歌です

月並に歌ふ唄にも世をいとふ
　想ひひそめど人は知らざり

何といふいたましい歌でせう。職業の爲に、生の執着の爲に、心にもない笑顔をみせて何氣なく歌を唄つて居られるすゑ子さんの面影が見えます。

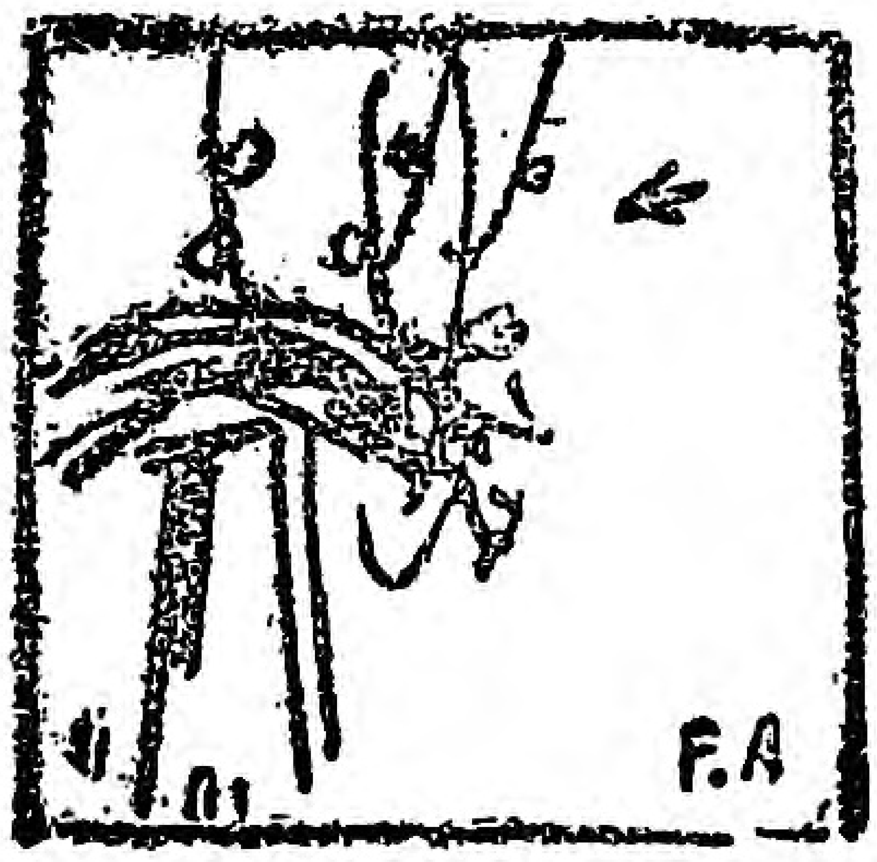
尚最後にこの手紙は三日かゝつてかきました、かき始めると、お座敷がかゝつて來まして、筆を置いてはまたその次をかき足しました、とあります。

誌友の皆さんたちよ

岩代は磐梯山のふもとの猪苗代湖畔の小さな町に、こうした淋しい心を懷いてゐるすゑ子さんを慰めてあげて下さい。皆さんの姉さんです、越後からはる／＼異郷の岩代の國へと渡られて運命の荒波にもまれ／＼て居ります、二十二のわかき春を、暴虐なる社會の運命に虐げられて、花の晨、月の夕べ袖に涙を濕らせて居られます。すゑ子さんの爲に祈つて下さい。私もすゑ子さんの爲に、この運命が開けるように朝な夕に祈つて居ります。

すゑ子さんよ、あなたにあてゝかいた、長い私のたより、讀んで下すつたか。前途は長い、春は是からです、お心を淸く、氣を廣く持つて、まつすぐに伸びて下さい。全國の純な處女たちが誠心こめてあなたの爲に祈つて居りますもの、きつと／＼神樣も私どもの祈りを受け入れて、あなたが狹い籠の中から自由に大空を飛び、春の女神の懷に抱かれるよき日を與へて下さるでせう。春になれば花は咲きます、蝶も訪れます、只心配になるのはあなたの身體のみです。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN



荒れ野に香ふ一本の梅花

本會評議員　吉川民子

其れは北海道の北の果、私の一家が農業經營のために其處へ引移つた當時のことでありました。

一面の熊笹に掩はれた茫漠たる原野の何處よりか、ゴリ〳〵〳〵と木樵の音がきこえて來ます、私は其音と共に髭鬚蓬々のアイヌを聯想して恐怖〳〵ながら近寄りて見たい氣がして其音を便りにだん〳〵と熊笹の中を進んで行きました。いよ〳〵近寄つてフト向ふへ眼を放すと、これは意外！、實に意外、そんな荒くれ男ではなくて、年の頃は十八九才の美しい娘さんが手拭を姐さんかぶりにして粗末な木綿着物に赤い襷をかけ、大きな鋸を手に持つて立ち木をゴリ〳〵と挽いて居るのではありませんか、私はアッと驚いた、何といふ痛ましい事であらう、誰がこんな荒仕事をか弱い女子にさせるのであらう、そうしてこんな美しい娘さんがどうして、こんな所に居るのであらう、何物の子女？家庭は何、などと限りもない疑問が胸を突いて湧き出て來ました。木挽きの手を止めた其娘さんは頭の手拭とりはづし私の前に腰をかゞめて、

「此頃東京からお出でになつたと承つたお方でございますか、私も此原野に住つて居る者でございますどうぞよろしく」

との挨拶、其言葉づかひの美しさ、ものごし恰好のしとやかさ、どうしても此處らの百姓の子女とは思はれない、由緒ある人の何か事情あつて此地へ落ちて來られたのか、但しは又誘拐にでも遭ふて無理に此地へ連れられて來たものではあるまいかと解けぬ疑問を胸中に疊んで私も一應の挨拶をして其日は別れて歸つて來ました其夜私の家では其娘さんのはなしで持ち切りであつた翌日も亦同じやうにゴリ〳〵の音はきこえて居る、私は何となしに其方へ引つけられて又其側へ行つて見た、仕事の妨げにならぬやうにと氣をかねて、いつも只二言、三言挨拶を交換するだけで歸つて來る、だん〳〵親しくなつて來て或夜の事其娘さんが妹を連れて私の家を訪れて來ました。妹といふのは年の頃十四五歳粗末な身裝はして居ても姉さんに劣らぬ容色好し、行儀作法も心得て、可愛らしい少女でありました。

悲しい二人の身の上ばなし

此夜始めてしんみりと二人の身の上ばなしを聞いて私は胸一ぱいにな

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

りました。その大略は斯うてある。娘さんの父なる人は名ある法官、美人のきこえある長官の令孃を妻にもらつて新婚の甘い家庭に醉ふて居るうちに最初の子寶として此娘さんが生まれました。世に時めく高官の一人の令孃、親は元より召使ひの人々にも大事にされ、お乳母日傘で育つうち一人の妹さんが生れた頃からお父さんがブラ〳〵した病氣にかゝり、いくら養生しても其效が現はれず、醫師の診斷によつて其れが肺病であることが分つた時の一家の驚きは一方ならず、直ぐに官職を退いて彼處へ轉地、此處へ湯治と、手に手を盡しての療養も其效なく遂に二番目の妹さんの生れた後黄泉の人となつてしまはれました。折しも母方の祖父なる方も亡くなられて [illegible]

でまだ年若き未亡人は誰に便らんすべもなく、三人の遺子を抱へて彼方へすがり、此方へたのみ、散々流浪の果、以前召し使つた一人の男にたすけられ、此所に僅かの地所を手に入れて去年の春から移住して、どうかかうか糊口の道を立てようとしたところ重なる辛苦にお母さんも身體をいため今では病人同樣何の役にも立たず、一家の生計から妹達のせわ家事一切が此かよわい娘さんの肩一つにかゝつて居るとの事、

全く小說にでもあるやうな哀れな話を、目のあたり、其本人よりきかされて私は一夜を泣かされてしまひました。姉さんの方は政江と云ひ妹さんの方は花江といふ名でありました人の情けによつてやう〳〵小學校の義務敎育だけは終つたとの事で、[illegible]

母さんの事や、妹さんの世話をすつかりしてから夜の八時頃に至り私の家へ讀み書きの稽古に來るやうになりました。小學校の時代にはいつも優等で通つたとの事それに違はず何を敎へてもほんとうによく出來る、よい頭腦の持主であつた、お父樣さへ健康で居られたら、何もかも揃ふた立派な娘さん、惜しい事と殘念さが一通りでありませんでした。

日曜日の政江さん

お父さんが熱心なクリスチヤンであつたとの事で政江さんも自然とキリスト敎がよく分り今ではよい信者となつて日曜日だけは仕事を休んで一日を樂しくくらして居るのでした。此日ばかりは汚い勞働服を脱いで袖のある瓦斯織か何かの着物に洗ひさらしてはあるが友禪メリンスの丸帶をおたいこに結んで、髮も前を大きくふく [illegible]

(注) 原本において小口側文字切れ

(不二出版)

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

は大家の令孃と云つても差支へない品格が備はつて居る、小い妹にまで今日は小ざつぱりとした洗濯物を着かへさせて居るのも一にこの人の丹精になつて居ることが其仕立ぶりやいろ〳〵で物語られて居ました。此日は互に集まつてお祈りをしたり讃美歌をうたつたりしました政江さんの美しい聲が野原の美景に和してさながら天國に居るやうな心地を人々に味はせました日曜日の集りは此歌が呼び物になつて人を引きつけました政江さんは又時にこんな感話を語つたりしました。

「私は神樣を信じます、この神樣から與へられた仕事は何でもいやがらずにせねばなりません。神樣は神樣によく服從ふものは必ずてにならず。遂には幸福を與へて下さいます。私達の第一のつとめは、神樣に服從ふことゝそうして人を愛することです、私達はこれを一生懸命にせねばなりません」美しい單純な信仰に生きて不平一つ言はず政江さんは明けても暮れても身を碎いて働いて居るのでありました。

炭燒きと秣苅り

北海道もずつと北なる此邊りは積雪の地平から切つた木の株が雪解の後は一丈位も地上へ突き出て居る人々はそれを切つて薪にしたり炭に燒いたりするのですが、政江さんがかよわい手に毎日大鋸をもつてゴリ〳〵切つて居るのもこれであります姉さんが切つて妹達が運んで雇人の男の手で大割りをして竈に詰めて燒くと數日の間に炭になる、これが此家の主なる生計の代であります。其他にも政江さんは家の周圍を耕して南瓜を始め色々の野菜物を作つて居りました。此南瓜は夏の常食となつて御飯の代用に食べるのであります此邊は雪の間が長いかはりに、五月の初め雪が解けるや否や梅も櫻も桃も其他の花も皆一時に開いて、草が萠え始めたと思ふとズン〳〵成長して人の頭上を超す位の長さになります、この長い〳〵草を背中一ぱいに負ふて、朝露に濡れて重い草履を引ずりながら家へ歸つて居る二人の後姿を見るときは私は何とも言へぬ悲しさに胸がふさがりました。

其うちに都合あつて私等は其地を引上げることになり悲しい別れを告げましたが、其後杳として此人達の消息も分らずに居ましたらば、本年二月に至りフト可愛らしい手紙が舞きました手紙の主は政江さんであることが見覺えのある手跡でわかりました。うれしくなつかしく開き見れば其後よほど手習ひもしたものと見えて、見ちがへるほど美しい手跡で左のやうに認めてありました。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

あのやうに何かと御親切にあづかつて居ましたあなた様方に、お別れ申てからと云ふものは何につけても悲しくばかりあつて、しばらくはぼんやりと考へてばかり居りました。折もをり私の家にいろいろの不幸が湧いてきました、それは皆が生命をつなぐ大事の作物が長雨のために殘らず腐つてしまひましたそれからまだこの地が不景氣になつて炭の値段が下つてしまひ今までの倍も燒かねば食べて行くことが出來なくなりました、母や妹も泣き出しました、而して私も泣きました。すこしばかりあつた麥と馬鈴薯とて半年の露命はつなぎました、それからどうしようにわ[illegible]

りました。

草津踊り　島田東子寄

年の暮れになつてから方々から救[illegible]

たそれから先生、或人のせわで私に縁談が始まりましてね、何だか氣がすゝみませんでしたけれども母や妹達のためと思ひまして其事に從ひました。今では二人で働いて苦勞も少くなり幸福に暮して居ります、どうぞ御安心下さいまし。

これを見て私はほんとうにうれしかつた。

政江さんは其信仰の通り天命に柔順でありました。かずかずの試練に立つて動かざる政江さんの信仰は千萬言の敎訓にも說敎にも勝つて人を生かす力があります、私は此人の美しい行動によつて負ふた子に敎へらるやうな無言の傳道を受けました。

（注）原本において小口側文字切れ　（不二出版）

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

初夏のスケッチ

白雲

（一）ほとゝぎす

ほとゝぎすなきつる方を眺むれば
　たゞ有明の月ぞのこれる

百人一首でお馴染のほとゝぎすである。この歌の通り、ほとゝぎすは曉かけて空高く勢込んで飛ぶので、なか〱姿は見えない。

ひと聲は月が啼いたかほとゝぎす

俳句にもかうある。けれどたまたまその啼く聲が聞えるので、ほとゝぎすも名高くなつたのである。

　明治天皇も

たまさかに來啼ばこそはほとゝぎす
　多くの人にめでられにけれ

と仰せられたのである。春の鶯を女

ほとゝぎす

神のさゝやきとすると、ほとゝぎすは、烈女が血を吐いて事を訴へる樣に、悲壯である。あの啼く時咽喉が裂けて、その滴つた血がつつじを赤く染めたのであるといふ。

歌によまれたほとゝぎすの中名高いのは

　夏山に鳴くほとゝぎす心あらば
　　物思ふ我に聲なきかせそ
　初聲を我に聞かせよほとゝぎす
　　待つかひありと人に言はせん
　打しめりあやめぞかほるほとゝぎす
　　鳴くや五月の雨の夕ぐれ
　ほとゝぎす鳴く聲きけば別れにし
　　故里さへぞ戀しかりける

十七文字のほとゝぎすも少くない。

　木がくれに茶つみも聞くやほとゝぎす
　目に青葉山ほとゝぎす初鰹
　貰ひし子の口まねするや時鳥
　ほとゝぎす顏の出されぬ格子かな
　いそがしき中に聞きけりほとゝぎす
　うれしさや寢入らぬ先のほとゝぎす

枕の草子の一節に

ほとゝぎすは、猶更いふべき方なし、いつしか、したり顏にも聞え歌に卯の花花橘などとやどりをして、はた隱くれたるも妬げなる心ばへなり、五月雨の短夜に、寢

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

ざめをして、いかで人より先に聞かんと待たれて、夜深く打出てたる聲の、らう〳〵しう、あいぎやうつきたる、いみじう心あくがれせん方なし。

最後に情歌に現れたほととぎすを

　酔ふてうたゝね枕がそれて
　　水を呼ぶころほととぎす
　蛙鳴くさへ恨のあるに
　　まして寢覺のほととぎす

（二）螢

明治天皇御歌

　宵にみし螢はきえてあかぼしの
　　かげこそうつれ池水の上に

六月の闇の夜を、夜な〳〵水邊を縫ふて、空の星の落ちたる如く、亂れ飛ぶ螢は、首夏になくてならぬ風情である。

清少納言も

　夏の夜、月の夜は更なり、闇も
　なほ螢の飛びちがひたる、雨な
　どの降るさへをかし

などと螢を讃美してゐる。

　晋の車胤といふ人は、家が貧しくて、油を買ふお金がなかつたので、螢を集めて書物をよんだといふことである。雪を光線に代へて讀書したといふのと好一對である。だから苦學なんぞをすることを螢雪の功を積むなどといふ。『螢の光、窓の雪、いつしか』と卒業式の歌にあるのもこのわけてある。

　螢の俳句も多い。

　　雨の夜は下ばかりゆく螢かな
　　草刈の袖より出たる螢かな
　　大螢ゆらり〳〵と通りけり
　　わんぱくや縛られながら呼ぶ螢
　　田の水を庭に引かせて螢かな

三十一文字の螢は

　草深き荒れたる宿のともしびの
　　風に消えぬは螢なりけり
　み谷川水音くらき岩かげに
　　晝も光りて飛ぶ螢かな

（三）田植

　田園處女が奮鬪の季節が來た、襷かけて、手つ甲はめて、雨の日は簑笠に身を堅め、甲斐々々しく泥田に下り立つ時、あゝその姿こそ實に光り輝く榮光の姿である。

　面白いぞや五月の田植
　　簑や笠きて後しざり

けれど、又

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

　腰のいたさよこの田の長さ、
　　四月五月の日の長さ

田植歌は、乙女が苦悶の聲であるとさへいふ人もある。けれど一家を擧げて行水を了へ美しく植ゑられた水田を顧み入相の鐘に送られつゝ家路に就く時の心は又格別である。

　暮れかけてうゑし昨日の初苗に
　　今朝は露みる小田の涼しさ

　五月二十日は泣く子が欲しや
　　畦に腰かけ乳のましよ

あゝ田園主婦の心意氣よ。

早乙女や泣く子の方へ植ゑてゆく

田園情趣の秀逸なるもの、若し夫れ

　一枚は月夜になつて田植かな

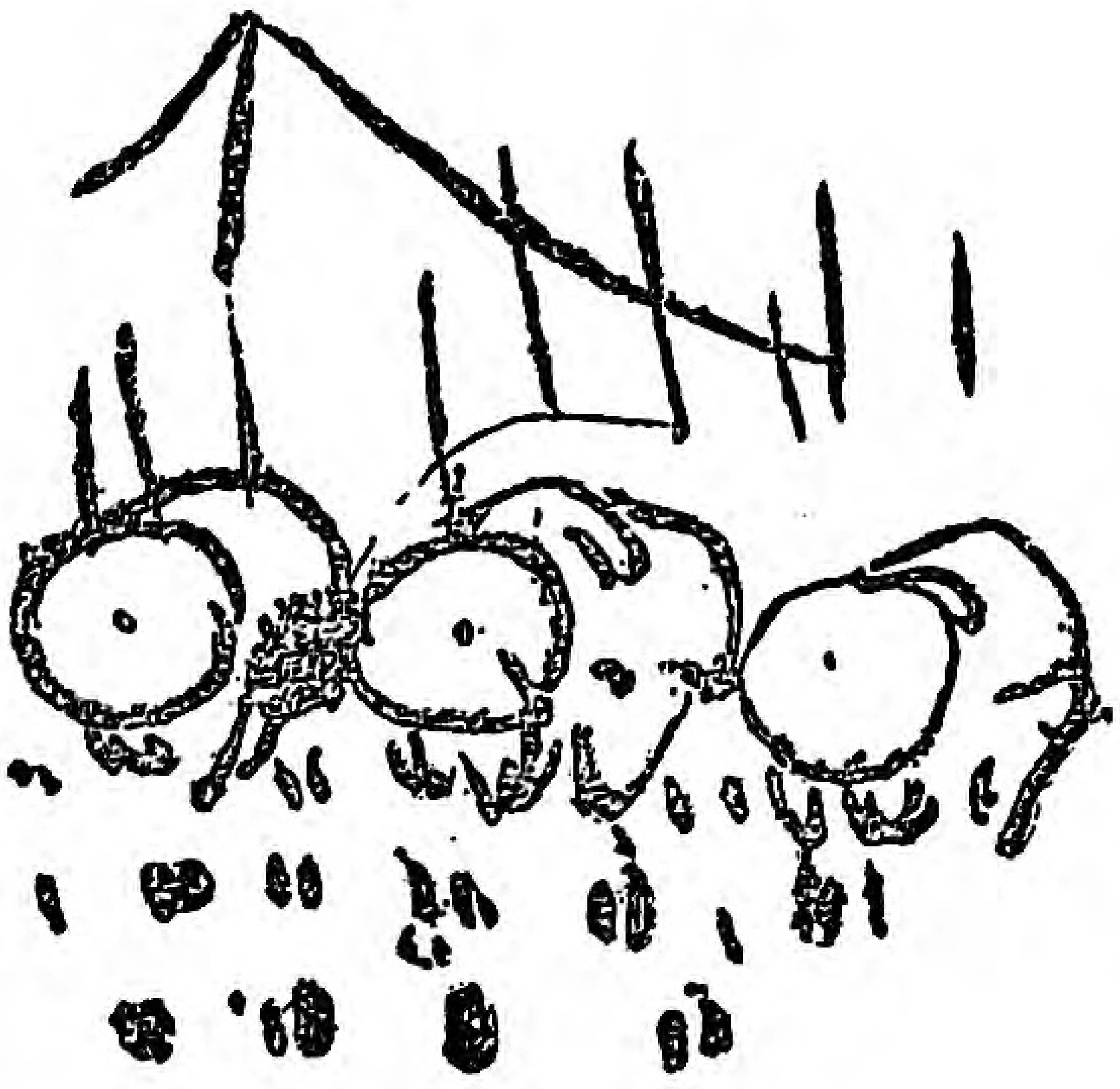
に到つては、勞働精神の高潮を寫して遺憾がない。

（四）夕顔

たのしみは夕顔棚の下すゞみ
　夫はてゝれ妻は二布して

田園生活の情趣寫し得て妙なるかな

田植



月あるもよし、なくもよし、蚊はうるさけれど、蚊ゐなくば、蚊遣火の風流は味はれず。澁團扇に蚊を追ひやりつゝ乳呑兒に乳のまする妻、月あかりに、愛兒の清書をほむる父！一幅の油畫である。

　夕顔の花の靜かに月夜かな
　夕顔のほのめく家や籔の奥

夕顔は氣品があるけれど、ものさびしさをも帶びてゐる。夕ぐれ農家のまがきなどに仄白う咲き出でたる、殊にもの思はしめる。

　夕顔や戸による母のおももちを
　　幼な心にあやしみし家

帶の間に手を挾んで、柱に倚つて、ヂッともの思ひに沈んで夕顔の花を見つめてゐらしつた母さまの御樣子をみて、悲しかつたといふ心である。

　蚊遣火の烟の上に咲きにけり
　　賤が伏屋のゆふがほの花

何んといふ床しい情景よ。あゝなつかしい夕顔の花よ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

青年男女共勵の努力村

島根縣美濃郡東仙道村青年會と處女會

島根縣美濃郡に東仙道村といふ村がある。濱田から十五里も山奥で交通も不便で文明にも後れがちな所なるに係らず、青年會と處女會と共勵して村の風儀を一新し、勤儉努力着々として實績を擧げつゝある。青年會長永田基君は、同時に禁酒會長を兼れ、全村より酒魔を退治すべく、處女會と協力して、あまりに熱心に奮闘した爲にとう〳〵反對派に迫害されて、村に居られなくなつたのである。予は同君が、內務省主催の明治神宮參拜代表青年團體に參加して上京した際に親しく面會した。二十一歲の青年であるが、熱血迸る憂國の士である。

左に處女會が青年會と共勵して如何なる働きをなしたか、その大體を記述しよう。

（一）實施事項

東仙道村處女會は明治四十三年七月一日發會せられ、會長福知繁次郎の下に、中島ちか子、大石ちせよ、美濃地はま子諸氏が副會長として働いて居られる。

事業の主なるものは

總會　毎年一回乃至二回開催。講演、談話 役員選擧、協議

補習敎育　家事國語、算術 及自治の補習をなす

例會　毎月一回開會　作法料理等の實習　講話會　會員談話　協議　唱歌練習　體操

講習會　毎年一回乃至二回開會（五日乃至七日）　科目は裁縫　其他技藝　講師專門家實際家

講演會　○○○○○○○○○○　青年團と聯合して開催す

入退會式　毎年四月に入退會式を行ふ。

婚姻退會式　婚姻者あるときは、隨時退會式を開き會員より婚姻後の心得につき懇談す

神社參拜　入退會式後入退會報告祭を擧行する爲又は新嘗祭祈年祭例祭國家の慶弔祭其他の時團隊參拜をなす

三大節參列　三大節には小學校に於て擧式し陛下の萬歲を祈る。

（二）青年團と聯合して

敬老會　毎年青年會と連絡して敬老會を開き、處女

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

は料理、給仕、餘興をなす
體育會　毎年二回青年團と合同して開かる
品評會　毎年一回青年團小學校兒童と合同して開會す
展覽會　同上
農作品試作　大根蕪等の試作をなす
師恩會　毎年一回開會舊師を招きて其の温容に接し自己の修養の有樣を御覽に入れる
青年處女連合總會　本部又は支部にて合同開催
手藝會　毎年一回青年團と合同して行ひ漸次良好の成績を示しつゝあり
風紀改善　青年會と共力して
一　酒を飲むもの
二　花柳病のもの

たのしき田舎

（長野縣　前島梢子筆）

三　人格の卑しきもの
以上の青年處女を排斥して交際をさけつゝあり。
地方改良民風改善。戸主會軍人會其他と共力して左の事項を勵守す
一　時間を嚴守すること
一　禮節を重ずること
三　報恩謝徳を心得べきこと
四　選擧の弊風を矯むること
俗歌改良　青年團と共力して俗歌を改良す
尚青年會長と協議して標語を選定した。其は
『お互にやりませう』
『大正二十年を待ちませう』
の二つである。往來で會ふと、きつとこういつて挨拶を交はすのである。又別に

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

『眠れる者はさめよ、覺めたる者は起きよ、起きたるものは鐘をつけ』の標語を宣傳してゐる。『理想郷の建設は青年處女の協力を第一義とする』とは、同地青年處女の共通の叫びである。

斯くの如く男女協力して村治の改良に努めたるの結果、自治の面目は次第に一新されんとするに至つた。

（三）處女美談

永田基君は同村處女會の美談を澤山送つてくれた。操行の正しい處女、よく働く處女、親孝行の處女などいづれも大勢のお手本となる美談のみであるが、左に示すのは、若崎とみ子三浦秋代子豐田稔子の三人が、となり村の處女に向つて處女會を作るようにすゝめた勸誘狀である。別に是は誰からよりも賴まれたのではないが、同性を思ふ愛と熱との溢れの然らしむるところで、一字一句至誠の結晶である。

◎

皆様修養も何もない私共が、餘り出過ぎた事を申す様でありますが他村の處女の爲どうしてもヂッとしてゐられません、眞實に現代の處女は、ウハべばかりの飾りをして、戀愛と虛榮心の空想にのみ耽り、肝心の精神修養といふ事には、何の考もなく涙も熱もなく唯一時的の眠りに入つて居ります、それで居乍ら其を當り前の樣な氣で平氣で暮らしてゐます。こんな有樣が何時まで續いたならば遂には社會が亡びてしまひます。さうではありませんか、一家の和樂の中心となるも、ならぬも皆主婦の精神の良心に依つて定まるものであります、けれども今の處女の中には、私は一生お嫁にゆかぬとか、獨身生活をやるとか、自慢らしく申しますが、其は如何にしても自然が許しません、眞實に今皆んなして心を入れ替へて迷つて居た暗い道から目をさまして修養の道に步を運ばうではありませんか。こうしたならば、必らず心の希望が現はれて、心が愉快になり働くにも何の不平もなく、幸福な整つた社會を築き上げる事が出來ませう、皆樣お互に修養しようぢやありませんか。

安田村處女皆々樣

この手紙を貰ひました安田村の處女は感激して遂に處女會を作つたさうであります。

（四）禁酒會の歌

（一）禁酒の軍の旗風に　進む吾等の意氣を見よ
呪ひの盃打ち破り　足並み高く打ち揃へ

（二）告げよ知らせよ酒の害　碎けよこわてよ盃を
國を傾け世を亂す　酒をなくせよ戰ひて

（三）酒こそ吾等の大敵ぞ　人をも身をも魂も
殺すは刀に非ずして　狂ひの水の酒ぞかし

（四）醉ひ朽腐れし思ひすて　光の世界にあくがるゝ
冴へたる眼の若人は　歌へよ禁酒を淸らかに

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

孝女もと子さん

石川縣三豊郡大野原村　白蝶

私の村て、親に孝行を盡し、尚處女會のために熱心に働いて下さる感心なお方として、石川もと子さんの事に就いてお知らせ致します。おやさしい、そして熱心な處女の友の愛讀者である事は皆樣も御存じでせう

もと子樣は今から十二年前、十五歳の時に、弟さん二人と生後やつと一年半ばかりの妹さんとを殘して、永眠されたお母樣の後、責任は皆もと子さんの上にかゝつたのであります。まあ其時のもと子さんの御心持はどんなでしたでせう。氣丈でも十五才といへばまだ〳〵親に甘へて居たい時ですもの。

生れつき怜悧なもと子さんは、姉と生れた責任を一身に負ふて、父を助け、家事一切を自分の手でなさいました。

休日を利用しては、小學校の補習科に小さい妹を守しながら、同情ある先生に裁縫を懸命に習はれました

家業に精出す事も亦驚くばかりで一切の費用にも意を用ひて、一つも身に飾りをつけられません。本當に質素て、五分間も無駄には過されません、その誠實、勤勉は誰も皆賞めて居られます。

一方お父樣も、小さい小供を相手によく働かれ、後の妻もむかへず、ひたすら愛子の爲めを思はれて、其の成長を樂しみに勵まれました。

よいお父樣によいお母樣、かうして立派な家庭となつたもと子さんの家は慰安と感謝に充たされて居ます

「私は芝居や活動には一度も行つた事がないが、處女會には一度も缺席した事がない」と處女會の席で一同に云はれましたが、なんといふよいお心掛けでせう。うら若いもと子さんが、なりふりかまはず働くのを見ては、お父さんも、弟妹もどんなに嬉しうございませう、かうして多くの縁談があつても、皆弟の立身するまでと、自らきつぱり斷つて、今尚家の爲、村のために働いて、二十六才といふお年で、處女會員として私等妹達を導いて下さいます。

志操の堅固な、まじめな働きと、優しい心の持主もと子さんが、この處女の友の愛讀者である事は、立派な孝女を出した我村としても、此上もない誇であります。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

小説

ふるさとの唄

深緑

(一) 初奉公

△

「ぢあね源さんすまないが頼むよ」
母のお増は大きな風呂敷包みを椽に置いて、鬢のほつれ毛をかき上げた
「よし來た」と頑丈な腕に風呂敷包みを抱へた源吉は、茶の間の方でガタ〳〵音をさせて、小風呂敷に細かいものを纏めて居るお芳の方を振向いて
「さあ芳ちゃん行くぜ」
と元氣らしく聲をかけた。
「どうもお待遠樣、ではお父さんもお母さんも御機嫌よう」

臺所から

六月の食品

魚類

鰹＝マカツオ、ソーダカツオ、スヂカツオ、スマカツオ等ありまして、刺身、照燒、餡かけが最も美味です。

ナマリ節＝生鰹をゆでゝ火であぶり、日光に干したもので暫く保存する事が出來ます、煮付、酢の物に結構です。

イツナギ＝イシモチに似て大きな魚です。刺身、煮付、又、燒肴、ぬた、鮨に用ひます。

ベラ＝六七寸の小さい魚で味噌漬、煮物に適してゐます。

此外針烏賊、笹鯛、又鮎、鮹、鰻、鯉などの川魚などもこれから頂けます、

野菜類

百合根＝滋養ある野菜です。白煮、煮付、等にして誠に上品です。

馬鈴薯＝中旬頃より盛んに出ます。惣菜用に適當

破竹＝孟宗筍より少し細いけれど、味は結構です。うま煮、白和、田樂、竹の子飯、胡麻煮、肉詰によろしうございます。

茗荷竹＝茗荷の莖の軟かい處です。酢の物、刺身のつま、まし汁の種に結構です。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

お總の方は涙で聲がふるへるのを、無理に心を引しめて、

「行つて參ります」

と小風呂敷を抱へて、勢よく立上つた。

「ウンもう行くか、お芳よく奥樣や孃樣の意に逆らはんやうにな、えいかお芳」

ところ〳〵に繕はれた、めくら縞の單衣が、強い光を受けて、殊更にみすぼらしく見ゆる父の新太郎は、五十年間の生活の惱みと、病後の窶で、見るかげもない姿を椽に運んだ。その後に立つた母親が心配さうに

「身體を大切に辛棒するんだよ、なあお芳」

と淋しさうにいふ聲を後にして、法被姿の源吉とお芳は連れ立つて木戸口から出て行く。

美しい花の髮飾りはないが、ふつくらと桃割に結んだ黑髮は美しい。赤地めりんすの帶は色あせて、みすぼらしいがお太鼓に結んだ恰好は又なく可愛らしい、お芳は見とれる程の美人ではないが、肉付のよい肩のあたり、ふくよかな頰が人を引きつける。貧しい家に生ひ立つたお芳とても、乙女十人の赤き血潮はその眞白な頰に襟すぢに漲つて、肌の美しさがあり〳〵としのばるゝ。

病身な父、幼い弟、貧しい我家、思へば思ふ程、賴りない身を、誰よりも賴りにする、從兄弟の源吉にすがつて、切迫した我家の生活を少しでも樂にするために、自ら奉公しやうと志した。そして、源吉が小供の時から昨年まで奉公して居たといふ、一里ばかりある炭坑の坑長である、藤堂家の上働きといふ事に相談が纒つた。

源吉はまだ廿五の若者である、早く父母に別れ兄弟もなく、伯父であるお芳の父に引とられて、高等小學までは、どうにか卒業させられたが、苦

衣カツギ＝里芋種の蒸り、衣かつぎと申して湯でゝあん、又は醤油をつけて頂きます。

果　物

水蜜桃、天津桃、枇杷、梅實、苺、アンズ

臺所の黴

梅雨期に注意を怠りますと、大切な食物を調理する臺が黴だらけとなつて、病氣の原因となる事が多うございます。梅雨期の心得十ヶ條を考までにお知らせ致します。

一、臺所器具、戸棚の類は掃除をよくして、鐵製の器具には油を引き、日光によく當て、すべて乾燥するやうに務め、土間には木炭くづ、石炭殼を敷くのもよい方法であります。

二、鳥獸の肉類は凡て外部から腐敗するものですから、外部を全體油鍋で煎り焼にして置けば翌日まで生肉のまゝ保ちます。

三、魚肉類は内部から腐敗するものですから早く腸を出して、能く水で洗ひ、全部素焼にするか、又は鹽を全面に撒りかけ、擂鉢様のものに入れ、落し蓋をして、餘り重くない重石をして置きますれば一日位保ちます。

四、野菜は決して、水浸しのまゝ一夜を明かしてはいけません。求めた其夜は水から引き上げ、翌朝から水に浸し、時々水を替へるのであります。

五、鰹節は全面に酒を塗り、風通しの良い處に吊して置けば、黴が出ません。

六、醤油は樽の口を拔いた時、直ちに其の口から五六本の蕃辛を入れて、日の當らぬ所に置

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

しい家計を見かねて、卒業すると直ぐ藤堂家に奉公して、昨年の暮まで十年間蔭日向なく働いた。

再び伯父の家に歸つて來てから源吉は、持つて生れた丈夫な身體を、遮二無二働かせて、伯父一家の爲に盡さうと決心した。

「伯父さんは俺にとつて、大恩ある育ての親だ。骨身を碎いて働いても、受けた御恩の萬分の一も報ひなければならない」

かう言ひつゞけて、尋常小學校の時に敎はつた二宮金次郎の言行を朝夕の信條として努力した。

「働き者の源公」といふ評判は村中に誰一人知らないものはないやうに響き渡つた。

父の新太郎の中風は、寒い暮の頃から大變惡くなつて、今ではもう大方床に就いて居る日が多く、椽側まで、立つて歩いて來るのは殆んど珍らしい位である。源吉が一生懸命に稼いでも、この病人の療養に大方費してしまふのである。

「あゝ源さんばかり働かせてはすまない」

とお芳が健氣にも決心して、奉公を思ひ立つたのはこの春からであつた源吉は頻りに止めたが、お芳の確い決心に動かされて、藤堂家に世話をしてやつた。

初奉公――お芳にとつては心元ない不安な事であるが、自分は今日から働く、そして我家のために苦しむ源吉の重荷を、幾分なりとも輕くするために、奉公するのであるといふ滿足が胸の奥から湧いて來る。

き、酢は少しの鹽を加へて、其口付の硝子瓶に入れて置きます。

七、漬物の重石は必ず忘れぬやう。

八、卵は尖つた方を下にして、籾殼、小豆等の中に立てゝ置くこと

九、御飯は米一升に梅干二ツ位入れて置きますと惡くなり兼ねます、

十、砂糖の蟻を防ぎますには、容器の周圍に白墨で太く線を引いて置きますと、蟻は其線から中へ這入りません。

山葵の利きをよくする法

利きの惡い山葵は、山葵おろしを火にあぶつておろすと、上等の山葵のやうによく利きます

鯉の刺身

鯉の鱗を引いて頭を去り、膽嚢を傷けぬやうにして、腸を開いて、水洗ひして、三枚におろし、腹骨を掻き取り、皮を引いて、極く薄めの刺身を作り、これを銀盤に載せ青紫蘇、防風のやうなものを、つまとし、おろし山葵を添へ梅酢を小皿に取つて出します。

梅酢の作り方

鹽漬にした中位の青梅を五個程とり、水で洗ひ、その水を切つて、魚串のやうなもので梅全體を平らに突いて、鍋に水一合五勺と、酒五勺と水の量の一割の砂糖とをとり、この梅を入れとう火にかけて、汁が一割だけ煮つまるまでトロ〳〵と煮ます。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

「吉野を出でゝうち向ふ　△飯盛山の松風に
なびくは雲か白旗か　ひゞくは敵の鬨の聲

「………………　………………」

「あら俊坊ぢやないかしら」

「ウムさうらしいな、もう學校から歸つて來るんだな」

二人は立止つて瞳をすゑたまゝ、近づいて來る歌の主を待ち受けた。

「めざす敵の師直と　思ひて討ちし其首は
敵のはかりの僞りか　あざむかれしぞ口惜しき

二人が待つとも知らぬ歌の主は、森影から姿を見せて、曲りくねつた田甫道を、元氣よく歌ひながら近づいて來る。

「尋常五年位の時が一番いゝなあ、罪がなくて」

「ほんとにねえ、それに特別俊坊は小供らしいんだもの」

木綿の風呂敷に包んだ書物を斜めに脊負つて、バタ〳〵と草履で砂を蹴立て乍ら、俊二は近づいて來た、

「俊ちやん………」とお芳に呼びかけられて

「オ、姉さん、何處へ行く、源兄さんも」

「あのネ、炭坑の藤堂様に行くの」

「アゝ、あの去年源兄さんに連れて行つて貰つた家か、アノ牡丹の綺麗に咲いて居た大きな家」

鰻の蒲焼

鰻の蒲焼に注意すべき事は、脂肪を抜くことです。鰻は元來非常に脂肪に富んで居るものですから、脂肪を抜きませんと、脂臭くて頂かれません。串に刺して三十分ばかり兩面をとろ火で白焼にし、串のまゝ、板に載せ、其上に板を載せ、壓石を置いて板を些し斜に傾け、十分間程置きますと、脂肪が垂れて、抜けてしまひます。それからかけ汁をかけて焼き上げるのです。

生節酢の物

生節は酢につけ、胡瓜は揉み、三杯酢をかけた物です。

胡瓜二本は皮を剝き、竪二つ割として、斜に小口から薄く刻み、鹽小匙一杯を撒り、ざつとまぜて暫くおき、水洗ひをして、酢二勺程かけておきます。

生節は三切分を求め、手で小さくちぎり、ざつと酢で洗ひます。皿に胡瓜の酢をしぼり、程よき位に盛り、其前に生節を體裁よく並べ上から三杯酢をかけます。三杯酢は水一勺、砂糖小匙一杯を煮立て、酢二勺を加へたものであります。

美味しい麥焦し

麥焦しは麥を煎り、挽臼にかけて挽き、細かい目の節でふるつたものでありますがこれに米を煎り、挽臼で挽き節つたものを、麥七分に對し、三分の割合で混ぜて用ひます、と舌觸りが

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

「ウムさうだ、芳ちやんはあの家の人になるんだ」

「アノ立派なお座敷やらお庭があつて、電氣燈もついて居る家の人に――。だから俺は嫌だなあ姉さんが居なけれあ、淋しくてつまらないもの」

「姉さんだつてネ、俊ちやんやお父さんお母さんといつしよに居たいのよだけど……………」

お芳は次の言葉をぐつと胸にのみ込み、濟まない事を言つたと云ふ風に源吉の顔を見た。そして聲を強くして俊二に言つた。

「俊ちやんはネ姉さんが居なくなつても、お父さんやお母さんに二人分の孝行をして頂戴よ」

「あゝ」

「そしてネ、もつと〳〵家の手傳ひをしてネ、分つて、それから何んでも源兄さんの言ふ事を聞いてネ」

一言毎に點頭く俊二郎の可憐な様子にお芳は涙ぐんで

「さあ早くお歸り、お父さんお母さんが待つてゐるだから、俊ちやんも身體を大切にしてネ」

「ア、姉さんも早く歸つてネ」

「えゝ俊ちやんも勉強してネ」

互ひに振り返り乍ら、曲りくねつた田甫道を反對の方に向つて歩いて行く。

田植歌が周圍の靜けさをやぶつて、平和の村の遠近に聞える。

「さあ降り出さぬ中に行かう――今から一里だ」

滑らかでむせないでうまく頂けます。

蕗子の美味しい漬方

生蕗子五升を一夜水に浸け、臭味を取つて、きれいに洗ひ、笊にあげ、水氣を斷つて直ぐ桶に入れ鹽二提りほどふりかけ、其まゝ一晝夜程經てから、水洗ひにして、笊に上げ、水氣を斷り、竹簀の上に攤げ、其まゝ一日位日光に曝します。菓子昆布の兩面をざつと水洗ひして、水氣をぬぐひ、一二寸程の短册形に切り前の蕗子といつしよにして、赤蕃椒の種を拔き二分位の小口切にしたものを加へ、壺又は瓶に入れます鍋に蕗子の被ろほど、酢と味醂を酢の半分程砂糖を少し入れて、火にかけ、二三回沸立ちたらば直ぐ鍋に入れて冷まして、蕗子の上から注ぎ込み其まゝ蓋を堅くしておきます。

胡瓜の渦巻漬

胡瓜の兩端を切りさんしようと鹽とで漬け重石をおく十分水の上つたころ、取出して縱に庖刀目を入れ、核を拔き出し、二日ほど天日にあてゝ乾かし、十分乾いたころ、割目の一方から、ぐろ〳〵と固く卷き、竹の皮裂きたろにて括り、米糠一升に鹽二合の割にに漬け込み、重石をしてをくこと十五六日目で食べられろ。洗つて輪切りにすべし。

◎各地料理法を募る

各地の珍らしい料理法を募ります。わかりやすく材料とつくり方をかいて送つて下さい。處女會などのよい參考となります、面白い分には賞品を呈します。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

一千二百人の處女の集り

福島縣河沼郡聯合處女大會　（口畫參照）

（一）

福島縣に於ては、大正九年、縣訓令を發布して處女會の設立を奬勵中であつたが、河沼郡は該訓令に先つて既に着々處女の修養に力を致し、最近十六町村全部その設立を見たので、去る四月二十五日全郡下の處女大會を催すことになつた。私は名譽あるその講師に選ばれたので、二十三日夜行九時で上野驛を立つた。田所理事と同行したことも思出である。

（二）

目をさますと、寒さが身に泌みる。夜はほの〴〵と明けそめて空に星の光が淡い。列車は今猪苗代湖畔を通つてゐる、磐梯山をみると、まだ雪がまつ白い、寒い筈だ、海拔一千六百尺。をや梅が咲いてゐる、櫻の蕾はまだ少し固い。

若松へついたのが六時ごろ、自動車で目的地坂下町に向ふ。櫻がまつさかりで、路傍の柳が春風にもつれてゐる。佐藤郡視學が迎ひに來てくれた。

八時坂下町につく、街は國旗と提灯で美くしい。是は此町にこんど農林學校が出來たので、その祝典を擧げるからである。

十時小學校へゆくと、講堂に集つた青年一千三百名さすがに廣い講堂も立錐の餘地もない。予は「青年團の將來」について二時間に涉りおしやべりをした。

此で第一日の使命もすんだ。其から農林學校の落成式に臨んだ。知事さんも來て非常に盛だ。さあ明日は處女大會、お天氣もよさゝう、安心して篤志家の猪俣氏の離れ邸に一夜を明かした。農學校の片山教諭は珍らしい篤行者で、主人と三人膝を交へて青年處女の修養を談じた。

（三）

朝早く眼をさまして窓を明けると日本晴れ。裏庭から田圃へ拔け出てあたりを散歩する。忠實な農夫が苗代へ種子まきをしてゐる。すべての人は睡つてゐるのにと思ふと、農夫の勤勉がたのもしい。

磐梯山がクッキリと青い空に聳えてゐる。

九時に學校にゆくと、もう處女會員の集るもの數百名、遠きは汽車に乘つて來る。モンペ袴を穿いて質素な服裝が先づ心を惹きつける。定刻開會、點呼の結果

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

一千二百名と註される。全郡の處女がこの樣に多數集會したのは、日本でも珍らしいことである。

私は「處女會員に望む」といふ題で優良處女會員模範孝女、節婦のお話から處女會員の心得につき二時間おしやべりする。一千餘人の娘が靜かに欠伸一つせずに聞いてくれたのは嬉しい限りである。

當日表彰せられた處女左の如し。

△谺寺塚原トキ△高寺渡部うつの△群岡廣瀨つぎ△金上五十嵐ちよみ△川西佐藤みちの△五ノ併江川まつの△牛川新國ちよ△新鄕鈴木ちよ△野澤塚原せつ△廣瀨五十嵐ちよの△日橋佐藤ちよ

正午休憩、一時より知事さんのお話しがあり、一時半より再び私は話しをつづける。

三時紀念の爲寫眞をとつた。口繪にあるのが其である。其から指導者の方々に別席で三十分お話しをした是で處女會青年團の使命もすんだので、歸京しようとすると若松小學校長の甲斐氏が、東山温泉へ誘つてくれたので、田所理事と一所に名所東山温泉に車を走らせた。

(四)

旅館「新瀧」の廣間に通されたのは、電燈の光りが庭の櫻に照り榮えて、谷川を挾んだ旅館の灯が美くしく流れに映る頃であつた。まづ温泉に一浴して疲れをなほし、さつぱりとした、浴衣に着換へて夕餉の膳に就く。谷川の流れが雨の樣で、いつぞや修善寺に遊んだことを思ひ出た。河鹿がころ〳〵と啼いて風流の限りである。サイダーを酌みつゝ名物の鯉料理に舌つゞみをうつ。夜更くるまで三人して四方山の物語りをした。

(五)

けふも上天氣である、折から櫻の花盛り、落花を浴びながら流れに沿ふて下り、甲斐校長のお宅でお午の御馳走になる。お庭の櫻がチラ〳〵散つてお茶碗の中に落ちる。お丹精の鷄の生んだ温い卵の御馳走は何よりであつた。

三時半田所理事と別れて一人歸京すべく、汽車の客となる。但しこの汽車東京へ直行しないで、猪苗代驛に下車して、旅館伊勢屋に投宿する。此處の處女會は縣下の模範であるが、其よりも珍らしいのは、此處の處女會員に藝妓が一人入つてゐることである。(別項をみること)私は感心な彼女としみ〲物語るべく、電話をかけた。次號に詳しく彼女との會見の樣子をかきませう。(あまの)

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

半生の迷ひ

松崎ひろの

半生の迷ひと申しても私が本當の迷ひとか惱みとか感じ出したのは十五の春からでございます。

「まあ十五になつた」と氣づいた正月頃から妙に私の胸には淋しさと、不安が充滿になりました。

忘れもせぬ十五になつた正月に、お雜煮の支度が手傳ひ度くて、母や姉が臺所で働いて居る側で、もう大人になつた氣で何かしやうとした時「子供のくせに臺所に來るもんぢやりあません」

と八ツ年上の姉に叱られて、私は非常に侮辱された氣持がしました、今から考へて見ればもうすでに其時私は大人になつたのでした。本當に臺所で働き度い、まゝ事遊びは打ち捨てゝも、本當の御飯を炊いて女らしい樣子をして見度いと思つた時、娘になり、女としての考へが出來初めたのではなかつたかと思はれます末つ子で特別甘やかされて、小供らしかつた私を見て、

「小供のせくに」といふのが母や姉たちの、口ぐせで其中には、可愛い娘であり妹である私に辛い事はさせまい、自分の可愛い娘であり妹であろ私は何時までも春の樂園に遊ばせてやらうといふ母や姉の無限の愛の含まれて居ろ事を知り、自分は仕合せ者だといふ事を思ひ乍らも、何だか自分が若芽の中から、室の中に押し込められたやうな氣がして、活氣ある世間の空氣にふれて見度いといふ、希望が心の底に燃えだしました。

室の花のやうに慈しまれた私は幸福でした、けれども父もない、父の顏も知らぬといふ淋しさ、頼りなさが胸の底に蟠つて居る私は、母や姉の慈悲の懷に抱かれながら、倘何かにつけて、自ら立たうとする心が起き上つて來るのを、どうすることも出來ませんでした。

十六、十七、十八と私が段々と考へが變つて行き、大人らしい動作を

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

見せるやうになつて、長い間私を苦しめた「小供のくせに」といふ言葉がいつ知らず私から遠のいて、今度は「女のくせに」といふ言葉が私を迷はせるやうになりました。

「女のくせに」といふ言葉は私一人でなく大方の婦人が聞かされると心付いた時私は種々と考へさせられました。

「あの人は女のくせにあんな本なんか讀んでる」と老人連に頭から爪はぢきされる婦人の中に心から敬服すべき人格を見出した事もあり、「あの人は女らしくて感心だ」と賞めらるゝ人の中に人の衣類の批評や人の悪
こばかり話す、不快な感じのす
のりました。「私はどういふ女
これはもう片時も私の腦裡を離れなかつた思ひでありまして。

「あゝしたら彼處の叔母さんに嫌はれはしまいか、女のくせにこんな事をしたと人に笑はれはしまいか」

といふ心配が、人一倍氣の小さい私を苦しめました、

「私は本當に女らしい女として行かう」

と判斷は下しましたものゝ、その女らしいといふ解譯がそれは〳〵幼稚なものでありました、

或る時は不味いお茶を作つて、兄に叱られた時もありました、又或時は裁縫が不手だといつて姉から叱られ

「かういふ事ではとても女として駄目だ」

といふ宣告を受けて、夜通し泣いた事もありました。さういふ時はもう堪まらない程悲しくなつて、泣き腫らした瞳をすゑて

「あゝもうこれから一生懸命に裁縫と料理のお稽古を勵まう、好きな讀書もしまい、新聞だつて讀みはしない、そして――そして私はあくまでも女の仕事を上手になつて見せる」

決然と心に叫んで、それから裁縫や料理に熱中しました。夜十二時頃までせつせと針を運んだり、臺所で種々のお料理を研究する日が續きます内に、何かしら求むる私の心は、あまり無意味な其日其日が情けない程つまらなくなりました。

「いつたい女といふものはこれだけのものかしら、かうして朝から晩ま

（注）頁左上、原本において破損（不二出版）

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

（注）頁右上、原本において破損
（不二出版）

したり、雑巾を持つたりれで一生が終るのなら本當だけれども、又何といふつまらない者だらう、丁度家庭の技師として、又男の心を引くやうに殊更に美を裝ふために、心を碎くとは本當に情けない事である。あゝこれではならない、私はもつとどうかしなければならない」

と考へるやうになつたのは、婦人の向上發展を叫ばるゝ、世の風潮に刺戟されてからの事であります。婦人の力、婦人の働き、かういふ聲を耳にする毎に私の胸は言ひ知れぬどよめきに波打つやうになり「うかうかして居らるものか」と、一層惱みと悶えが強くなつて參りました。

一方には從來の家庭技師たるべき世の常の仕事も疎かに出來ぬ、一方に時勢の進運に伴ふ、婦人覺醒の聲は後から、歩みののろい私を追つかけて來ます。

「かうしてはゐられない」と焦り焦つて、自分の行くべき道といふものが見當がつかなくなつてしまひました。

かうなつてくると一層自分の身體一つでは足りない程の重味を感じて晝間一日針を動かしては、夜ふくるまで、一心に勉強して見ました。「あれも何時迄縫ひ上げたい」「この本も今晩讀んで見度い」と思ふ時も屢々ありましたがさうした希望と抱負が次から次に自分の頭にひらめく度に、私はいよ〱活氣づいて、追ひかけらるゝやうに其日一日を充實させる事につめとました。「其日一日の充實」此が私の一大信條となつてから不思議に、頭が冴えて來た樣で、思ひ通りに一日一日を着々と充實させて行く事が出來ました。結局間斷なき活動が、私の惱みも、煩ひも取り去つてくれたやうに思ひます。「子供のくせに」といふ言葉が何時知らず時の經過による私の態度で取り去られた如く「女のくせに」といふ言葉も私等婦人の努力と時の經過によつて取去らるゝのではありますまいか。そして本當の自覺した婦人は、洗濯したり臺所したりする中から、趣味を持つ事が出來る事をも痛切に感じました。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

四つの處女會へ

(一)毛里田村處女會

四月十日午前八時三十分淺草發の汽車にて群馬縣新田郡毛里田村處女會へゆく。日本晴の上天氣で、菜の花に桃の花に、櫻に、座つてゐながらお花見をした。十一時半頃太田ステーションにつくと鳥の郷の齋藤熊雄氏が見えた。毛里田村はこゝから一里半ばかり、學校でごはんの御馳走になつてゐると、アチコチから會員が集つてくる、村は戸數一千戸、人口八千といふ有名の大村、處女會は一月に生れ、會員は三百五十名。一時からお話しする。

此處の處女會の特色は、萬事自發的にやつてゐることです、發會も村の有志が、處女から催促されてしたのださうです。會則の中に次の樣な事業がかいてあつた。

一修養に關する講話會講習會
二家庭改善及地方改良に關する展覽會品評會
三敬老謝恩慈善等に關する事業
四婦人に適當なる地方改良及公益事業
五運動會遠足見學旅行など
六言語風俗の改善
七弟妹の家事學事指導
八敬神崇祖の實行
九規約事項の實行
一〇其他婦人の修養及地方改良に關する事項

村は名高い金山のふもとにあつて養蠶の盛んないゝ村である。

(二)太田裁縫女學校

その晩太田町の芭蕉屋に泊りました呑龍上人を祀つた大光院の御開帳なので非常な人出であります。お湯に入つてねますと、お腹がいたみ出しました。夜中痛んでねむられませんその中夜が明けました。いたむお腹をかゝへて太田裁縫女學校へいつてお馴染の生徒たちに、ヘレン、ケラーのお話しをする。此の女學校は常見校長夫妻の人格を中心として家族的に經營せられてゐる。生徒の多く

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

は「處女の友」の誌友である。胃痛をこらへつゝ一時間半ばかりお話しをして十一時の汽車で歸る。こんな苦るしい旅行はなかつた。新島讓先生曰く、

主義に生き主義に仆るゝ我が身なり

(三)川角處女會へ

四月二十一日池袋驛から東上線で坂戸へゆく、川角處女會と青年會の總會に出演する爲である。この日も日本晴れ、汽車の窓から武藏野の春げしきを十分味つた。櫻は既に散つたが、八重は方々に匂つてゐる。小學校の運動會に出處つた。十一時半停車場へつき自動車を走らせて坂戸村小學校へゆく、この村は、四百戸二千人ほどの村だが平和の村だ。青年がテニスをやつてゐるので三十分間ばかり一所に遊ぶ。一時キチンと開會出來るのには、少からず驚いた青年處女共に二百名ほど、みなまじめな若い人たち、大に話し甲斐もある。處女會は去年秋明治神宮參拜を催したとのこと、校長もなか〳〵熱心である。武藏野の暮色を賞でながら歸宅したのは七時。

(四)鴻の巣聯合處女會へ

夜來の春雨晴れ渡つて心地がよい埼玉縣鴻の巣小學校で八町村聯合處女會が開かれるといふので上野驛を十一時二十分の汽車に乘る。花の盛りも永からず、櫻花も青葉若葉に衣換へしてしまつた。

一時鴻の巣へついてすぐ會場へ集つた。さすがに廣い講堂も立錐の餘地もない。

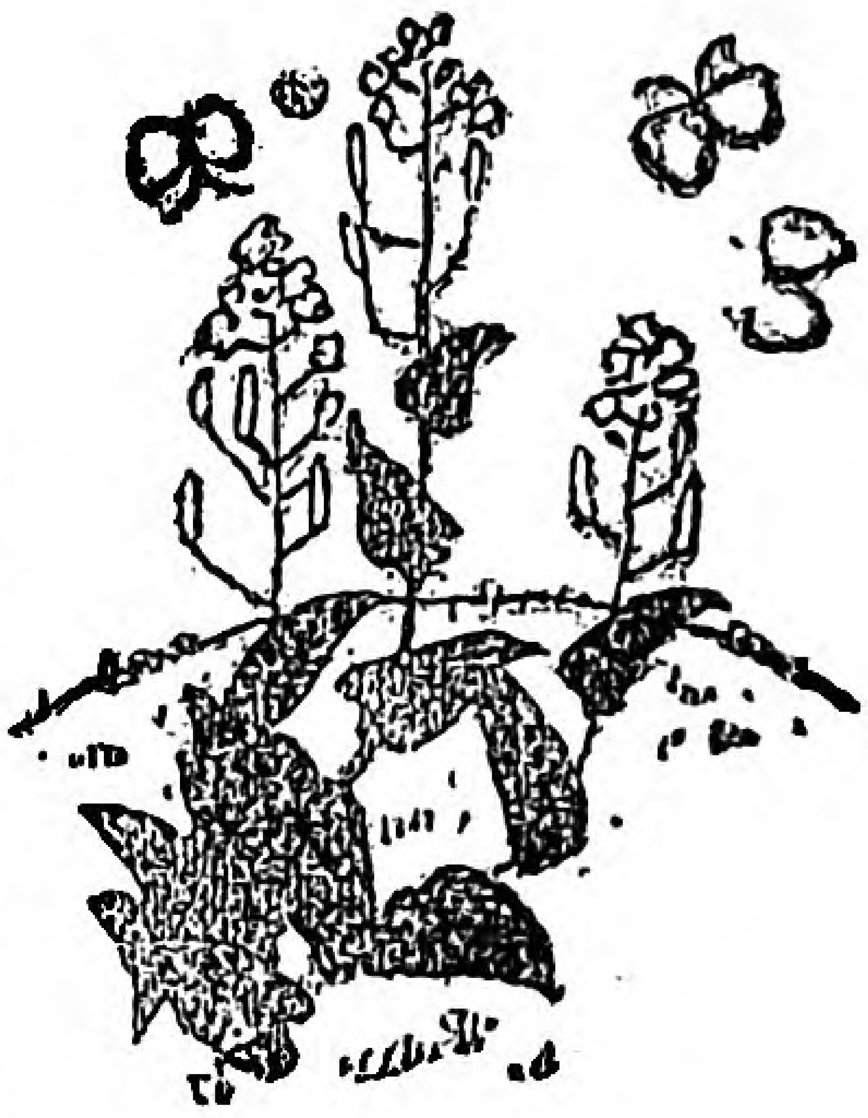
定刻一時開會、けふも一分も後れない。誠に立派なことである。處女は皆まじめで、質素である。佐久間視學は、將來郡聯合處女會を組織したいといふて居られた。六十六町村の處女が一堂に集つて宣言でもする秋が近く將來しよう。たのもしいことである。

四時の汽車で一旦歸つて、夜行九時でまた福島へゆく。さても忙しき昨日今日かな。(ア)

□群馬縣新田郡では去る四月二十三日全部聯合處女大會を開きました。東京から下田女史が見えまして、大盛會だつたさうです。

□新田郡島の郷村處女會長齋藤校長は今度群馬縣の社會教育主事に御榮轉になりました。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN



私の日記

天野清子

五月一日(初夏の日曜)

温い風を交ぢへた朗らかな日、雲は緩々動いてゐる散る花に徂く春の袖とめて、惜春の情を訴へたは昨日の事、裸木には再び緑の芽が吹き出た。千草に溢るゝ生氣が萌える。東京の眞中は神田、神田の眞中の神保町、賑かなことに於ても日本一だらうが黴菌の落下數の甚だしい事も日本一炭酸瓦斯の多いこととその比を見ずといふ、この南の方にあたつてゐる小さな家に野趣に飢えつゝも野趣を唄つてゐる私しは矛盾の人かも知れぬ。赤い煉瓦や瓦の間から手の掌ほどの青い空が見える。私しは寢てみつ起きてみつ、此青い空に憧れる木もない水もない二つ三つの植木に、僅かの慰めを與へられてゐる。

それにこの春は花の盛りを二十日ばかりも病床に暮した。「三日見ぬ間の櫻かな」既に春は逝つてしまつた。然しやつと全快した、蘇生の歡びが湧く、朗かな日曜は來た。

自然を忘るゝ心はせめてもの慰安を公園に求むべく散策の杖を日比谷に向けた、芳ばしい若緑の香りは初夏を知らしめる。明るい菜の花はないがあでやかな洋花が妍麗を競つてゐる。出揃つた麥の穂は見られぬが五分刈りに延びた芝生の美しさが、廣々と展開してゐる。雲の上に雲雀の音はせぬが青葉の中に人工の樂音が響く。堤防に青柳の調和はないが、棚に低う垂れた藤の花が行き交ふ人に床しい香を送つてゐる。殊に萬綠叢中血に燃える樣なつゝじの滿紅色はお話にならぬ美くしさである。流石帝都屈指の公園、田舎の自然に劣るところかはあるまい。考へつゝ熱い日を日傘に除けて、緑木の下を歩いてゐると、

「あゝ一寸こゝにあるのがポチャ〳〵池ですよ」と友が袖引く話にはきいてゐたがどんな池かと急ぎ寄つて見ると、こはいかに、泥だらけの瓢箪池、その中にお尻丸出して、砂悪戯に餘念ない子供が數十人、子供等は熱い初夏の日を浴び乍ら夢中になつて、僅かな自分の領分を守りつゝ、溝を通じ土手を築き池を堀りそこに

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

砂て家を築くなど、大人も及ばぬ忙しさ。私は思つた。此有樣を一日なりと田舍の子供に見せたいと。玉を欺く碧の小川に目高汲む淸遊、それは、田舍の子供にのみ與へられた唯一の幸福。川を知らぬ都の子供、水に憧れる都會の兒童、御身達はそれぽつちの水にさへまで狂喜を感ずるのか、笊に竿の、この光景は私しの胸に無量の思慨を喚んだ。

五月二日(花曇)

朝の片付けが濟むと『都會の女學生の裏面』といふ小冊子に好奇心の眼を注ぐ。『紫紺のカシミヤに鞣革の靴、胸高に抱へた敎科書の包みも輕げに、淑やかな歩みを運ぶ幾多の女學校通ひの處女等よ』と「こう女學生を形容して見ると、いかにも優しげに美しい。然しその裏面を窺ふときは、『愕然として驚き蕭然として悲しみ幻滅の悲愛を感せしめる』といふに至つては全く失望せざるを得ない。街路を歩いても電車に乗つても靑春に目覺めた美くしさは若い人達の血潮を高鳴らせる。そんな機會が都の人には多いのだ。朴訥の

田舍娘には到底眞似の出來ないなよやかなその物腰、顏の表情、言葉の言ひ廻し、その根底は異性の愛と、注目を惹かうといふ願ひが原因してゐる。依つて彼女等の內部生活はいつもお留守になり勝ちだ誰れかは『白粉が濃くなるほど心が薄くなつてゆく』といつた。

妍爛の裝は異性を幻惑するに充分であるかも知れぬが魂の輝は次第に錆びてゆく人情の美くしさ、醇眞の言葉は、彼等の生活の中には滅多に見出されない。續いて讀みさしの婦人公論を手にした。『人知れぬ女さま〲の苦勞』として婦人記者の玄關拂ひ、歌劇女優のドンゾコ生活、看護婦のあゝ歸りたい、女敎育の醜い身體、人妻の悲しみなど、やがて職業婦人の裏面や、因襲に苦しむ新らしい妻女の惱み眞相のまゝが書かれてあつた。これ迄さほどには感じなかつたこういふ人達の不幸が、淚ながらに想像された。農業に親しむ田舍の婦人はどんな悲しみを持つだらう。惱みは多くの場合人を對手の仕事に多い事を思へば自然を對象におく田舍人の方

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

が遙かに幸福だらう。隣りから三味線の音がする。いたいけな子供の歌ひ聲がする。舞台に出る前の藝人の苦心は觀客の想像出來ないところに潜む。表面から推察してゐるほど美くしいものでも、愉快なものでもないのが人間生活の眞底かも知れぬ。

『本當に泣いた人でなければ本當の笑ひを得ることは出來ぬ。こんな意味の文句に感じさせられた事を思ひ出す。私しも過去に泣いた。それ故に、普通の人達には、さして』幸福とも思へぬ事が私にとつては泣きたいほどうれしいのだ。この年になつてやつと最大幸福の原因を握つた樣な氣がする。それは何だと問はれてはつきり答へることが出來る。理屈でない、理論でとけぬ愛だ、然し口でいふ愛でない。字で書く愛でない。愛の體現だ、信仰をもち、理解をもつて全愛を注ぐ人に自己まかせつゝ毎日の働きをして世間の向上と人の幸福の增進に關係をもたしめることだ。こゝに根本精神をおく人に神は求めずしてパンとよろこびを與へ給ふ。世の中の男がもつと女を理解し尊重し、愛してくれるならば、そして女をして、幸福な家庭の人とするとに努力するならば職業婦人の矛盾だらけな苦しみも目覺めた女の悲劇もおこらずに澄むだらうに。互にすが〳〵しい人生を送ることが出來るだらうに。結婚して本一冊も讀めない、一日中一時間さへ机に向ふ時を與へられないその上生意氣だの、贅澤だのと罵られつゝ、小さくなつて人生を渡らねばならぬ氣の毒な新婦の多きことよ。

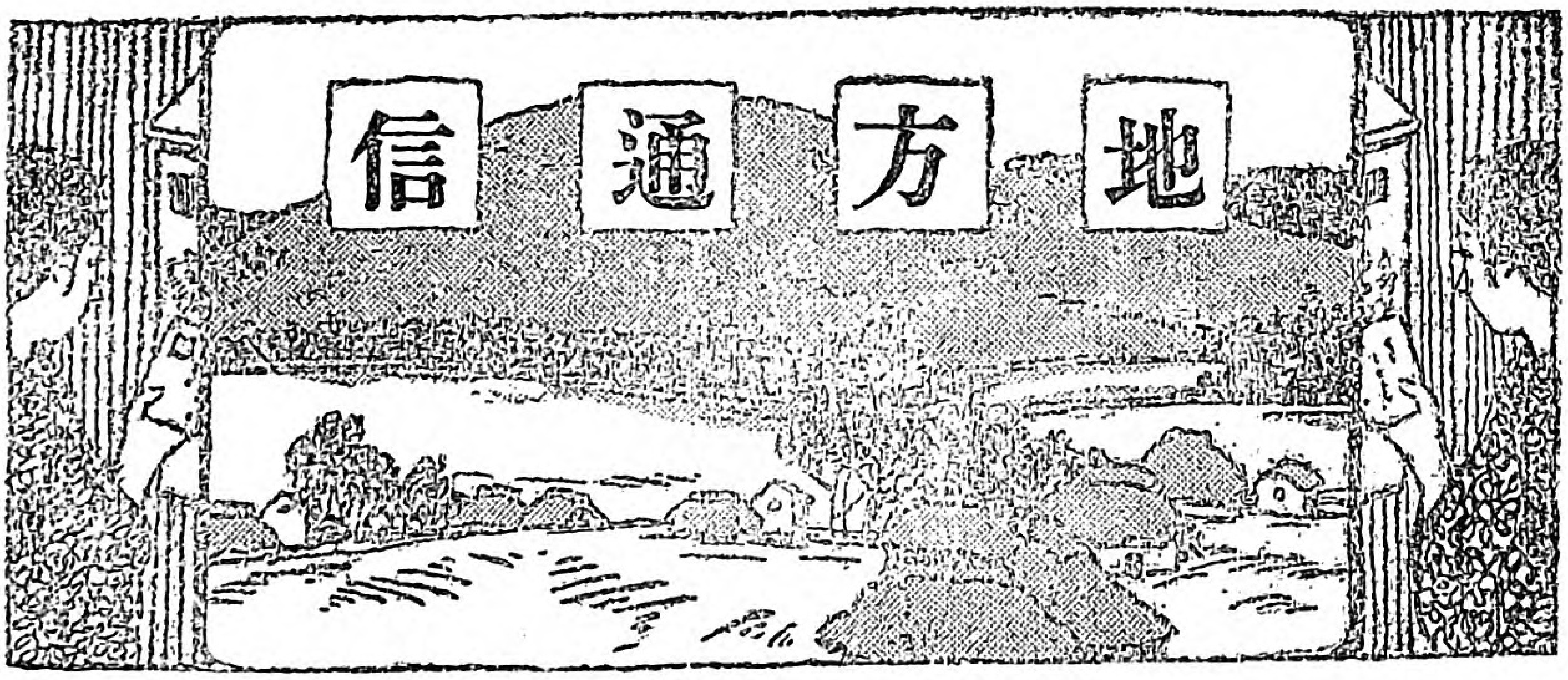
板橋町處女會第二回春季總會

四月十七日(日)板橋小學校講堂に於て

一、開會　正十二時
一、君が代　一同合唱
一、庶務報告　副會長
一、會計報告　幹事
一、議事
一、協議事項
一、講演
　1、勞働と交際　府立第五中學校長　伊藤長七先生
　2、未定　校醫　水村淸先生
　3、民法上に於る女子權利義務に就て　板橋小學校長　横川類吉先生
一、會員談話
一、餘興　(茶菓)壺食代用賓店
　1、講談未定　鶴見先生
　2、琵琶櫻狩　一色才水師
　3、獨唱　會員有志
一、唱歌　金剛石　一同合唱
一、閉會

板橋町は遊廓のある町ですか、此處の處女會は大へん發達して町の風儀の改善に力を盡してゐます。記者へも御ていれいの御案内狀が參りましたが、丁度差し合ひがあつて伺はれませんでした。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN



基本金を得んため

京都府中周枳校　島田ます子

當校で處女會を設けましたのは、まだ雪も深い一月でございました。種々御指導下さいました先生のおかげによりまして、一月より一歩一歩進んで參りました或時は校長の訓話を聞き、又或時は田舍料理の講習を開き、又或時は絞り染めの手ほどきなどを致し、處女會の必要なることを、其都度申し聞せました處、集まるもの回を追ふて加はり、昨今にては、一日十五日の休機の折(當地方は縮緬業多數)などは四十名餘も集るやうになりました。最年少者は、本年尋常小學校卒業者、最年長者は二十四歳になつたものでございますけれど、皆私が尋常一年から敎へた子供で、まるで親子のやうで、喜んで集るやうになりました。五月一日には村内有志を招待し、處女會發會式を兼れ、午後は處女の手になりし手藝品の慈善市を當校に於て開きますので、毎日忙がしく送つて居ます。恰度三月學期末の休暇の數日と、四月中の日曜及び放課後の二三時間を割いて、絞りの風呂敷、百五十枚、半襟五十枚、半ケチ百枚、外にエプロン、の如きもの數々致させました當日は之等を相當の價格で買つて頂き、少しでも會の基本金を作り度いと考へてゐます。頂戴いたしました處女會の歌「野の幸」もすつかり歌へるやうになりました。當日の餘興なども皆一生懸命に考へて居ます。近い郡の女學校長も臨席して頂いて、一場の御講話を願ふ筈になつてゐます。お近くなれば中央部の先生にも來て頂いて、御講話を願ひ度いと存じますが、あまり遠方で致し方がありません。

處女の友も喜んで回覽して居ます、私も敎職に居る事十七年、昨年は當村勤續十五年にて、數ならぬ身も表彰式を擧げて貰ひました。今後は尙一層一意斯道のために働き度いと思ひます。

バザーを開いて

福井縣高濱町處女會員

舊より新へ、破壞より建設へ、時勢の目まぐるしい進步に目覺めて、おくれながらも、我高濱町に於ても處女會が產聲を上げました。それは昨年の十月、會員は二百二十餘名、會長初め役員すべて女子でこの會が自發的に出來た事は私共の限りなき喜びと誇でございます。

毎月十四廿日の二回開きまして、郡視學又は知名の方の講話、役のお話がありまして、裁縫、作法なども敎へられます。回覽雜誌處女の友其他役員や會員中の講讀する雜誌も讀んで居ます。

二月十一日紀元節祝日と三月三日當町鐵道開通式に、高濱小學校でバザーを開きました。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

紀元節祝日のバザーは何しろ當町で最初の試みであり、會員一同は熱心と努力とを以て、主に袋類、細工物、等を作りました、幸ひに心配した賣れ行きの模様もなかく\の好結果で、品物全部賣切れの有様で會長初め一同の喜びは非常なものでした。

第二回四月三日のバザーは、前に得ました純益金で、造花類を主に求め、數多く作りました當日風雨でしたが、前にもまして、盛大に而も好結果に終りました事を會員一同非常によろこびました。

やがて會長引率の下に北陸方面見學旅行を行ふ豫定でございまして、當日の來るのを待ちかれてゐます、新らしく生れた私等處女會員は、お互ひに自己を修養すると共に、高濱町のため、社會公共のため、いさゝかなりとも働く覺悟でございます。

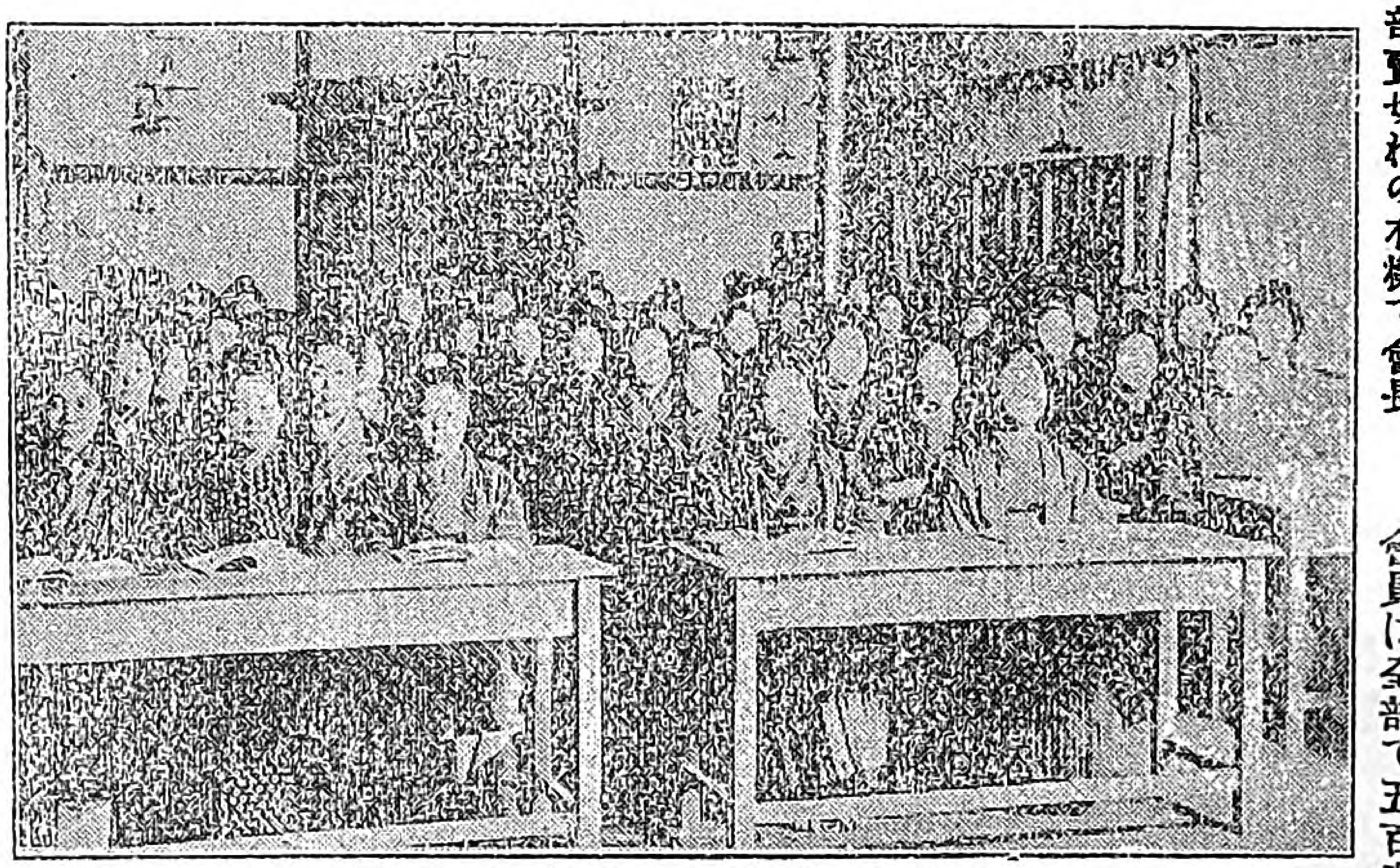
終りにのぞみ處女の友の發展せん事をいのります。

工場處女會

栃木縣上都賀郡役所　山中淺一郎

どんよりと曇つた空からレース糸をほぐして落すやうな春雨がしとく\と降四月三日の佳節をトしまして帝國製麻株式會社鹿沼製品工場處女會の發會式が擧行せられました、暖かい風が構内の櫻の枝を誘つて笑ひ出しさう、裏の遊園地ではしきりに鶯が啼いて、春らしい氣分をそゝり、御目出度い空氣が朝から滿ちて、役員諸君は綠のリボンを胸高に、伊藤、齋藤兩係員の指揮を受けていそく\と働いてゐるのも氣持よう御座いました、

會場は作業員休憩所、約二千五百人を入れる大廣間、周圍を白赤幕で



栃木縣鹿沼工場處女會員

廻らし、演壇には梅の匂つてゐるのも床しく思はれました、式は午前九時齋藤實踐學校長（工場內の學校）の司會によりまして擧げられました會員は全部で五百赤い蝶形リボンを胸にキチンとした、一糸亂れぬ有様を見て涙の出る程うれしく思ひました。

一、開會の辭　森田工場長
一、君が代二回　會員一同
一、戊申詔書奉讀　齋藤踐學校長
一、會務の報告　伊藤寄宿舍係
一、郡長式辭　代理山中囑託講師
一、來賓祝辭　長澤縣社會敎育主事
一、會員の答辭　女工金子キクヨ
一、閉式

右のプログラムを追ふて無事式は終りました、金子キクヨさんの答辭、それはく\立派なものでした、高等女學校の卒業式の答辭以上の出來でした、式が終つてお茶菓の御馳走がありました、五もくに舌鼓を打つて笑ひ興じたのも忘れる事の出來ぬ印象です、チンと一時の時計が鳴ると午後の講演會が同じ場所で開催せられました、演題及氏名は

うれしい世の中　山中郡處女會囑託
處女會員に望む　長澤縣社會敎育事
矢張り女である　池野縣立農學校長

此の講話會は一時から約六時まで續きました、それを眞面目に開いて居たのに驚きました、會員の答辭を御参考まで御目にかけます。

答辭

花笑ひ鳥歌ふの好時季になりまして我工場は私達のために處女會の發會式をお擧げ下され會長の君を始めとして御來會のお客様方よりいと懇ろなる御訓示を戴きまして私達身にとり此上もなき光榮とぞんじま

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

す。申すもおこがましき次第でございますが歐洲の戰より此の方我國の立場は容易ならざる義となりまして行末我帝國の隆替興廢を負ふべき私達處女はその責任の重且つ大なるものあるを目醒めればならぬ事と思ふのであります、私達は數ならぬ女工ではございますが作業のかたはら女一通りの技を習得いたしまする事は申すまでもなく、兼ねて智德の修養にひたすら努力いたしまして他日世に立ちし時は及ばずながら婦女子としての天分を全ふいたしまして本會設立の御趣旨に添へ以て皇恩の萬一にお酬ひ奉るの覺悟にございます。私達はもとより不束者でございますけれど、會長副會長の君を始め本日御來臨を忝ふしたる皆様方に今後とも充分御指導下さるよう偏にお願ひいたしまする次第でございます一言申上げ答辭といたします

大正十年四月三日

帝國製麻株式會社鹿沼製品工場
處女會員總代　金子キクヨ

新任地から皆樣へ

岐阜縣武儀郡富之保尋常高等小學校内　島田敬三

陰に陽に御指導下さつた、坂ノ東村早百合處女會も大分成績がよくなりました、今一息と思ふ矢先へ轉任を命ぜられまして、任地に參りました、而し私はあくまで處女會指導の使命を負ふてゐます。當任地の處女會は、まだ生れたまゝの赤ん坊（いや女です）此處も必ず發達させねば止まない決心であります。已に會報發刊する事だけはきめました、何卒此の後共充分の御指導下さるやう切にお願ひ申します

〇坂ノ東早百合會處女會員の皆樣へ

永らく御厄介になりましたが、今度突然學校をかはりました、私は去りましても早百合處女會は、そのまゝ坂ノ東に立派に殘つてゐます。どうか今まで通り一生懸命に會の爲めお働き下さる樣おたのみ申します。

〇天野先生へ

私の今度變つた學校は、此の春お供して會員の手料理を頂いた學校であります。何が緣になるとも知れぬもので、此の春の事から、當校へまゐると直樣、處女會の事務を言ひ付かつて始めました。大に宣傳して一層その發達をはかるつもりでありますから、何卒舊に倍して御指導下さる樣お願ひ申ます。

樂しかりし總集會

福島縣大沼郡宮下處女會

私の方で三月二十日に春季總集會を開きました、烈しい雨の中を「モンペイ」に筒袖と云ふ質素なお姿で急ぐ娘さんは處女會員の方々でした、一足先きに集り下さいました幹事の方々と御親切な、會長さんのご指圖によつて、會場が立派に出來上つた頃はもう御姉樣方も可愛い妹さん方も、たくさんお集りなさいました、すぐ次の順序に始めました。

一、開會の辭　目黒校長
二、戊申詔書奉讀
三、報　告
1、庶務の報告
2、會計の報告

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

四、入會式

1、會則朗讀

2、新入會者氏名朗讀

3、訓　示

4、入會員の宣誓

五、協議事項

1、會員必行事項

イ、本會員は故なくして缺席せざること

ロ、三大節には休業して祝意を表すること

ハ、祝祭日には會員各戸に國旗を掲揚すること

ニ、質素を旨とし本會の集會には木綿着物を着すること

2、會員奬勵事項

イ、修養會を開催すること

ロ、各支部に基本財産を蓄積すること

六、大正拾年度豫算報告

七、講　演

八、來賓の演説

九、會員の演説

一〇、茶話會

一一、閉會の辭

協議事項は全部滿場一致で決しました、講演會に移りまして總理殿より長時間に渡つて、有益なお話しがありました、それから會長樣から「強くやさしく眞面目に働け」と云ふ御教への中の「強く」と云ふことについて一時間以上の御話がありました、その時會員の皆樣の雨は眼の眞の強さに輝いて、居りました。

長崎縣西彼杵郡三重村處女會施設豫算案　大正十年度

年月日	曜	豫定事項	備考
大正十年四月三日	日	役員會	春季総集會に關する諸件打合の爲
同年四月九日	土	各支部處女會員名簿を取纒む	居時、年齢、氏名記入
同年四月廿五日	月	支部會共同事業豫定報告を取纒む	
同年四月三十日	土	春季總集會（午前九時開會午後三時閉會）	會務報告、講演、製作品展覽會
同年五月中		遠足會	各支部にて視察的一日遠足

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

同年自六月一日至六月三十日		農繁期に付補習敎育中止	
同年六月四日	土	出稼者調査報告を取纏む	居所、氏名
同年六月六日	月	出稼者の指導	
同年七月四日	月	役員會	講習會に關する諸件打合の爲
同年八月下旬		講習會(六日間)	染色、あんま、農業水産等
同年八月中		同窓會を開催す	午前十時開會午後三時閉會
同年十月下旬		體育會	
同年十月三十日	日	天長節祝賀遙拜式に參列	午前十時
同年自十一月一日至十一月卅日		農繁期に付補習敎育中止	
同年十一月四日	金	出稼者人名報告を取纏め指導	
同年十二月		此月中入退營兵歡送迎	各支部にて
同年十二月廿四日		農水産品評會	青年團、小學校と聯合
大正十一年一月一日	土	新年拜賀式參列	午前十時
同年一月末日	日	共同貯金、基本財産調査報告	各支部別
同年二月中		敬老會	各支部別又は數ヶ支部聯合
同年二月十一日		紀元節拜賀式に參列	午前十時
同年三月十五日		役員會	大正十一年度施設豫案豫算案協議
同年三月廿五日		來年度入會者及他郷在住會員調査	各支部長に於て調査すべし

毎月一定事項	
十五日	修養會(時間の勵行各支部別)

規約事項

1、實業補習學校授業日には各支部共役員一名づつ更代に出席其他の監督をなす事
2、役員會の際缺席者には十錢遲刻者には五錢過怠金を課す(但支部の負擔)
3、總會の際相當の理由なくして缺席したるものは五十錢を徴す
4、總會出席の際は木綿服に限る事
5、會員結婚したる時は五十錢以上本會に寄附する事本會よりは記念品を贈る
6、會員死亡の際は其支部會員は會葬する事
7、葬はなるべく經濟的に衛生的に結ぶ事

名士等來村の節は成る可く機會を捉へて講演會を開催すべく此旨了承せらるべし

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

處女歌壇

（賞）天

指さして敵ふる家に鷄の蹴合へる聲の高く響きぬ　靜岡縣　遠藤志磨子

評　家づとは芋か大根か鷄の蹴合へる家を目ざし行く人

地　靜岡縣　淺井清香

姉の手のふるへはげしく臨終の母の唇濕してあり

評　嘆き母のみ胸にすがり見てその冷たさの悲しかりけむ

人　島根縣　山根ふさの

夕月を背にあびつゝ足洗ふ手先かすめて螢とびゆく

評　ぬれし手をあげ得ぬひまに飛びゆきし螢の行衛見つめてやあらん

（賞外）美の部

春のかぜ秋の風とも知らぬまにもまれ〳〵て人となりぬる　長野縣　前島梢

淋しみの胸にみつればひれもすを默しつゞけて今日も暮れけり　群馬縣　螢草

雜草とまがへてぬきし一本のすみれを見れば涙わきくる　長崎縣　田崎富貴子

何時となく世を果敢なむの子となりて夕雲見れば涙ぐまるゝ　鳥取縣　門脇みつ子

蛙なく廣野歩みつ泌々と孤獨てふ我を悲しめるかな　富山縣　大道まつゑ子

何時になく歸りのおそき兄上を我は待つなり針はこびつゝ　香川縣　十河靜江

我死なばこれを形見と妹にかりそめの事云ひて泣きけり　滋賀縣　中川とら子

貧しけれど夕げの膳に父と我つゝがなき日はうれしかりけり　福島縣　土屋しの子

筆持つ手そと止めて見ぬ何かなし小さき心おとりぬるかな　福島縣　河邊芳枝

さら〳〵と芽ぐむ柳に小雨して五月の朝の心靜けさ　茨城縣　篠塚久子

青白き月の光りに父母ゐます方を偲びぬ旅する我は　群馬縣　對比地こう子

いつしかに春ともなりぬ病上り赤き椿の花ふくよかに　埼玉縣　杉田つね子

土ほれば土のかほりのなつかしき初夏の日のまぶしく照れる　栃木縣　山中とし子

ひとしれず暗き木かげの枇杷の葉に音なくかゝる夕ぐれの雨　岐阜縣　吉田靜子

青白き病む額に手をあてゝ悄然と立ち夕燒を見る　福島縣　日下芙美子

野の幸をうたひつ我は今朝も又この親牛の乳しぼるかな　群馬縣　藤倉きん子

夕雲雀遠く野に落ちわれも畑打ちつかれたり母よかへらな　靜岡縣　河合琴子

うららかに晴れ渡りたる青空を樂しげに行く鳥二羽哉

もの憂さに障子開けど曇り空秩父山並今日は見えずも　群馬縣　大澤芳野

春の夜のおぼろの空に湧く雲のかくせし月を待ちにける哉　福島縣　曉星

しと〳〵と春雨のする夕暮に鐘の音かなし小さき子は逝く　香川縣　白蝶

肺を病む友の送りし赤き花萎みて色もあせて見ゆかな　靜岡縣　風岡富士子

父の亡き子をいとしみて物いへば打ほゝゑめる涙ぐましき　富山縣　宇田齋子

春の日に草よく香る丘に來て水繪に似たる村を見るかな　鳥取縣　杉本輝子

雨にぬれ咲ける躑躅は亡き父の植えしと聞きて涙ぐまるゝ　千葉縣　鵜澤えい子

鍬肩に小唄うたひて乙女等は我家に急ぐ春の黄昏　神奈川縣　百合子

ひそやかに花音もなく散る夕べ亡き友思ひ泪ぐましき　群馬縣　橋本登久子

古巣をばまたもたづれてつばくらめ歌うたひつゝ働いて居り　鳥取縣　胡蝶

わざを終へていこへる夕べ吾が耳に河鹿なく音の心地よきかな　靜岡縣　千枝子

うと〳〵と眠りてあれば耳もとに數へ子等の聲しぬ夢なりしかな　佐賀縣　北村夢歌

鍬を持ち畑の中に働ける乙女の肩に朝日さすかな　滋賀縣　安井よし枝

たそがれの長良の川邊來て見れば波間に浮ぶ春の月かげ　岐阜縣　恩田しか子

たんれんに綴りし紅の椿をばわが手にかけて走りゆく兒よ　宮城縣　白鳥

青みゆく門田の草に露見えて雨うちけぶる蛙な

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

くタ　福島縣　青葉

胸底のこの苦しみを語るには悲しきまでに老ひませる母　岐阜縣　竹腰よさ枝

野に立ちてあたりのどけく見渡せば胡蝶と見えて花の散り來る　福島縣　植野賞美子

おぼろ夜に机にもたれ故知らず物思ふ時千鳥鳴くなり　福島縣　矢澤美代子

良の部

麥笛を吹きて遊びし初夏の日も昔の夢となりにけるかな　群馬縣　池田輝子

雨につけ風につけても思ふかな笹籔蔭にいます母君　鳥取縣　松島美彌子

しみ〴〵と母さとします夜は更けて湯氣立つ音のしめやかにする　鹿兒島縣　水田秀子

あはたゞしく出でんとしたる夕暮を頬につめたく雨のかゝれり　鹿兒島縣　山田きぬえ

小夜ふけにしみ〴〵たゝむ兄の衣酒の香殘る淋しかりけり　鹿兒島縣　水田はぎ子

姉君の重る病の悲しさに流るゝ涙とゞめかねつゝ　群馬縣　木村たけ子

歌らしき歌は一つも成らざりき春といふ日のうら寂しさよ　東京府　岡部秀子

縫ひ終へし心うれしく外に出で星仰ぎ見る晴れしこの宵　群馬縣　島田幸子

よべ迄はつぼみてありし八重ざくら春雨晴れて包ふ今朝かな　紀伊　青柳

春の夜は靜かにふけて病む母の寢息かすかに灯のゆらぎけり　福島縣　荒川かう

遠近の山薄う消ゆ初夏のおぼろ夜の夕蛙かしまし　神奈川縣　小菅柳美

糸よりも細き春雨降りやみて林の間に桃の花見ゆ　三重縣　高本繁子

日曜に海邊の山に薪刈れば行きかふ船の賑はしきかな　山口縣　宮本よし子

老ひませし母の瘦顔を見てあれば心淋しくしばし涙す　東京府　吉濱きく江

春雨の濕未だ干ぬ黑土をなつかしみつゝ草をひく我　愛媛縣　すみれ

母まさぬこのうつし世をさびしみの吾たゞひとり生くるかなしさ　靜岡縣　石田春子

飼猫に命とられし蝶の墓色とり〴〵の花にうづまる　福島縣　遠藤まつ子

かまもちて姉と二人で草を刈るうらの畑に麥笛きこゆ　滋賀縣　田原しづ子

うすあまき麥の一穗を口にしてふるさとに入る雨後の悲しさ　福島縣　目黑きい子

何事も皆運命と思ふ時哀れむ如くほとゝぎすなく　長野縣　顧緞響子

淋しさに母の瘦顔をしのび見つ六十路のしわの見ゆる淋しさ　群馬縣　岡崎その子

しと〳〵と五月雨の降る夕暮を客なき馬車の通りけるかな　福島縣　鈴木たゞい

蝶ひとつひらり〳〵と春の野を花より花へ飛び行ける哉　群馬縣　設樂さだ子

螢追ふ我手をそれて宵闇の水面高く光る口惜しさ　群馬縣　池草しげり

亡き父母とたのしく暮す夢枕目覺めて淋し今朝の枕邊　群馬縣　石原ひさ子

淋しさを淋しきまゝにおとなしく只野に出でゝ心なぐさむ　長野縣　月見草

ひな鳩は人なつかしき目をみはり道通り行く人を見てあり　香川縣　安西てる子

生の親の永く眠ります病む床にのこす言葉に袂しぼりつ　埼玉縣　今泉あき子

米をとぐ井戸のほとりのうすやみの近きわたりに蛙なけるも　福島縣　わすれな草

ひた〳〵と汀によするさゞ波の春の潮のこゝろよきかな　愛知縣　今井しげ子

二年を相見ざる間に友ははや人妻となり母となりゐぬ　和歌山縣　青柳

田甫道一人歩めばかげらうのゆら〳〵もゆる春の畦頭　福島縣　五十嵐千代子

美しき花より花と飛び舞ひて死にゆく蝶をうらやめる哉　福島縣　河林修子

千鳥なく川岸近くほの見ゆる我家の灯戀しかりけり　福島縣　吉津こいく

芝原にいこひて遠くながむれば我學び家のなつかしく見ゆ　福島縣　吉津とよの

佳の部

色深き若葉の林サラ〳〵と音もなつかし初夏の暮　長崎縣　田崎朝

友あらぬ淋しき家を見やりつゝ今日も淋しく日を送るかな　東京府　佳奈子

われ女淸くかよわし白百合の露に濡れつゝ咲き出づるごと　福島縣　無名女

たらちねの母のいませし過ぎし日の偲ばるゝかな朝な夕なに　神奈川縣　山口孝子

やるせなき胸の思ひを野に出でゝ忘れんために鳥の聲きく　神奈川縣　金子菊子

おぼろ夜の千鳥なくなる川の上に乙女心はさびれゆくなり　福島縣　尾形欧子

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

チラホラと木々の芽ばえの見ゆるなり我山里に春の來るらし　長野縣　小澤やゑ子

心より喜ぶ妹の顔を見て我もうれしきほゝゑみの湧く　山口縣　清木菊子

悲しみを抑へかねたる我身かな病みなす母の心思へば　群馬縣　柳岡いく子

なやましき心もいつか春風に吹かれ行くなる今日のどけさ　北海道　浪女

製綿を山と積みつゝほゝ笑めば眞白き顔に夕日輝く　神奈川縣　上島なみゑ

蠶室に入るや娘のやさ心蠶育くむたのもしきかな　東京府　森川光平

のどかなる春のひよりにうぐひすのやさしきこゑに胸おどり立つ　福島縣　大竹しきな

卓子の上にさしたる櫻花吹く春風にひら〱と散る　福島縣　渡邊みどり

春雨にぬれたるまゝの一片を櫻に似たる君におくらむ　福島縣　佐々木二把子

我庭の梅を手向けて見つる折母もきくらん鶯の聲　福島縣　齋藤優子

野に山に働く身には世の中の憂ひなやみも忘らるゝなり　山形縣　澁谷萬太郎

我友は製糸工場に働きぬ汽笛の鳴ればなつかしきかも　愛媛縣　水沼壽磨子

夕暮に姉を思ひつ灯のならぶ街にむかひて歩みゆくなり　埼玉縣　藤野津根子

春風にひゞき聞ゆる寺の鐘小鳥ねぐらに歸る夕ぐれ　福島縣　若林たまの

父上の亡き其のちは朝毎に母の幸のみ祈りけるなか　鳥取縣　松島美彌子

菜の花や椿の花の咲く日にも母なき吾家淋しかりけり　埼玉縣　岡田加彌子

山路を一人とぼ〱歩むなり淋しき胸に鳥のなく聲　神奈川縣　井上米子

處女文壇

遠國の友に

一等　茨城縣　覺子

よしの樣今頃はどんなにか幸福な生活を御續けになつて居る事でせう、寮舍の生活や種々の感想でも書いて送つて下さいませ、當地では四方の山々は紅つゝじが咲き亂れて燃ゆるやうに美しうございます。畑は麥の穗が出揃ひました、養蠶の掃立も濟みましたので、これからはもつと忙がしくなるでせう、海老茶袴は股引に、かつては白かつた手も、ざら〱になりました、そして鍬とれば土の香が身にしみます、冷いまでに澄みきつた空氣を胸一杯に吸ひ込んで、雲雀飛ぶ大空を見あぐれば漂ふ白雲も、春の光と共に私を祝福してくれます。

かうして日增に丈なす作物を眺めては、限無き樂みに日頃の勞苦を忘れます。よしの樣私はかうして處女時代を、土と鍬とに親しんで、筑波の山かげに働いて居ます。いまに顔は澁紙のやうにやけるでせう、そして手や足は松ぐりのやうに固くなるでせう、けれどその黒い所に、かたい所に農業者の眞の貴さがあると思ひますお踊りの頃には立派な農業者になつて居ませう

評　筑波根の麓の立派な農業者の家の榮えをいのります。

二等　福島縣　土田かつ子

二人があの村あづれの西光寺の前で、お別れしたのは丁度去年の今頃でしたれ、貴女が「限りある身の力ためさん……」といふ歌を小聲で仰有いましたつけ、あれからもう一年になりましたれ、

今年ももう村は養蠶で、何處の家でも目の廻る程忙がしい節になりました、私は相變らずあの廣い牧場で、たくさんの可愛い小牛を相手に平和な日を送つて居ます。暑い太陽の光を椽の木かげに避けて處女の友など讀んで居りますと我が身の幸福さがつく〲身にしみて、一年前あなたと共に、上京したいといつて、老いたる父に心配させた事など、夢のやうです、今では全く親の理想通りの、田舍乙女になつてしまつて、つばの廣い麥稈帽などかぶつて、牛を平氣で追ひ廻して居ります。貴女のお家でも、皆お揃者に働いてお出になりませう。

評　親の理想通りになつた娘さんは幸福ですれ。

賞外佳作

◎　島根縣　山根ふさの

眠つたやうな山陰の片田舍にも、風になびく木の芽の間から面白い小鳥の歌も聞かれます。おなつかしいあい子樣

遠い〱北國の果に、父もなく姉妹もなくお優しいお母樣と唯二人の淋しい御生涯をおしのび申す時、言ひ知れぬ思ひに胸が高鳴るのでございます。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

まだうら若い身を以て、病床にお暮し遊ばしたあい子様の一年はどんなに永い月日で御座いました事でせう、貴女の歌に俳句に美しい御思想を拝見する毎に深い深い印象をあたへらるゝのでございます。

よろこびの胸に湧く時何事も
忘れてわれは高くうたひぬ

あい子様この歌を永久にお忘れ下さいますなその美しいみ心こそ、何よりも貴いお慰めではございませんか、私も共に高くうたひませう、幸多くゐませといのりつゝ。

◎　　愛知縣　今井しげ子

江岸の藤は咲き亂れて、下ゆく水に映じて、美しうございます。庭の櫻は巳に落花して、葉櫻の期に入りました。見渡す限り一面の田圃は盛く處女や青年の力によつて、整理されて、やわらかく打おこされた土くれに、細く春雨が降りそゝいでゐるのは、自然の美であります。春蠶も日増に肥つて、今に部屋に白々とまゆを積む時が來ます。暖國の春はかうして無難に平和に行くのですが、それにつけても思ふのは、靜子さんの御地樺太です。いつまでも同じ雪や氷にとざされて、思ふやうに仕事も出來ず、花見散歩も出來ないと思ふと氣の毒です、手紙や繪葉書の交換をして、共々に修養いたしませう。

處女俳壇

（賞）

鍬ついて見送る蝶の行衛かな　群馬縣　橋本美代子

帆をかけて飯たく舟や春の海　鳥取縣　松本みどり

（賞外）

石女やのどかな椽に猫をなで　福島　花子
風薫る茶寮の庭の若葉かな　同　目黒きい子
渡し舟乘るも下りるも日傘哉　靜岡　遠藤さくゑ
里の子の仕組踊りや月夜哉　東京　佳奈子
辨當は山寺にしてわらび狩　神奈川　百合子
春雨や風呂の戻りの素足哉　長野　月見草
鍬捨てゝ谷間に清水くみにけり　山形　澁谷萬太郎
荒墓や誰が手向けむ紅椿　東京　吉濱きく江
春もやの中に帆車影二ツ三ツ　愛知　すみれ
かすかなる口笛涼し麥の中　靜岡　風岡富士子
春雨に初鮒浮かぶ橋の下　千葉　松本澤計子
峯白し何處まで續く蝦夷の山　北海道　ひさえ
幟繪の武士の姿の雄々しさよ　群馬　藤倉きん子
山吹の花一枝に迷ふかな　岐阜　菊榮
乙女子の若葉に似たるもすそ哉　群馬　柳岡いく子
布濯ぐたらひに浮ぶ櫻花　三重　高本繁子
更衣鄙の乙女の手織縞　紀伊　青柳
古寺に撞鐘の音や梅咲きぬ　廣島　早川芳子
飛行機よ飛行機よとて外に出で　香川　美津子
玄關の赤き草履や雛祭　靜岡　遠藤志磨子
窓先や竹四五本の初嵐　福島　日下英美子
渡場の柳は風に流れけり　神奈川　小菅柳美
裏街の灯ともる沼や蛙鳴く　富山　大道まつゑ
旅人の急ぐ川瀬の水車　茨城　桒原みや子
ミラアルの影も見えけり花の山　福島　傍文子
すくふ手に螢のにげ出す清水哉　神奈川　金子愛子
吾顔をうつして見たり朝の水　福島　一處女
春暮る、一聲懇しほと、ぎす　東京　森川光平
つゆふかき朝のす足の心地よ　群馬　設樂さだ子
語り合ふ人の聲する夏の夕　福島　鈴木たゞゑ
俳額の聲も賑ふ螢狩　島根　山根ふさの
妹の學校ごつこや庫の前　滋賀　安井よしゑ
一ひらを封じ込たり花だより　鳥取　杉本輝子
おぼろ夜を空舞ふ螢二ツ三ツ　福島　齋藤いち
たんぽゝやおくれし妹の花籠に　千葉　鵜澤えち子
道の邊に頭出したる土筆坊　滋賀　野矢花子
春の日に花にさそはれ舞ふ胡蝶　福島　渡邊みどり
弟のとらんとあせる五月鯉　埼玉　岡田保市
病む姉の痩顔さびしき春の暮　群馬　木村竹子
春雨に靜けき庭や梅一枝　長野　橋本喜恵子
氣まぐれに泣き寄る猫の背を撫で　岩手　菊地榮子
草とりや白手拭のゆかしさよ　島根　土江富子
さみだれは背柳の葉にさゝやけり　宮城　白鳥
葉櫻の繁みをのぞくおぼろ月　福島　土尾しの子
あぜ道をいそげはゆかし麥の笛　長崎　田崎朝子
春萬里健やかにして旅衣　埼玉　村松萬壽
まゝごとに爭ふ聲や嫁の役　福島　渡邊みつ子
湯の宿の桐芽ぐむ月を春の雨　鳥取　角壽子
明笛の音のみ冴ゆる暗夜哉　福島　ふたば
鍬肩に歸る夕べや蛙なく　同　吉澤園代
蛙なく裏のしろや夕蛾燈　和歌山　木村靜子
麥畑に白手拭の乙女哉　長野　白百合

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

倉持本店の篤志

近頃全國の處女會で、種々手藝の講習が開かれ、皆さんが、何や彼や珍らしい製作品を以て、一日一日成績を上げられるのは誠に喜ばしい事と存じます。

この製作品に就いてもなるべく實際に適した、日常役に立つものをお稽古なさる事をお考へになるやうにお進め致します。

東京市本郷區弓町二丁目倉持手藝材料品本店から、地方にある人々のために、履物製作法獨習全書といふ技藝の書物を出版致し特に處女會中央部のために千部を進呈するといふ親切な申込みを受けましたので、中央部では地方處女會の中で希望の處女會に無代で配布することに致しました（但し二錢郵劵を要す）

その内容は寫眞版として

第一圖　鼻緒製作法說明寫眞第一號
第二圖　同　第二號
第三圖　同　第三號
第四圖　同　第四號
第五圖　同　第五號
第六圖　鼻緒仕上り圖
第七圖　この圖解で方法がよくわかります。

スリッパ製造法說明圖解として三種の寫眞があります。

これ等の寫眞版の外細々と說明してありまして、記事の内容としては、

第一　鼻緒製作法

(1) 器具と材料　(2) 用布の寸法
(3) 用布の縫方　(4) 前粒の縫方
(5) 用布の返し方　(6) 心繩の入れ方
(7) 前粒の縫附方　(8) 鼈形の仕樣

一讀何人にも直ちに出來るやうに圖解までして書いてあります。

第二　爪掛製作法

(1) 甲の作り方　(2) 前皮の附け方
(3) ゴム紐の附け方

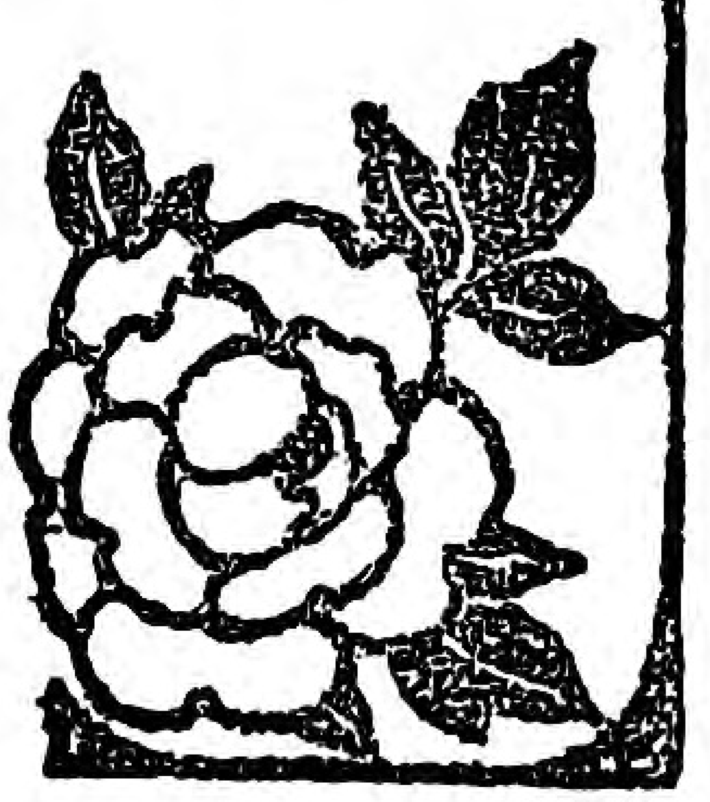
第三　スリッパ製作法

(1) 甲の作り方　(2) 底の作り方
(3) 甲の附け方　(4) 返し方
(5) 中敷の差入方

かういふ内容でございますから御希望の會では處女の友發行所宛に御申し越し下さい。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

誌友くらぶ



△農繁期となりまして、どちらのお家でも忙がしい事でございませうどうぞ皆さんは一生懸命に働いて下さい。平常處女會で修養したゞけあつて、忙がしい時には又家のために力限り働くやうになつた、といふお賞めの言葉が出るやうに。(記者)

▽御挨拶

○記者様はじめ誌友の皆様お變りありませんか、私は土佐の山里に住む淋しい女です、誌友の皆様どうかお導き下さいませ(愛讀二年四ケ月古都)

○私は三月號よりお仲間入りしたばかり、私はほんとに井戸の中の蛙です、社會の進歩と共に私共も充分心掛ければなりません、皆様强健な身體と精神を養つて、よい日本人となるやう心掛けませう皆様、お暇の時にはお便りを下さい(京都府熊野郡浦明　吉岡孝子)

○私は淋しい田舍に暮す一處女です、本年の一月號より處女の友愛讀者となりました、誌友の皆さんよろしくお導き下さい(岡山縣苫田郡西粟村　廸元たま子)

○皆々様お變りは御座いませんか私は本年四月號よりの愛讀者で御座います、女工の身なれど淸き誌上でお交りを(京都府河鹿郡綾部　郡是の女工)

○私も愛讀者となりました、生を嘆かんとする不束ものです、記者様や誌友の皆さんどうぞお仲間入をさせて下さい、そして淸き誌上でお導き下さい(岐阜縣郡上郡和良村　湘衆代)

○記者様お變りはございませんか私は九年二月より本誌の愛讀者となりました、今後本誌に依つて修養したいと思つて居ます、(靜岡縣庵原郡庵原村　片平てる子)

○淋しい田舍に住む一處女で二月號よりの愛讀者です、皆様よろしく(福島縣耶麻郡長瀬村　藤田美智子)

一人一信限りハガキに限る　おくれた方は次の月

○記者様私は名古屋の一處女で、二月號より本誌を友として、樂しく暮して居ます、不束者ながら宜しくお導き下さいませ(愛知縣一讀者)

○私は北海道の田舍者です、本年二月處女會を開きまして、私共に取つて、此上もない喜びで御座います、(北海道余市郡大江村字砥川　村本キヨ)

○皆様お變りありませんか、私は香川縣の片田舍に住む、一處女です、正月號から御誌の愛讀者となりました、諸先生、初め皆様よろしくお導き下さい(香川縣木田郡氷上村　安部信江)

○皆様私も今後大いに、誌友の皆様と共に聊か處女の友のためにつくさうと思ひます(埼玉縣秩父郡　中野政子)

○私は平和な野に自然を友として田園生活に親しむ乙女でございます誌友の諸姉様不束者どうかお交り下さい(福島縣　荒川かう)

○記者様此度私の村でも處女會が開かれまして、この雜誌を廻覽して居ます、この後よろしく御指導を願ひす(北海道後志國余市郡砥ノ川　遠藤つるの)

○三月號より處女の友愛讀者となりました、諸姉様妹と思つてお交り下さい(神奈川縣津久井郡内郷村　江藤梅の)

○記者様初め誌友の皆様お變りありませんか、私は昨年四月から御誌を愛讀して居ます(山梨縣笹子村　今泉えい子)

○記者様お變りありませんか、この四月號より愛讀者となりました、全國の皆様お仲間に入れて下さい(福島縣石城郡泉村　椎名りい子)

○記者様お變りはありませんか、私は淋しき田舍に住む一處女です、昨年十二月から愛讀者となりましたどうぞよろしくお交り下さい(北埼玉郡騎西町下崎　佐藤ひろ子)

○私は本州北端の片田舍に住む一處女で、この度本誌の愛讀者となりました、どうぞ御姉様方これから淸き誌上で御導き下さいませ(靑森縣下北郡大間村　島澄子)

○記者様私は石老山の麓に住む乙女でございます、誌友の皆様私も昨年から處女の友の愛讀者となり樂しい月日を送つてゐます、どうぞお見捨なくお交り下さい(神奈川縣津久

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

井郡内郷村　山口いと子）

〇私は昨年の四月より本誌の愛讀者となりました、今後もよろしく、強くやさしくまじめに働いて立派な婦人となり度いと思ひます（群馬縣新田郡鳥之郷村　木村たけ子）

〇天野先生初め誌友の皆様御變りもありませんか、私も本年二月號よりの愛讀者となりました、處女の友を讀むのが何より樂しみです（靜岡縣庵原村　鈴木きん子）

〇皆様お變りありませんか、私は讃岐の片田舍の處女です、どうぞよろしくお指導下さい（香川縣美津子）

〇誌上の皆様貧しい乙女にもお便りお惠み下さいませ、同縣の皆様お齋勵遊ばせ（福島縣耶麻郡猪苗代町わすれな草）

〇記者樣誌友の姉上樣今度私も御誌の愛讀者となりました、何とぞよろしく御導き下さい（猪苗代　富田トキ）

〇私は昨年の一月から處女の友の愛讀者となりまして、無二の朋友と思つて居ます、此後もます〳〵處女の友が盛んになるやういのります（福島縣猪苗代町　岡部松子）

〇私は親友岡崎その子樣のおすゝめで四月號より愛讀者となりました他縣の諸姉樣始め同縣の皆樣淸き誌上でお交り下さいませ（群馬縣佐波郡采女村　設樂さだ子）

〇私は西伯郡の一處女ですが、どうぞ誌上の諸姉樣今後お交際を願ひます（鳥取縣西伯郡中濱村麥垣　松本みどり）

〇私は福岡縣嘉穗郡幸袋町目尾處女會の一員でございますが四月號から本誌の愛讀者となりました、拙い子ですが以後よろしく、皆樣の幸福と本誌の發展とを九州よりはるかにいのつてゐます（筑紫の里　渡邊まさ江）

汽車の窓より

（誌友　風岡富士子）

〇私は滋賀の片田舍に暮す乙女で昨年一月號からの愛讀者です、全國の皆樣どうぞよろしく、神崎郡八幡村の淸水宇多子樣同縣でおなつかしうございますおさしつかへなくばお交りを（滋賀縣蒲生郡市邊村　田原よれ子）

〇記者樣私は北相の小拂山下に住む一處女でありますが永久にお導き下さい、又誌友の皆樣もどうぞお交り下さい（神奈川縣津久井郡千木良村　溝口さわ子）

〇皆樣御機嫌よく御暮し遊ばされお目出度存じます金子菊子樣、糸柳樣小菅樣同縣でおなつかしう存じます、どうぞお見捨なくお導き下さい（神奈川縣　江藤梅乃）

〇先生初め誌友の皆樣お變りはありませんか、私は姉も妹もありませんから、この處女の友を姉妹と思つてゐます、（福島縣耶摩郡猪苗代九軒町　西川たまの）

〇誌上の先生初め姉樣方御變りもありませんか、私共は昨年からの愛讀者でございますどうぞよろしくお導き下さい（神奈川縣津久井郡川尻村小林まさ、杢代ダイ）

〇私は有益な處女の友を愛讀する一處女です、末永くお導き下さい（群馬縣勢多郡木瀬村　淸水てう）

〇毎度處女の友有益に拜讀致し居り候この度大浦處女修養會てふものを設立いたし、修養雜誌として、會則中廻覽の一條を加へ申候（福島縣石城郡大浦　吉田きみ）

〇私は今年の二月より誌友となりましたからよろしくお願ひ致します、天野先生には遠方より御出下さいまして、強くやさしく眞面目に働けとのお話まことに身にしみました（岐阜縣武儀郡上麻生村　酒井賀津枝）

〇誌友の皆樣お變りございませんか私は毎月有益な御誌を友として土に親しむ者であります、何卒宜しくお導き下さい（福島縣大沼郡西川村川越末子）

〇記者樣始め誌友の諸姉樣今度私も御誌愛讀者となりました何卒よろしくお願ひ致します（福島縣耶摩郡磐保村　小林ハル子）

〇本年より愛讀者となりましたが投書は始めてゞございます、どうぞ惡いところはどし〳〵仰せになつて下さい（福島縣安達郡油井村石井醫院内　植野しん）

〇山の家に一人淋しく暮す身には明暮皆樣のお便りを待つて居ます、誌友の皆樣御玉章給はりませ（信濃きゝく）

〇先生初め誌友の姉樣私の親友が愛讀者となりましたから何卒私と變らぬやうお願ひ致します（鳥取縣西伯郡渡村　門脇みつ子）

〇私は上州の農村に住む處女ですこの度學校の先生や靑年方のお力添により處女會が出來ました、皆樣どうぞお導き下さいませ（群馬縣勢多郡桂萱村　大島吉子）

〇過日は天野先生の熱烈な御教訓に接し暗い、谷間より一星を眺め得たやうな感じがします、私は九年度より愛讀して居ます永久にお指導さるやうお願ひ申します（福島縣河沼郡廣瀨村　鈴木ハマ）

〇初夏は音づれました皆樣益々御

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

機嫌よろしく淸き誌上におふろひ遊ばせ(香川縣　和田とくゑ)

○今度私の級友の設樂さだ子樣が四月號より愛讀者となりました、剛志の橋本登久子樣大澤芳野樣同縣の皆樣よろしくお導き下さい(群馬縣佐波郡采女村　岡崎その子)

○待ちかれて居た處女の友只今落手ほんとうに嬉しく拜見いたしました、誌友の皆樣お變りありませんか(山口縣大津郡俵山村　西松初枝)

○私は父もなく母と姉弟妹と暮してをります、昨年四月から愛讀者となり母ともに鍬を肩に愉快に日を送つて居ます、この後よろしくお願ひ致します(福島縣河沼郡新鄕村　赤城さん)

○私は會津の片田舍に住む一處女でございます、昨年の十月より本誌の愛讀者となり毎日樂しく働いて居ります、誌友の皆樣御交際を願ひます(福島縣大沼郡川口村　栗田富美子)

○本欄の大層賑やかになりましたこと、私もとう／＼つり込まれてしまひましたどうぞよろしくお交り下さい(岐阜　秋野しづ子)

○私は片田舍に住む一處女で御座います、御誌を初めから愛讀者ですがこれからどし／＼投書致します誌友の皆樣よろしく御交際を願ひます(福島縣長塚村　山櫻)

○私は二月號より本誌の愛讀者となりました、記者樣初め誌友の皆樣よろしくお導き下さい(福島縣會津郡朝日村　矢澤美代子)

○私は尺長先生のおすゝめにより四月號から愛讀者となりました、皆樣よろしくお交り下さい(德島縣那賀郡新野町　代藤ユキヱ)

○皆樣誌上でおふろひ遊ばしますこと、愚かな私もこれから投稿させて頂きます、靜岡縣の風岡富士子樣誌上でお交り下さい(靜岡縣庵原郡牧田秋子)

○神崎郡の本持きよ子樣は當村處女會の支部長さんではありませんか御熱心でいらつしやいますれ、四月號から處女の友子さんと親しくなりました、記者樣愛讀者の皆樣よろしく願ひます(滋賀縣神崎郡八幡村　市居せき子)

○私は昨年五月父を失き淋しく暮して居ましたが十月に處女會發會式がありそれから淋しい心をなぐさめられて居ます(福島縣三春町　吉田貞子)

△研究室

○反對の子樣男子の誌友くらぶお仲間入は條件つきで贊成です、靑年處女は未來の父母、純潔を忘れずに理解あるお交りを致しませう、曉星樣御言葉に共鳴しました、皆樣大道松枝樣は大變お優しいお方です(詩の花)

○この不肖な男子にも御誌の愛讀をお許し下さい、そして御指導を願いたいのです(本持庄太郎)

○靑年には靑年の讀物があるとはあんまりでせう、處女の赤裸々の叫びを知らなければなりません、むしろ本誌を熱讀して共に眞の人とならうではありませんか(無名)

○反對の子樣男の方が誌友になつて下さるのがなぜいけないでせう、男女互に智識を交換して、一村一國の發展をはかるが私共の務ではございますまいか(ひさえ)

○反對の子樣、男子の愛讀者はどうしていけませんの、眞の靑年が處女の友を愛して、互に導くのは大贊成です、記者樣初め皆樣御意見は如何です(大贊成の子)

△男らしい男、女らしい女の提携これは記者の切望するところで、只皆樣の反省に訴へます、記者はこの處女の友の誌面を潔白なものにしたいとの希望です、皆さんと共々に研究しませう(記者)

○いくら男でも處女を理解して、誌上での淸い交際ならばい丶ではありませんか、皆樣いかゞ(千鳥)

○なんて男らしくない男でせう、聖い淸い處女の友誌上に異性の褒れを反對するのではありません、○○子なんて女性の名をかりて投書し、交際を願ふやうな卑劣な男は退いて下さい、もつと男らしくなつて下さい、お兄樣のやうに……(一少女)

△女の名をかたるやうな卑劣漢はこの淸い紙面から絕對に退却して下さい(記者)

○反對の子樣僕は帝國靑年の愛讀者です、姉が處女の友の熱心な愛讀者ですから僕も毎號拜見して居ますしかし意志次第でせう、僕は强固につとめます(櫛本花友)

○私も男子の誌友は大反對です、男らしく自分の名前を出した人ならい丶ですけど、女の匿名にしてまよはすんですものずいぶんですわ、(日野川)

○記者樣圖畫は色彩をほどこすのでございませうかお敎へ下さいませ(美代子)

△御隨意です、

○私はこの春弘法まゐりを致しました、處女としても信仰は大切です記者樣もつと少女婦人の美談をお載せ下さいませ(今井しげ子)

△追々さういたしませう(記者)

○五月號の反對の子樣、私も貴女の說に贊成します、處女の友誌上は純潔な處女によつて飾られん事を(白菊)

○前號反對の子さんの意見、私は讀んで頂く事と處女會の模樣の報告

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

ぐらいけ差つかへないだらうと思ひますが、誌友くらぶだけは女だけの美しい團欒にしたいと思ひます（土田かつ子）

○記者様誠にすみませんが處女會の歌を教へて下さい（齊藤偃子）

○先生誠に恐れ入りますが野の幸の歌を敎へて頂けませうか（宮本義子）

△お二人とも發送部からお送り致しました（記者）

△趣味のお室

○北海道の內海千代子様お慕はしう御座います誌友くらぶに北海道の千代子とお出しになるのは貴女でせう、お友達はいつも私と間違へますのどうぞお交り下さい（北海道雨龍村　萩原千代子）

○先生初め誌友の皆様よ、私は今度上京して表記の處に學んで居ます今後よろしくね、（東京市麹町區上六番地七大妻女學校　內海千代子）

○田舍の春、吹く風が和らかに桃も櫻も咲いて待ちかねたといふ風に土草が頭をもたげ始めました、何だか固くなつた胸も和ぐ氣が致します（廣島縣山縣郡出生町　反本辯江）

○記者様何時もお變りなく處女の友にお盡し下さいますのを、田舍の私等はよろこんで居ます、神淵村の長尾さかゑ様同級生でおなつかしうございます（岐阜縣武儀郡片田舍　山百合）

○記者様お變りありませんか滋賀縣蒲生郡市施の田原秀子様お手紙有難う御座いました。先日蒲生郡を汽車で通り故郷三河に歸りました、私の生地は碧海郡依佐美村大字高棚です（三河碧海郡依佐美村牛城土長谷川方　石川秀温）

○乙女の涙をそゝるやうな細い春の音、あわい灯のまたゝき……鳥取の小原しげ子様福島の河邊芳枝様、群馬の姫百合様、淋しく病める子にみ言葉給はりませ、白鳥姉様に可愛い名をつけていたゞきますの、どんな名がお待ちしてゐますのよ（滋賀縣蒲生郡市邊村　中川とら子）

○あい子姉様御病氣如何心配してゐます。鳥取の角美千子様お祝ひ申します、三重の高木繁子様お言葉ありがたうございました、どうぞよろしくね（岩手縣東磐井郡澁民村　菊地繁子）

○淋しい田舍にも暖き春の女神は訪れました、愛媛の宇和川様同郡でおなつかしうお便り下さい誌友の皆様お違者に（愛媛縣伊豫郡下灘村　水沼壽眞子）

○齊藤偃子様、尾崎きみ子様栗城松江様同縣でお懐しう存じます、お差支へなくば清きお交りを、滋賀の清水宇多子様淋しくくらす、私に美しきお便り下さいね、お慕しき皆様の上に幸多かれといのりつゝ（猪苗代湖畔　詩の花）

○暖な春の心地よい時、誌友の皆様愉快に過しませう、卑岐あい子様御病氣御全快の程いのります、（福島縣　小柴房野）

○私は片田舍に住む一處女で、二月號から本誌の愛讀者です、加藤ほかへ様、田中かん様同村でお懐しう御座います、誌上の皆様宜敷く（岐阜縣武儀郡上麻生村　渡邊鈴江）

○私は姉妹は二人で淋しくて、處女の友を眞の姉様と致して毎日强く優しくまじめに働いて居ます、誌友の皆様お變りはありませんか（滋賀縣蒲生郡市邊村　田原キト）

○私は嵯峨谷處友會の一員でしたが、少し事情があつて古里の奈良縣へ歸へりました、清き吉野川に心を洗つて居ります。（岐頁縣宇智郡坂合部　福塚たゑ）

○春が來ました、花咲き鳥歌いよい季節となりましたが皆様お變りもありませんか（岐阜縣上麻生　井上かをる）

○處女の友……手にした時露深き曉春の野邊をさまよふとき、愛らしきすみれ草……私はこれを見る時春の女神に感謝せざるを得ませんでした。（會津御藏入　奘美子）

○世は凡て春の衣に包まれて、美しく活氣づいて來ました、徒らに花に心をうばはれ大切な使命を忘れぬやうに心掛けやうではありませんか（群馬縣新田郡太田町　島田幸子）

○世の中に私の家のやうな淋しい一家がありませうか、母と妹と私の三人住ひで、兄は四月八日に滿洲守備隊に送られ、御國のために働いて居ます、本當に淋しい乙女でございます、皆様どうぞお交り下さい（愛知縣北設樂郡三輪村川合　小石かつ子）

△ほんとにお氣の毒な方、けれどもあなたには數多くの同情ある愛讀者を友となさるといふ心强さがありますどうぞ皆さんと睦まじくして下さい（記者）

○皆さんさぞかし養蠶でお忙がしいでせう、猪苗代湖畔の詩の花様御言葉有がたう、（西多摩郡　森川光平）

○靜かに更け行く夜……處女の友のページをくつてゐます、福島の詩の花様、信濃の白菊様前から豊かな詩才に憧れてゐましたのにみ言葉頂き嬉しうございます、反對の子様だん〲面白くなりましたれ、しかし平和を害さないやうに私達くで見て居ますから（利根河畔　ゆめみぐさ）

○私は甲斐の片田舍に大自然を友として、農にいそしんでゐます、なつかしい皆さん糸柳の緣のやうにすなほなしなやかなやさしいまじめな

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

處女になりませう（山梨縣北巨摩郡登美村　長田さだ）

○月々に歌壇の盛んになりました事、和歌の好きな私はほんとに嬉しうございます、愛子様私も逆境に泣く乙女なんですのどうぞお見捨なくれ（山口孝子）

○記者様始め皆様お變りありませんか、私は片田舎に淋しく針を持ち姉と共に餘念なく働いて居ます（渡邊光枝）

○記者様初め姉様方お變りもございませんか、學校から歸るとすぐ處女の友が机上にまつてゐました、池田榮子様おなつかしうございます、お振ひのほどを（橋本たけ子）

○夜毎枕にひゞく蛙の歌のなつかしい頃となりました、門脇みつ子様及四月でみ言葉下さいました方々にお返しも致しませんが、どうぞよろしく、島根の赤鳥様つてもしや山根ふさの様ではございませんか（宮城呼子鳥）

○青い麥畑に姉さんかぶりに紅いたすきの少女の草取唄が長閑に聲えます、黄金色の菜の花舞ひ、蝶々唄ふ農村は一日一日春深くなつて行きます、小原榮子様、築地あや子様お睦ひ遊ばせ（鳥取縣　都）

○深刻な思ひ出を殘して行つた春朝夕眺めた周圍のものは皆とり〲に變つて居ります、詩の花様や榮子様おさしつかへなくば御本名お知ら下せさいませ、門脇様五月號でみことば有がたう存じます（對比地こう）

○私は野邊の若草に迎へられ、色々な美しき花をながめつゝ毎日樂しく働いて居ます、先生いつ〱までもお導き下さいませ（田原しづ子）

○皆様少女の憧るゝ青葉の時が來ました、勉めませう、勵みませう、心を合せて、青葉のやうに清く（北村夢歌）

○中央部の諸先生を初め誌友の皆様御健全でございますか、大好きな養蠶期となりました、一心に精出して、良い繭をとり家の富を增し度いと思ひます（井上米子）

○農村に物質的娯樂の少なきをかこつ必要はありません、肥桶の包ひにも麥束の重みにも詩情動くのがこよなき慰安であります（遠藤咲得茂）

○記者様初め誌友の諸姉様お變りありませんか、藤の花も今眞盛り、つゝじも美しく咲きました、農繁期が近づきます、天野先生讃岐の處女會にもいらつして下さい（白蝶）

○宮城のたかを様、あい子様お變りありませんか、鳥取の門脇様、福島の土屋様、私誰だかおわかりでせう今後もよろしく（神田、葉山由良子）

○月々に發展して行く處女の友に感謝してやみません、これから又お蠶で歌ひ乍ら一生懸命に働きます、こう子様五月號でおめでたう（橋本登久子）

○私に和歌雜詠五首、俳句夏季雜吟五句御めぐみ下さいましたお方に私の兄外數名發行の文藝誌一部づゝさし上げます（千葉縣八街町三吉井方　松本津計）

○私は石岡町の處女會員でございます、昨日父の墓參に行からと思うて花など切つて居りました時、やはり處女會員の○○様から廻つて來たのが御誌、ほんとになつかしうございましたどうぞ皆様御導き下さいませ（茨城縣　艶子）

○諸姉様方和歌俳句を研究しやうとなさる方はありませんか、もしありましたら私の所に申込み下さいませ我處女會で文藝誌を作つて居ますからさし上げます（福島縣河沼郡坂下局青津　江花浪子）

○鳥取縣の角齋子様過日は御心情こもるお便り有難うございました、誌上で厚く御禮申上げけす、同縣の皆々様益々お睦ひ遊ばせ（鳥取縣西伯郡渡村　二處女）

○記者様初め皆様御健やかでよろこばしく存じます、私は毎日工場の中で働いて居りますので、農村の皆様がおうらやましくてなりません（笠井きぬゑ）

○記者様淋しい心の私は貴誌に依つて嬉しもやさしき天のみ使の如き友を得て失禮ながら誌上でお禮申上げます（靜岡　千枝子）

○あらゆる草木は新芽色濃く、凡そ生あるものはすべて活氣づいてまゐりました、私等の希望――精神は皆會訓に基いて居ます、皆様寸暇を利用して刻々發展の道を開きませう（目醒きい子）

○先生私の會では會長が先日御轉任になりました、嗚何といふ殘念なことでございませう、我等處女會員の悲しみ皆様御同情下さい（大竹しきな）

○本持喜代子様ほんとに嬉しうございました、不束者ですがよろしく富塚ときわ様有がたうございます、富山縣の大道松枝様御社の方々によろしく御傳言下さい、角とし子様齋子様み言葉有がたうございました、交際は誌上で願ひます（胡蝶）

○私は一昨年十六の年までは野に働いて居ましたが、去年の春村の小學校に勤める事になつて、今ではすぎし日がなつかしくなりました。（太刀川たつ子）

○倫嵯谷の福塚たえ子様み言葉有難うございます、不束者ですがどうかよろしく、葛瀰谷の木村郁子様あなたも仲間入して下さいれ（石井榮子）

○野の麥畑の中の畑道を空高く舞

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

ふて啼く雲雀の聲を聞きつゝ辿る床しい田舎――あゝ田園の美でございますれ（河邊芳枝）

○誌友の諸姉様お變りありませんか、福等の新たに努力を要する好時機です、皆様本誌を友としてお互に勵ませう、不束者ですがお導き下さい（鈴木たゞ枝）

○鳥取縣の松本あき子様お慕しうございます、五月號にてお作拝見致しました、そして思はず涙におせびました、北の國にもあなたと同じやうに涙の月日を送る身の私がございます、共に働きませう（富田まき子）

○鳥取の築地あや子様徴兵の兄様がお有ですの、若しお有りでしたらお知らせ下さい（島根縣大原郡佐世村　和久利滋秀惠）

○初夏に入りました皆様なまけては居られません、尙益々御勉強を祈ります、（梅薬）

○小原様、宰岐様、山根ふさの様いつも御無沙汰ばかり致しますが、御免下さい、米田つる子様澤代様、登久子様、會津の生江哀涙子様、今井しげ子様、猪苗代のしの子様、對比地こう子様、内海千代子様、おしたはしう存じます（築地あや子）

○島根の石川秀温様、長崎の今里知子様十五歳や十六歳の尼僧とやらお身上話がありさうに存じます、大事なくばお聞せ下さいませ、大正新讀本の定價お知らせ下さい（石川もと子）

定價六拾錢です上下二冊あります

○信濃高原も花は散り、初夏の氣分に充ちて參りました誌友の皆様つよくやさしくまじめに働きませうれ（信女）

○皆様まじめに働き、身體の勞働と共に、心の修養に勵みませう、滋賀縣の本持喜代子様貴女の村にも書物を讀むのを生意氣だなどゝいふ人がありますの殘念ですがし方がありません、後れた人を早く覺めさせませう（鹽澤みつほ）

○同縣の日下芙美子様近頃なんだかお見えになりませんのね益々お振ひ遊ばせ、私はあなたをよく存じて居るものでございますの（夢の花）

○柳岡いく子様對比地こう子様、藤倉きん子様、近藤みよし様、岡崎その子様、詩の花様、宮城の愛子様などのお話を橋本とく子様に伺つてなつかしくなりました、何卒皆様お交り下さいませ（池田榮子）

○香川の白蝶様前號でみ言葉有難う存じます、田舎の乙女光明ある道にお導き下さい（柴田たつ子）

○初夏なんといふ活々した叫びでせう、若い人は若葉のかげに心ゆくまで歌はねばなりません（杉本輝子）

○私の村には大山學校處女會と申して以前からありましたが、外にくらぶれば發達してゐませんでしたが一月より處女學報も出來だん／＼盛んになりました（田口わか子）

△お噂さ

○私は四月號より御誌の愛讀者となりました、五月號の社說女の贈物についての記事私は強く強く感じました（埼玉縣兒玉郡東兒玉村村　松萬壽）

○諸姉様處女文藝は皆様の御熱心で、ずん／＼のびてまゐりました、どうぞ永久に麗しい芽生を枯さないで、やがて花咲き實を結ぶ時を待ちませう（富山縣宇田薫）

○五月號の俳壇に私の作を賞にして下さいまして誠に有難うございました（岐阜縣　林千代子）

○四月號處女の友を拜見いたしまして皆様の發展をうれしく思つて居ます、伴佐たつ子様御便り下さいまして有難う共後は如何（長野縣　小澤やち子）

○私は本年二月當地校長先生のおすゝめで本誌の愛讀者となりました毎號有益なお話を承り有難うございます（和歌山縣伊都郡橋本町　木村靜子）

○靑葉若葉のなつかしい頭、さてもなつかしく繰り返さるゝ處女の友よ、去年の五月號とくらべて、何といふ相違でせう、皆様繪はがきのお便り交換をお願ひ致します（宮城白蝶）

○形の貧しきは心の富を以て償へといふ五月號のお敎へは自分の境遇を善用して日夜勵む仕事に當る私には一層心強く嬉しいみ敎へでございます、藤倉きん子様益々お奮ひ遊ばせ、福島の若林たまの様、香川の白川みつ江様お差支なくばお交り下さい（群馬縣　橋本美代子）

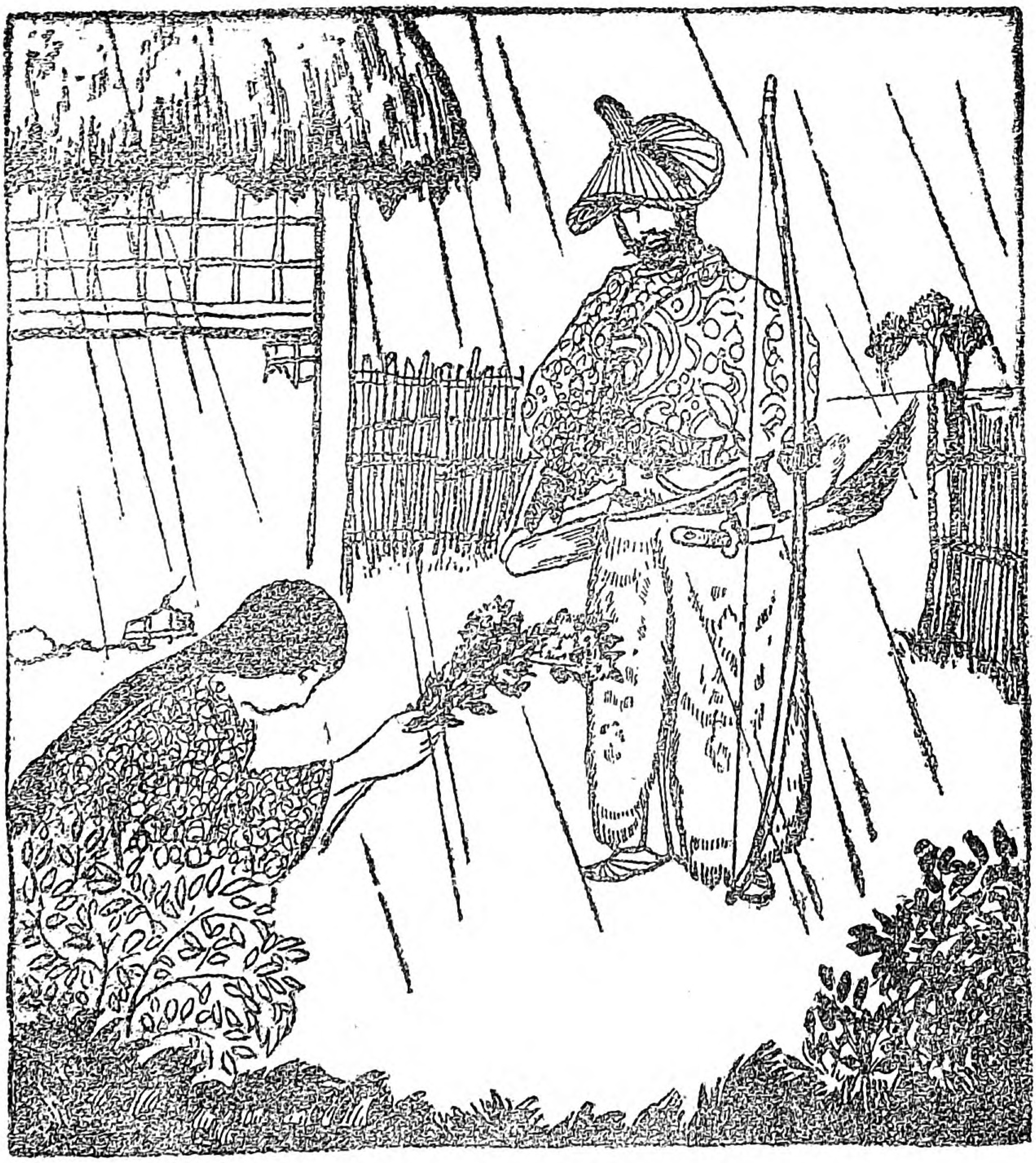
○心の幸福を見つけよとの御言葉誠にありがたうございました、現在私の心の樂しみは文藝と音樂です、物質上に平凡でも精神上大いに働き且樂しかつた私は滿足です（みはる町　佐々木K子）

○記者様おかげ様で、至らぬ私も次第に世の中を知るやうになり心から嬉しく思つて居ます、これから空氣の清い野に出て働きますほんとに愉快です（福島縣　若森たまの）

○二月號より愛讀者となりました記者様有益な記事又おなつかしい誌友の皆様お奮ひ遊ばす御様子なと想像して有難く拜見致して居ります（群馬縣　茂子）

○私は河沼郡の阿賀川畔に住む一讀者です、四月廿五日には天野先生がお出下さいまして、御話有難うございました、皆様おさしつかへなくば御交際を願ひます（會津坂下靑津江花浪子）

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN



六月號繪判じ

說明

是は誰が何をしてゐる所でせう。娘が何か花を武士の前にさし出してゐます。この武士は花を貰ひに來たのでせうか。わかり易く、なるべく短くはがきにかいてよこして下さい

〆切　六月十五日

あてた上に、文章と文字のきれいな方に御褒美をあげます。はがきの表に懸賞者へ物とかいて下さい。

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

○編輯だより

△養蠶から續いて糸とり田植と農家の一番忙がしい月となりました。働いて下さい、そして家、村を富ませて、自分は立派な日本國の維持者の一人であるといふ信念をもつて、進んで下さい。

△和歌に俳句に誌友くらぶに皆さんの領分は月々に擴張されて行きます。皆さんの趣味の向上、生活の美化として、編輯部ではどこまでも皆さんの領分を擴げ度いと思ひます。只皆さんに充分考へて頂き度いのは趣味にとらはれ、名に憧るゝ處女となつて頂き度くない事です。草を刈りがら飛び立つ胡蝶に一句浮べるもよろしい、張板かゝへながら鳥の聲に一首詠ずるは尙結構、趣味におぼれて家業を忘れてはならぬ事をかへす〲も心に止めて下さい。

△神奈川縣保土ケ谷富士瓦斯紡績工場處女會より「富士のほまれ」といふ雜誌を送つて下さいました、親の側をはなれて働く女工さんたちが働いて得た賃金の中より多くの金を古里の父母に送つて居らるゝ心がけに感心しました。

△處女會中央部では、四月三十日午後二時より評議員會を開き、九月末か十月末に全國處女會指導者講習會を開くことに就き協議をいたしました。

△明治天皇「御製の中より」は處女會員の皆さんが守るべき貴い御教へでありますから朝夕吟詠して下さい

投稿の規定

（作文）
題 私の好きなものと嫌ひなもの
（手紙の文）遠國の友に
三十字詰 十六行以内用紙半紙

（和歌）
題 隨意 一人三首以上用紙ハガキ又は同じ大きさの紙

（俳句）
題 隨意 一人三句以上用紙ハガキ又は同じ大きさの紙

（習字）
半紙一枚に字數隨意

（圖畫）
少女の繪、景色畫
用紙ハガキ又は同じ大きさの紙

投書の注意

（一）同じ紙又は同じ端書に幾種類も書いてはいけません、それ〲別の紙に書いて、和歌、俳句、考へ物、誌友くらぶ等と明らかに書いて下さい

（二）投書の際郵便切手を上手にお使ひになるやうになさいませ、例へばハガキ大きさの紙に別々に書いても、二種類も三種類も同じ封筒に入れて、開封にすれば二錢切手一枚ですみます、わざ〱別々の端書に書いたり、三錢切手を貼るには及びません。

（三）締切は毎月十日、宛名は東京市本郷區元町二ノ六六處女の友發行所宛

五月號考へ物解答

五月號考へ物は「少將にすゝむにはたい。、。。さより（大佐より）」といふのが正解です、抽籤の結果左の方々に當りました。

岐阜縣加茂郡笠井きぬゑ、静岡縣賀茂郡遠藤咲く得、滋賀縣蒲生郡安井芳枝、京都府天田郡足立まつゑ、滋賀縣蒲生郡田原しづ子、東京府西多摩郡青木津多子、東京本所區坪谷いく子、三重縣阿山郡山本きよの、東京府西多摩郡小山エイ子、神奈川縣保土ケ谷町丸山テフ子、神奈川縣保土ケ谷町淀川マツ子、静岡縣庵原郡青木いし子、岐阜縣武儀郡今瀬露美、岐阜縣武儀郡小池菊榮、長野縣五常村丸山貞江、岐阜縣惠那郡林美重子、山口縣田中若葉、山口縣大島郡岸本野枝、島根縣大原郡和久利與志野、香川縣綾宇多郡岩井つや子、德島縣那賀郡尺長アサノ、鳥取縣日野郡杉本糸子、宮城縣本吉郡鹿野富美野、長崎縣壹岐郡三木一子、長崎縣東松浦郡船越すが、福島縣河沼郡土田かつ子、長崎北松浦郡田中ハツヨ、福島縣河沼郡津村ヒサ子、埼玉縣入間郡神藤まさ子、群馬縣利根郡小野とう子、群馬縣勢多郡大島まさ子、福島縣雙葉郡菅野とめよ、福島縣耶麻郡渡部保子、埼玉縣兒玉郡久米よし、山梨郡深澤貞代、埼玉縣入間郡仲サク子、山梨縣北巨摩郡長田たゞこ、長野縣上水内郡和田千代子

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

本會維持會員（第一回發表）

本會は從來理事評議員の好意的出金に依り經費を維持し來つたが將來事業經營上維持會員を設くる必要上本會々則第六條二項の次に左の一項を加ふるの件を評議員會に於て可決した所評議員中本稿〆切迄に維持會員たることを承諾せられたる方左の如し。

追加せる一項

維持會員　本會の事業を援助せんが爲毎年金十圓以上若くは一時金百圓以上を寄附するものを維持會員と爲す

承諾せられたる維持會員

一時金百圓

理事　高野重三　同　山脇房子　同　吉岡彌生
同　國府種德　同　嘉悅孝子　二口理事　天野藤男

一口

評議員　高島米峯　評議員　佐々山寛一
評議員　早川千吉郎　評議員　遠藤宗六
評議員　添田敬一郎　評議員　大妻コタカ
評議員　山脇立　評議員　長尾半平
評議員　吉川民子　評議員　三谷民子
理事　三輪田元道　評議員　下田歌子
理事　福島四郎　理事　宮田修
理事　田所楠猪　理事　跡見李子

□地方篤志家にお願ひ

本會維持員は地方の有志にもお願ひ致したいのですから、どうぞ御同情あるお方は奮つて御贊成下いませ。團體をも、會員と見なして喜んで御申込みを受けます。

講習會の講師八名其他は來月號に詳報致します。千五百圓かゝりますので理事幹部一同一生けんめいに奔走してゐます

毎月一回一日發行

定價表

冊數	定價	郵稅
一冊	拾八錢	五厘
六冊	壹圓八錢	不要
十二冊	貳圓	不要

註文規定

○註文はすべて前金のこと
○送金は振替が便利で安全ゆへなるべくこれによられたし
○郵券代用は必らず一割增のこと
○前金切の時は帶封に「前金切」と印しおくゆへ直に送金せられたし
○送金のときは第何月號より第何月號迄と明記せられたし

大正十年五月廿七日印刷
大正十年六月一日發行

編輯人　東京市本鄕區元町二ノ六六　天野藤男
發行人 印刷人　東京市神田區小川町三十六　田所楠猪
印刷所　東京市麴町區紀尾井町三番地　成巧社印刷所

發行所　東京市本鄕區元町二ノ六六　處女の友發行所
處女會中央部
振替東京六一九〇番　電話小石川四三八四番

大賣捌　東京堂、北隆館、至誠堂 其他

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

ホーカー液

懸賞語呂合發表

……題（色白くなるホーカー液）……

▼壹等（十圓一名）

大阪市東區和泉町二ノ一九 伊藤草子

▼貳等（五圓宛二名）

埼玉縣南埼玉郡增林村 青野勤

東京京橋區南小田原町 三重子

▼參等（二圓宛五名）

芝區金杉四ノ八 秋山悅子

長野縣更級郡八幡村 小林くに

奈良縣丹波市 北尾風子

長野縣八幡村小林方 丁生

日本橋箱崎町四ノ一 神山千代子

▼四等（ホーカー詰合一箱宛二十名）

▼埼玉青野勤▼神戸久保彿鄉▼北海道松丙碧水▼兵庫西山清子▼淺草山本はる▼橫濱二木すず▼大阪伊藤草子▼丹波北尾風子▼下谷中村きく▼福岡藤原秀子▼日本橋神山千代子▼兵庫佐藤かづ代▼長野小林房二▼同林那林治▼大阪朝野緑▼東京南雲[illegible]子▼大阪錠谷操▼名古屋守山常夏▼芝佐野わか▼滋賀川越しづ

▼五等（ホーカー液一本宛卅名）

▼沖濱華枝▼工藤多計子▼金丸くすえ▼奥村健子▼大野正子▼加藤光子▼吉川美志子▼福澤しげ▼多喜美智▼勝守信子▼七尾酉人▼駒田のぶ▼時枝はじめ▼杉山たえ子▼熊坂ひさ▼森田みつ▼堀尾良▼酒井位枝▼秋保たけ▼松井てる▼柴田芳▼伊藤近子▼池田紅歌▼丸山優美子▼花房〆賀子▼神山千代子▼折戸清▼多田青柳▼南雲のぶ▼古池[illegible]

圖初夏の日ヤケ止めに一番良く効くホーカー液

東京神田和泉橋際

本舗 堀越嘉太郎商店

電話神田一四五、一四四、一四五 振替東京一一五六

ホーカー白粉、ホーカーオナー、ホーカーパット、ホーカー美髮液
ホーカークリーム白粉、ホーカーポマード、ホーカー粉白粉

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

○御註文の節は處女の友の廣告に據る旨御書添へを乞ふ○

全國町村長會通報機關

新民

六月號

定價 一部卅錢 一年三圓六十錢

■優良町村事績誌上展覽會（優良町村長の抱負と其事績）

□農村生活と勞働問題……横井時敬

□農村文化生活の建設……村田宇一郎

□日本建國の新研究……井口丑二

□井上友一先生の面影……川村貞四郎

■全國處女會の新傾向……天野藤男

□海外より觀たる日本……浮田和民

□加州問題と勞働運動……岡田忠彦

□獨逸に於ける人民一般投票……堀切善次郎

□農業勞働問題に就て……山崎延吉

△北海道、東北（六縣）新潟、岐阜、山口各府縣の會員諸君には特に地方版を配布す

增補八版

山崎延吉先生著

婦人の覺醒

附表 女房の善惡競

定價三十錢 送料二錢

村田宇一郎先生著

民育雜誌

第一編（三版） 價三拾錢 送料二錢

第二編（最新刊） 價七拾錢 送料四錢

發行所 東京市赤坂區溜池町三十一 中央報德會 振替東京九七〇〇

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

新學期開始

かな專習講義録

總裁 小野鵞堂

顧問 尾上柴舟　岡山高蔭

會長 神郡晩秋

會監 丹羽歸雲

内容見本 申込次第 無代進呈

東京四谷左門町十 大日本かな專習會

六ヶ月卒業

内務省囑託　天野藤男著

親愛なる農村青年へ

定價八十錢　送料六錢

好評嘖々既に十二版を重ぬ地方青年にとりては唯一の指針盤たり敢て之を奬む

東京市本郷元町　丙辰出版社　振替東京三三〇〇番

天野藤男著　内務文部兩大臣其他序

指導經營 研究實績 青年團及處女會

定價二圓五十錢　送料十二錢

賜 天覽 台覽

◎好評六版◎

一著者が多年の苦心になれる著述にして青年會處女會の好參考書一

東京本郷元町二丁目　振替東京三三〇〇番　丙辰出版社

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

○御註文の節は處女の友の廣告に據る旨御書添へ乞ふ○

青年圖書

大久保四州著（第十四版）

青年訓話 軍神乃木

乃木將軍の感化の力の偉大なる事は本書が日に新に熱狂的大歡迎を受くるによりても知らる。

定價五拾錢＝送料四錢

月刊雜誌 帝國青年

青年の好伴侶▲指導者の研究舞臺▲修養研究向上娯樂▲青年團の連絡▲▲

定價一部二十錢送料一錢▲半年分一圓廿錢▲一年分二圓三十錢税共

青年團中央部編纂

第四回青年團講習會講習錄

新時代の青年團

新時代に處して青年團體を如何に指導すべきかの問題は二十有餘大家の權威ある講演に依り解決さる

定價一圓五十錢＝送料六錢

青年團員手牒

定價十二錢＝送料三部迄二錢

今や日本全國の青年團は益々結束を堅うして團員相互の連絡を圖り互ひに激勵修養する爲に團員各自に『青年團員手牒』を所持せしむ而して本手牒は當に天下を風靡しつゝあり。

帝國青年の歌

定價五錢＝送料九部迄二錢

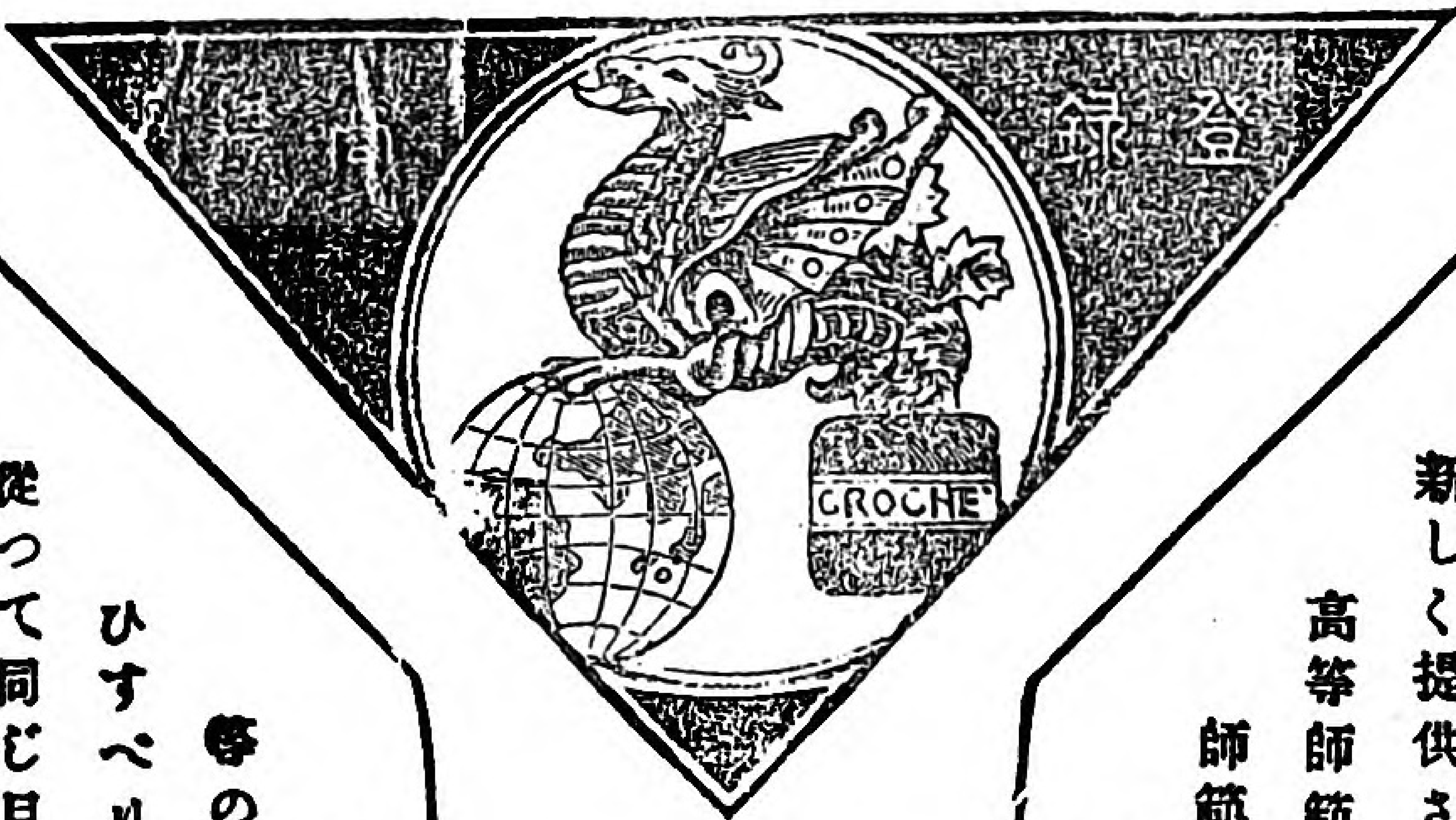
緬羊の飼ひ方

定價六十五錢＝送料四錢

東京市赤坂區溜池町三十一 帝國青年發行所 振替口座東京二一一六八番

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

○御註文の節は處女の友の廣告に據る旨御書添へたふ乞○



何もかもが改造されて參りましたのに、御家庭用品の中でも大切な縫糸が、古い時代の姑息の品で、お問に合ふ筈はありません。皆様の御要求により十分研究を重ねて、新しく提供された、殆ど理想に近い此のキリン縫糸をお試み下さい。東京女子高等師範學校、共立女子職業學校、戸板、渡邊、和洋各裁縫女學校、全國女子師範高等女學校、三越呉服店、白木屋呉服店を始め斯道の大家、實際家の御證明、御推賞を頂き多々御用命を承つて居りますのも此の

新しく出來たキリン縫糸

が、從來の糸に比して、非常に優れた點を持つて居るからです。上等の綿で紡いでありますから引が強く、瓦斯燒シルケット掛ですから縫ひすべりが非常によく、細さも丁度使ひ加減で絹小町の代りにもなります。從つて同じ目方で從來の糸よりも、三割五分は長くなつてゐます。一方販賣にも多くの人手を用さず直接皆様にお願ひするのですから、旁々非常に割安になつて居ます。四時折々の御贈答品として品質の良い包裝の瀟洒なキリン縫糸をおすゝめ致します。

東亞綿絲工業株式會社

東京市日本橋區堀江町

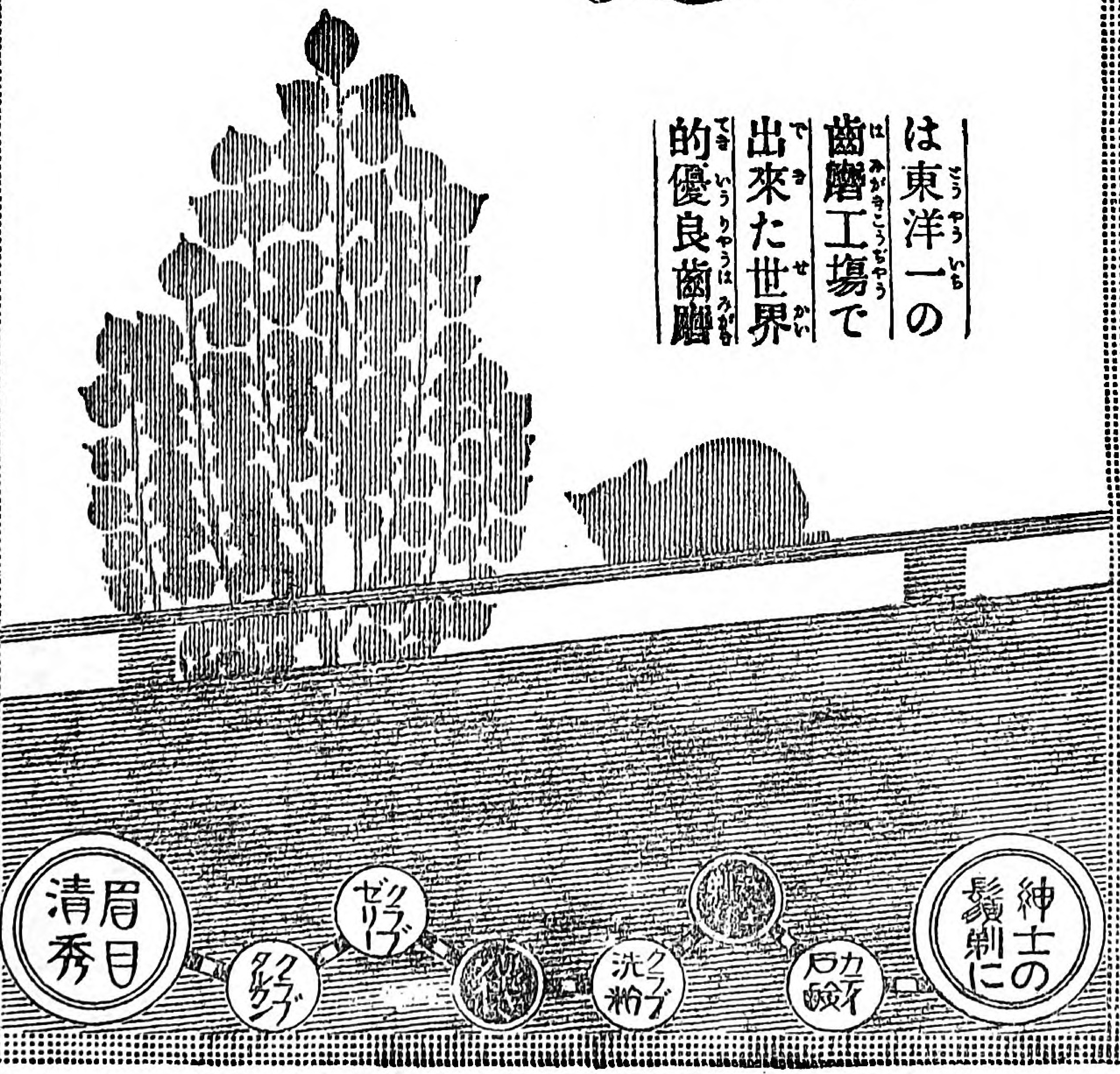
—(三越・白木・其他有名呉服店・雜貨店等にあり)—

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

クラブ齒磨

衛生思想の進歩した方は學理上實驗上一番齒の爲に良い此のクラブ齒磨を愛用せられます

は東洋一の齒磨工場で出來た世界的優良齒磨



大正七年十二月二十五日第三種郵便物認可
大正十年五月二十七日印刷納本

一部定價　金十八錢

東京市本郷區元町二ノ六六
處女之友發行所